現場説明事項

工事名称 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事)

担当部署 総合政策部 管財課

「説明事項」

1. 工事目的 本工事は、市立諏訪小学校のトイレを改修する。

2. 工事概要 特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置(ガードフェンス・バリケード等)も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、工事用図面 A4 (A3二つ折) を3部製本してください。
- 2) 9/27(金)までに竣工検査をおこない引渡しを完了すること。
 - ① 東側トイレ・1階多目的トイレは、解体工事(6月中旬から)を行い、8/23(金)に 部分引渡しをすること(8/26小学校始業式)
 - ② 西側トイレは、7/19 (金) PM より工事可とし、9/17 (火) 部分引渡しをすること。 (7/19 小学校終業式)
- 3) 7/19(金)以前のアスベスト除去工事は、騒音の関係上、土日に施工すること。
- 4) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めません。 ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 5) 駐車スペースは、教職員も使用するため、工事車両5台・廃材コンテナ・現場事務所等 程度とし、関係者(監督員・教育委員会・学校関係者)と協議し設置すること。
- 6) 仮設については、周辺施設、住民等に十分注意し、安全を確保すること。
- 7) 工事中の騒音・振動等の防止に努めるとともに、近隣道路に違法駐車しないこと。
- 8) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 9) ホルムアルデヒド等有害化学物質の発生材は、MSDS (化学物質安全データシート)等 を確認した上で監督員に提出すること。
- 10) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞なく提出すること。
- 11)竣工図は、監督員と協議の上、CADデータを作成すること。

参考資料

設計 仕様書

工事名称

市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事)

工事場所

富士見市 大字鶴馬 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称 「	 市立諏訪小学校	トイレ改修工事				
請負工事費	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
文	教室棟トイレ改修 建築:床・壁・天井の内 電気:照明器具の改作	勺装改修 修		機械:衛生器具・	設備配管の改修	
 総	括	表				上段 設計変更 下段 原 設計
	摘要	数量	単位	金	額	備考
直接工事費						
建築工事		1	式			
電気設備工事		1	式			
機械設備工事		1	式			
計		1	Ĭ,			
共 通 仮 設 費		1	式			
純 工 事 費						
現場経費"		1	式			
工 事 原 価						
一般管理費	***************************************	1	Į.			
工 事 価 格						
改め						
消費税相当額		1	式			8%
請負工事費						

					積 算 用 紙 —	上段 変更設計
						下段 原 設計
名称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考
工事共通仮設費						
	予備調査、敷地整理、その他に要					
準備費	する費用	1.0	式			
	倉庫、下小屋、現場事務所					
仮設建物費	作業員施設等の費用	1.0	式			
	場内通信設備等の工事用施設に					
工事施設費	要する費用	1.0	式			
	安全標識、消火設備等の施設の設置					
環境安全費	隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
	工事用電気設備及び工事用給排					(共通仮設費率) +
動力用水光熱費	水設備とその料金に要する費用	支給				(積上げ)
	屋外跡片付け、屋外発生材の処分					
屋外整理清掃費	等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
	測量機器及び雑機械器具に要す					
機械器具費	る費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0				
					_	
計						

(P. 共通 - 2 -)

富士見市 総合政策部 管財課

									上段 変更設計
			T		1	1		積算用紙	下段 原設計
	名 	称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備考
A	共通仮設費		積上げ分						
	交通誘導員(3	35人		1.0	式			
	ガードフェンス				9.1	m			
	A — 計								

(P - 総 - 1)

								1± 4± □ 41	上段	変更設計
	名	称	 摘	 要	数量	単位	単価	積 算 用 紙 金 額	下段 備	原 設計 考
		13	1143		~ =	7,2	— іш	II. UK	MID	
В	直接工事費									
I	建築工事					_15				
					1.0	式				
Π	電機設備工事				1.0	式				
Ш	機械設備工事									
					1.0	式				
	в —	計								
				(P - 総 -	2)		<u> </u> 富士見市	 総合政策部管財課

								上段	変更設計
		.		<u></u>	T		積算用紙	下段	原設計
	名称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備	考
I	建築工事費								
1	仮設工事			1.0	式				
2	建具改修工事			1.0	式				
3	ガラス工事			1.0	式				
4	内装改修工事			1.0	式				
5	金物工事			1.0	式				
6	防水工事			1.0	式				
7	塗装改修工事			1.0	式				
8	雑工事			1.0	式				
9	撤去解体工事			1.0	式				
	I — 計			1.3					
			(P - A -	1)		<u> </u> 富士見ī	 市総合政策部管財課

						辞 曾 田 紅	上段 変更設計 下段 原 設計
	 名 称	摘 要	数 量	単位	単価	積 算 用 紙 金 額	備考
1	 仮設工事						
	墨出し(内部改修)		050.0				
	± 4. (+1 ±0.75 Mσ.\	個別改修	256.0	m2			
	養生(内部改修)	個別改修(床)	816.0	m2			
	外部足場	手摺先行くさび式足場 W600	119.0	m2			
	メッシュシート養生		153.0	m2			
	内部足場	매수 다 11	070.0				
	 整理清掃片付(内部改修)	脚立足場	276.0	m2			
	正在月前川 (四中以下)	個別改修(トイレ、廊下、階段、教室	室) 1072.0	m2			
	1 — 小計						
			(P - A -	2)		富士見市総合政策部管財課

						上段 変更設計
		Τ	<u> </u>		_ 積 算 用 紙	下段 原設計
名称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考
2 建具改修工事						
LSD-1						
	800×1960 軽量鋼製建具	1.0	箇所			
AW-1	530×815+465 カバー工法 既設撤去	16.0	箇所			
AW-2	1430×1205 カバー工法 既設撤去	1.0	箇所			
TB-1	6025 × 1900 × 40	4.0	箇所			
TB-2	900,1330,1213, × 1900 × 40	4.0	箇所			
	900,1330,1213, × 1900 × 40	4.0	回加			
TB-3	6025 × 1900 × 40	4.0	箇所			
TB-4	900,1330,1213 × 1900 × 40	4.0	箇所			
PT-1	775 × 1900 × 50	8.0	箇所			
PS点検口	500 × 700	16.0	箇所			
2 一 小計						
		 P - A -	3)		 富士見市総合政策部管財

							<u>-</u>	sa	上段	変更設計
				<u> </u>			積算用		下段	原設計
	名 称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
3	ガラス工事									
	型板ガラス	強化t4.0		11.1	m2					
	網入り型板ガラス	t6.8		1.7	m2					
	ガラス止めガスケット			81.1	m					
	ガラス清掃(両面)			25.7	m2					
	3 — 小計									

(P-A-4)

					1= Adr CD 4rf		変更設計
			T				原設計
名	摘	数量	単位	単価	金額	備	考
4 内装改修工事							
床							
カチオンタイト塗布		246.0	m2				
レベラー塗布	セメント系						
	ロンプトが	237.0	m2				
抗菌防滑性ビニル床シート	t2.0	253.0	m2				
床シート施工費		253.0	m2			A代価-1	
モルタル塗り	t20	8.6	m2				
腰壁		0.0	1112				
LGS65	@450 材工	40.8	m2				
耐水合板	t12 材工	40.8	m2				
ル並んてもまた							
化粧ケイカル板	t6.0 材工	38.8	m2				
		(P - A -	5)		富士見市総合	合政策部管財課

								attent darker great disart		上段		変更設計
		_						<u>積算</u>	用紙	下段		原設計
名	称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額		備	考
ホ [°] ストフォー	-ムカウンター	VPA W2410×D1	50 × t20	16.0	本							
カウンター耳	取付費			38.6								
				38.0	m							
壁												
カチオン	タイト塗布			582.0	m2							
				362.0	IIIZ							
耐水石膏	膏ボードGL工法	t12.5		617.0	m2							
化粧ケィ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
104717	1 7370 11%	t6.0		637.0	m2							
LGS65												
		@450		35.8	m2							
木製枠		30×45 スプルー		71.7								
		30 × 45 × 7/ν—	^	/1./	m							
LSD廻り	ートルタル詰め			4.8	m							
辟エルゟ												
空てルク	* / レ作用 11多			9.0	m2							

(P-A-6)

						连 笛 田 紅	上段 下段	変更設計 原 設計
 名 称	摘	要		単位	 単 価	積 算 用 紙	備	
2-13								
塩ビ製			284.0					
			204.0	m				
天井								
7071								
LGS19型	@ 200		000.0					
	@300		236.0	m2				
化粧吸音石膏ボード	t9.0 不燃		236.0	m2				
4 — 小計								
, ли			P - A -				富士見市	

						上段 変更設計
					__ 積 算 用 紙	下段 原 設計
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考
5 金物工事						
平付けピクトサイン						
113727	150 × 150	16.0	枚			
突き出しけピクトサイン	150 × 150	1.0	枚			
モップハンガー	1本掛け	34.0	台			
モップハンガー取付費	1577-154-17	34.0	箇所			A代価-2
掃除用具入れ	500 × 1900 × 600	16.0	箇所			
天井点検口	アルミ製 450角	8.0	箇所			
床点検口	アルミ製 600角 鍵付	2.0	箇所			
ベビーシート	取付費共	1.0	箇所			
	水り東六	1.0	回171			
5 — 小計						
	L	(P - A -	8)	!	l 富士見市総合政策部管財

							辞 答 田	КŒ	上段 下段	変更設計 原 設計
	 名 称		 要	数量	単位	単 価	<u>積算用</u> □ _金	概 額		
6	防水工事									
	建具廻りシーリング	MS-2 10×15程度		162.0	m					
	内部シーリング									
		MS-2 10×10程度		1.0	式					
	6 一 小計									
			(P - A -	9)			Ē	富士見市総合政策部管財課

									&-	上段		変更設計
		1				1			用紙	下段		原 設計
	名和		摘	要	数量	単位	単 価	金	額		備	考
7	塗装改修工事											
	EP-G塗装		木枠 細幅 糸	幅100程度 1級	71.8	m						
	EP-G塗装		木枠塗り替え 細巾	福 糸幅200程度 1級	71.8	m						
	DP塗装		PS点検口 錆山	_1級	2.8	m2						
	EP塗装		モルタル面塗り	替え A種	83.1	m2						
	7 — //\	計										

(P - A - 10)

											上段		変更設計
			T		1				積算	用紙	下段		原 設計
	名	称	摘	要	数量	単位	単	ī	金	額		備	考
8	 雑工 事 												
	床コンクリート塞ぎ、	土間コン打設											
	型枠		普通合板材、型枠	(材工共)	17.8	m2							
	"		同運搬費		17.8	m2							
	コンクリート		生コン N24 スラン	レプ18 小型車	2.8	m3							
	"		人力打設手間		2.8	m3							
	差し筋アンカー	_	D10 横向き		256.0	本							
	鉄筋		D10 小口		17.4	kg							
	運搬、組立費		土間		1.0	式							
	土間金ゴテ押	え			3.0	m2							
	8 —	小計											
				(P - A -	11)				•	富士見市	総合政策部管財調

							上段 変更設計
		Τ	T			積算用紙	下段 原設計
	名称	摘 要	数量	単位	単 価	金額	備考
9	撤去解体工事						
	撤去解体						
	床ハツリ	人研ぎ見切り	1.5	m2			
	床RCスラブ	鉄筋再使用、タイル撤去共	1.0	m3			
	床長尺		2.8	m2			
	床点検口	500 ϕ 鋳鉄	2.0	箇所			
	腰壁	CBライニング、人研ぎカウンター	6.2	m3			
	壁	モルタル、タイル部溝ハツリ	81.6	m			
	木製壁	仕上げ共	36.5	m2			
	木製建具		34.6	m2			
		(P - A -	12)		富士見市総合政策部管財課

											上段		変更設計
		T		ı					積算	用紙	下段		原設計
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額		備	考
天井		御判で共			200.0						-		
		鋼製天井		2	230.0	m2							
天井		**********											
		軽天+ボード			6.0	m2							
トイレブース、	、パーテーション			,	218.0	0							
				4	218.0	m2							
人研ぎ流し					44.6	m3							
					44.0	1113							
腰壁タイル		 浮き部分のみ			1.0	式							
		1,1 C His 2,2 c 2,											
積込運搬費													
_> 1 1 1 2	-												
コンクリート类 	貝	2tダンプ 人力積辺	7		50.9	m3							
ボード類													
八一八規		2tダンプ 人力積辺	<u> </u>		1.0	m3							
│ │木材類													
71/1/7 大只		2tダンプ 人力積辺	<u> </u>		14.5	m3							
】 数類													
ガイスと		2tダンプ 人力積辺	<u>\</u>		6.0	台							

(P - A - 13)

										積第	1 用	紙	上段下段		変更設計 原 設計
名	称	摘		要	数	量	単位	単	価	金		額		備	考
処分費															
コンクリート類		無筋				22.1	t								
ボード類		解体系混合原		:ド*種)		1.0	m3								
 木材類		解体系混合原				14.5	m3								
 鉄類			光												
		金属くず				11.5	m3								
9 —	小計														

(P - A - 14)

上 段 変更設計 単価作成用紙 段 原 設計 A代価-1 内装改修工事 床シート施工費 名 称 摘要・規 格 数量 単位 備 考 単 価 金額 張り手間 接着剤 0.30 kg 内装工 0.04 人 小計

改め

(P - A 代 価 - 1) a士見市総合政策部管財課

					単価作成用紙	上	段	変更設計
					中WTF成用概	下	段	原 設計
A代価-2								
金物工事	モップハンガー取付費							
名称	摘 要・規 格	数量	単位	単 価	金額		備	考
内装工		0.06	人					
その他	20%	1.00	式					

小計						
改め						
	(P - A代価 -	2)	(富士見市総合政策部管財課
	小計	改め	改め	改め		改め

							1生 体 口 化	上段 変更設計
	 名 称	 	 要	数 量	単位	 単 価	積 算 用 紙 金 額	下段 原 設計 備 考
П	電気設備工事費							
1	分岐幹線設備工事			1.0	式			
2	電灯・コンセント設備工事	3		1.0	式			
3	トイレ呼出し設備工事			1.0	式			
4	撤去工事			1.0	式			
5	処分費			1.0	式			
	Ⅱ 一計							
6	スクラップ			1.0	式			
			(P - E -	1)		 富士見市総合政策部管財課

								- **	上段	変更設計
				Ι	T		<u>積 算</u> _	用紙	下段	原設計
	名称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備	考 考
1	分岐幹線設備工事									
	ケーブル (天井)	EM-EEF2.0-3C		30.0	m					
	漏電遮断器	2P 50AF/20AT		2.0	個					
	壁貫通	機械 38mm 100~150mm	n	1.0	力所					
	防火区画貫通処理材		II	1.0	個					
	1 一 小計									

(P - E - 2)

											上段		変更設計
					T				積 算	用紙	下段		原設計
	名	称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額		備	考
<u>2</u> [電灯・コン	セント設備工事											
1	ケーブル	(天井)											
			EM-EEF 1.6-2C		342.0	m							
	"	"	EM-EEF 1.6-3C		48.0	m							
	<i>"</i>	"	EM-EEF 2.0-3C		7.0	m							
	//	(管内)	EM-EEF 1.6-3C		80.0	m							
	//	<i>11</i>	EM-EEF 2.0-3C		5.0	m							
	電線		EM-IE 1.6		225.0	m							
					22010	 							
É	合成樹脂	可とう電線管	いんぺい PF16		77.0	m							
7	アウトレッ	トボックス	四角中浅 樹脂製		67.0	個							
13	位置ボック	ウス	四角中浅 樹脂製		41.0	個							
>	ジャンクシ	ーーーーーー /ョンボックス				/173							
			四角中浅 樹脂製		57.0 P - E -	3							 「総合政策部管財

								註 公	□□ 4 rf	上段		変更設計
名	 称	摘	 要	数量	単位	単	価	慎 昇 金	用紙 額	下段	 備	原 設計 考
人感センサ-	─用スイッチ	換気扇操作用 SL		17.0	個							
コンセント												
		2P15A×1 ET		50.0	個							
″		2P15A×1 ロック式		17.0	個							
人感センサ-		DAG		17.0	/(3)							
		RAS		17.0	個							
照明器具		A		154.0	台							
2 -	- 小計											

(P-E- 4)

									~ <u>.</u>	- 4-4	上段		変更設計
					T	1	T			用紙	下段		原設計
	名	称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額		備	考
3	トイレ呼出	し設備工事											
	ケーブル		EM-AE 1.2-4C		10.0) m							
	 合成樹脂	可とう電線管	いんぺい PF16		8.0) m							
	アウトレッ	トボックス	四角中浅樹脂製		2.0) 個							
	呼出しボタ	シ	プルスイッチ付		2.) 個							
	ブザー付属	愈下灯			1.0) 個							
	復旧ボタン	,			1.0								
	3	— 小計											

(P-E-5)

										1± AA	TT Art	上段		変更設計
	 名	 称	+ ±		*-		# / +		/ ==		用紙	下段	 備	原 設計 考
	<u>石</u>	<u>ተ/</u> ነ	摘	要 ——————	数	里	単位	単 ———	価	金	額		1)用 	
4	撤去工事													
	ケーブル													
	17 770		VVF1.6-2C		1	14.0	m							
	電線													
	PE 47/		IV1.6		34	14.0	m							
	 1種金属線ぴ													
			A型		-	10.0	m							
	"	スイッチボックス												
						2.0	個							
	 合成樹脂可と	こう電線管	DE10			24.0								
			PF16		<u> </u>	24.0	m							
	スイッチ		1P15A × 1		-	16.0								
			IFIJA ^ I			10.0	旭							
	スイッチ		 1P15A × 1+1P15ALና	 †		1.0								
				J			11111							
	コンセント		2P15A × 1		-	16.0								
	コンセント		2P15A × 2			1.0	個							
				(P - E	≣ – '	6)				•	富士見市	総合政策部管財課

					挂 姑 四 5㎡	上段 変更設計
 名 称			単位	単価	積算用紙 金額	下段 原 設計 備 考
照明器具	直付·富士型 FL40W×1	33.0	台			
"						
,,	壁付・カバー付 FL40W×1	16.0	台			
<弱電>						
ケーブル						
7 770	AE1.2-4C	7.0	m			
 1種金属線ぴ						
	A型	4.0	m			
<i>"</i> スイッチボッ	クス	2.0	個			
		2.0				
<i>"</i> コーナーボッ	クス	2.0	個			
mill 1545						
呼出しボタン		2.0	個			
 ブザー付廊下灯						
		1.0	個			
復旧押ボタン		100	/=			
		1.0	個			
4 一 小計						
		 (P - E -	7)	1	l

								上段	変更設計
		T		T			積算用紙	下段	原設計
	名 称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備	考
5	処分費								
	産業廃棄物	混合		1.0	式				
	"	照明		1.0	式				
	リサイクル	蛍光管		1.0	式				
		A 7.6		1.0	70				
	産業廃棄物 収集運搬			1.0	台				
	 リサイクル 収集運搬								
				1.0	台				
	5 — 小計								

(P-E-8)

									上段	変更設計
			T		•	,		積算用約	大 下段	原設計
	名	称	摘	要	数量	単位	単 価	金額		備考
6	スクラップ									
	スクラップ	(有価物)	ケーブル、電線		1.0	式				
	6 — 小計	+								

(P-E- 9)

								上段	変更設計
							積算用紙	下段	原 設計
	名称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備	考
Ш	機械設備工事費								
1	衛生器具設備工事			1.0	式				
2	給水設備工事			1.0	式				
3	排水設備工事			1.0	式				
4	換気設備工事			1.0	式				
5	アスベスト保温材撤去			1.0	式				
6	业								
				1.0	式				
	皿 一 計								
7	スクラップ			1.0	式				
	!	1	(P - M -	1)	•	富士見市	7総合政策部管財課

							上段 変更設計
			T	•		積 算 用 紙	下段 原設計
	名称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考
1	 衛生器具設備工事 						
	 洋風大便器 	FV+普通便座	30.0	組			
	洋風大便器	低圧用FV+普通便座	10.0	組			
	和風大便器		16.0	組			
	和風大便器用耐火カバー	-	12.0	組			
	小便器		40.0	組			
	カウンター洗面器	洗面器x3,自動水栓	16.0	組			
	化粧鏡	360×450 耐食鏡	48.0	枚			
	紙巻器	ステンレス仕様					
		棚付ワンタッチ式2連・高耐火重タイプ	56.0	個			

(P - M - 2)

							 		上段	変更設計
		T						用紙	下段	原設計
名	称	摘	要	数量	単位	単価	 金 ——	額	備	考
 多機能トイレハ	^パ ック				40					
				1.0	組					
化粧鏡		600×900 耐食鏡		1.0	台					
松文壮军										
擬音装置				1.0	台					
撤去工事費				1.0	式				】 別紙明細1	
				1.0					733456.53444	
1 .	— 小計									

(P-M-3)

							1± <i>h</i> h	TT Art	上段		変更設計
	 名 称		要	数 量	単位	 単 価	積 昇 金	用紙 額	下段	 備	原 設計 考
	口 你 T	加	女 ————————————————————————————————————	双 里	中位	 	<u> </u>	一		V ⊞	79
2	給水設備工事										
	 塩ビライニンク [*] 鋼管(VB)										
		20A (便所)		58.0	m						
	 塩ビライニング鋼管(VB)										
		25A (便所)		85.0	m						
	 塩ビライニング鋼管(VB)										
		32A (便所)		28.0	m						
	塩ビライニング鋼管(VB)	40.4 (FET)		45.0							
		40A (便所)		15.0	m						
	塩ビライニング鋼管(VB)			18.0							
		30A (使用)		10.0	m						
	塩ビライニング鋼管(VB)	65A (便所)		23.0	m						
	 塩ビライニング鋼管(VD)										
		20A (便所)		24.0	m						
	 塩ビライニンク [*] 鋼管(VD)										
		25A (便所)		31.0	m						
	 塩ビライニング鋼管(VD)										
		32A (便所)		9.0	m						
						<u> </u>					
			(P - M -	4)				富士見市	総合政策部管財課

								上段	変更設計
	<u>, </u>			1		積 算_	用紙	下段	原設計
名称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
塩ビライニング鋼管(VD)	40 A (T = r)								
	40A (便所)		5.0	m					
塩ビライニング鋼管(VD)	50.4 (/E-r)								
	50A (便所)		6.0	m					
塩ビライニング鋼管(VD)			8.0	m					
	00/(((()///)		0.0						
ライニング仕切弁									
	65A 5kg		8.0	個					
保温工事費									
			1.0	式				別紙明細2	
ハツリ・補修費									
			1.0	式				別紙明細3	
						_			
配管撤去費			1.0	式				別紙明細4	
—————————— 器具撤去費									
			1.0	式				別紙明細5	
			(P - M -	<u> </u>)				 市総合政策部管

								上段 変更設計
		T		1	ı		積 算 用 紙	下段 原設計
名	称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備考
保温撤去費				1.0	式			
				1.0	工			別紙明細6
│ │切断·接続費				1.0				
				1.0	式			別紙明細7
2 _	小計							
	(1) <u>[</u> [

(P - M - 6)

									~L LL		上段		変更設計
			T			1			横算	用紙	下段		原設計
	名	称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額		備	考
3	│ │排水設備긔 │	事											
		重塩化ビニル三層管											
	(RF-VP)		40A (便所)		19.0	m							
		賃塩化ビニル三層管											
	(RF-VP)		50A (便所)		16.0	m							
		賃塩化ビニル三層管											
	(RF-VP)		65A (便所)		20.0	m							
		賃塩化ビニル三層管											
	(RF-VP)		75A (便所)		12.0	m							
	リサイクル硬質 (RF−VP)	賃塩化ビニル三層管											
			100A (便所)		55.0	m							
	リサイクル硬質 (RF−VP)	賃塩化ビニル三層管	10=1 (F=T)										
			125A (便所)		6.0	m							
	硬質塩化ヒ (VP)	゛ニル耐火二層管	40 A //E=T\		50.0								
		»	40A (便所)		50.0	m							
	硬質塩化ヒ (VP)	゛ニル耐火二層管			55.0								
			SUA(I史別)		0.00	m							
	硬質塩化ビニル耐火二層管 (VP)	 65A (便所)		60.0	m								
		*-			00.0	m							
		゛ニル耐火二層管	 75A (便所)		52.0	m							
					J JZ.U	'''							

(P-M-7)

						-	- ~	上段	変更設計
	<u> </u>		<u> </u>			積 算 <i>[</i>	用 紙	下段	原設計
名称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
硬質塩化ビニル耐火二層管									
(VP)	100A (便所)		139.0	m					
──									
	COA65		8.0	個					
掃除口	00400		0.0	/œ					
	COA80		6.0	個					
掃除口	COA100		54.0	個					
	3071100		0 1.0						
掃除口	COA125		2.0	個					
ハツリ・補修費			1.0	式				別紙明細8	
 配管撤去費									
HU H IM A R			1.0	式				別紙明細9	
──│ │器具撤去費									
			1.0	式				別紙明細10	
切断•接続費			1.0	式					
			1.0	エ				別紙明細11	
保温撤去費			1.0	式				 別紙明細12	
			1.0					223 d26. 23 day 1 ==	
- <u> </u>	1	(P - M -	8)			富士見ī	

								上段 変更設計	
		T		1			積算用紙	下段 原設計	<u> </u>
名	称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備考	
│ │枡改修									
				2.0	箇所				
3	一 小計								

(P - M - 9)

							1= 55		上段	変更設計
	名称	摘	要	数 量	単位	単価	預 昇 金	用紙 額	下段 備	原 設計 考
4	換気設備工事									
	FE-1壁用換気扇	SUSウェサ゛カハ゛ー共防		16.0	個					
		30cm 1200m3/H 電 SUSウェサ゛カハ゛ー共	スプヤツダー式	16.0	旭					
	FE-2壁用換気扇	20cm 500m3/H		1.0	個					
	換気扇撤去費									
	授			1.0	式				別紙明細13	
	, J. =1									
	4 — 小計									

(P - M - 10)

								上段	変更設計
							積 算 用 紙	下段	原設計
	名	称	摘 要	数量	単位	単 価	金額	備	考
5	アスベスト	保温材撤去	レベル3(養生はレベル2)						
	作業台		立馬	225.0	m2				
	│ │清掃片付(│	内部改修)	個別改修(トイレ)	250.0	m2				
	床養生		ポリシートt0.15二重	250.0	m2				
	壁養生		ポリシートt0.1	638.0	m2				
	粉じん飛散	防止剤処理		250.0	m2				
	保護服		防塵マスク、防塵ゴーグル 手袋、防護服、ブーツカバー	1.0	式				
	エルボ配管	香撤去		250.0	m2				
	撤去材密閉	月処理	二重梱包	12.0	m3				
	集積運搬			3.0	台				
	廃棄処分			12.0	m3				

(P - M - 11)

										上段	変更設計
								積	算 用 紙	下段	原 設計
:	名	称	摘	要	数量	単位	単 個	\$	金額	備	考
5 -	一 小計										
				(P - M	- 12	')			富士」	見市総合政策部管財課

										上段	変更設計
			,					積 算 用	紙	下段	原 設計
	名	称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
6	 処分費 										
	陶器類				2261.0	kg					
	産業廃棄物				3.3	m3					
	保温材				25.8	m3					
	収集運搬費				7.0	台					
	6 —	小計									

(P - M - 13)

						辞 答 田 《 [上段 変更設計 下段 原 設計
	 名 称	 摘 要	数量	単位	単価	積 算 用 紙 金 額	「P技
7	スクラップ						
	鉄クズ		1,304.0	kg			
	 銅クス [*]		1,001.0	1,8			
	到門プス		252.0	kg			
	7 — 小計						
		(P - M -	14)		富士見市総合政策部管財課

						積 算 用 紙	上段 変更設計
							下段 原 設計
名称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備考
別紙明細1							
撤去工事費							
和風大便器			40.0	組			
洋風便器			16.0	組			
一			16.0				
身障者便器			1.0	組			
小便器			48. 0	組			
, J C III			10.0	//3.2.2			
洗面器			1.0	組			
化粧鏡			48. 0	枚			
傾斜鏡			1.0	枚			
ホーム水栓			64.0	個			
計							
別紙明細1							
改め							

(P. M別 - 1 -) a士見市 総合政策部 管財課

					積 算 用 紙 🗕	上段 変更設計
					付 异 川 സ 一	下段 原 設計
名称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
別紙明細 2						
保温工事費						
	便所					
塩ビライニング、鋼管(VB)	20A (ポリスチレン)	58. 0	m			
	便所					
塩ビライニング、鋼管(VB)	25A (ポリスチレン)	85. 0	m			
	便所					
塩 ビライニング 鋼管 (VB)	32A (ポリスチレン)	28. 0	m			
	便所					
塩ビライニング、鋼管(VB)	40A (ポリスチレン)	15. 0	m			
	便所					
塩ビライニング、鋼管(VB)	50A (ポリスチレン)	18. 0	m			
	便所					
塩 ビライニング 鋼管 (VB)	65A (ポリスチレン)	23. 0	m			
計						
別紙明細 2						
改め						

(P. M別 - 2 -富士見市 総合政策部 管財課

上段

変更設計

					積 算 用 紙	上段 変更設計
						下段 原 設計
名称	摘 要	数量	単位	単 価	金額	備考
別紙明細3						
ハツリ・補修費						
ハツリ・補修費	$100 \sim 150$ mm 75ϕ	88. 0	か所			
計						
別紙明細3						
改め						

(P. M別 - 3 -) 富士見市 総合政策部 管財課

						積 算 用 紙	上段 変更設計
						惧 异 用 സ	下段 原 設計
名 称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備考
別紙明細 4							
配管撤去費							
塩ビライニング鋼管	20A 土間		2.8	m			
He is to the second to	054 [88		1.0				
塩ビライニング鋼管	25A 土間		1.3	m			
塩ビライニング鋼管	20A ピット		14.8	m			
塩ビライニング鋼管	25A ピット		29. 2	m			
塩ビライニング鋼管	32A ピット		8.6	m			
塩ビライニング鋼管	40A ピット		7.0	m			
塩ビライニング鋼管	50A ピット		5. 0	****			
塩 レノイ ーン グ 婀目	JOA L 9 F		5.0	m			
塩ビライニング鋼管	65A ピット		5. 4	m			
塩ビライニング鋼管	20A 隠蔽		44.4	m			
塩ビライニング鋼管	25A 隠蔽		87. 6	m			

(P. M別 - 4 -) 富士見市 総合政策部 管財課

						積 算 用 紙	上段 変更設計
						惧 异 川 സ	下段 原 設計
名称	摘	要	数量	単位	単 価	金 額	備考
塩ビライニング鋼管	32A 隠蔽		19.8	m			
塩ビライニング鋼管	40A 隠蔽		21.0	m			
塩ビライニング鋼管	50A 隠蔽		15. 0	m			
塩ビライニング鋼管	65A 隠蔽		16. 2	m			
計							
別紙明細4							
改め							

(P. M別 - 5 -) 富士見市 総合政策部 管財課

					積 算 用 紙	上段 変更設計
名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金額	下段 原 設計 備 考
		数 里	早 7以	- 半 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	並 領	/ // // // // // // // // // // // // /
別紙明細 5 器具撤去費						
仕切り弁	32A	2.00	個			
仕切り弁	65A	8.00	個			
122 2 2 7 1						
計十						
別紙明細 5						
改め						

(P. M別 - 6 -) a士見市 総合政策部 管財課

						積 算 用 絹	上段 変更設計
						但	下段 原設計
名称	摘	要	数量	単位	単 価	金 額	備考
別紙明細 6							
保温撤去費							
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	20A ピット		14.8	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	25A ピット		29. 2	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	32A ピット		8.6	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	40A ピット		7. 0	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	50A ピット		5. 0	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	65A ピット		5. 4	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	20A 隠蔽		44.4	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	25A 隠蔽		87. 6	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	32A 隠蔽		19.8	m			
	グラスウール						
塩ビライニング鋼管	40A 隠蔽		21.0	m			

富士見市 総合政策部 管財課 (P. M別 - 7 -)

上段

変更設計

					積 算 用 紙	上段 変更設計
					惧 异 川 സ	下段 原 設計
名称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
	グラスウール					
塩ビライニング鋼管	50A 隠蔽	15. 0	m			
	グラスウール					
塩ビライニング鋼管	65A 隠蔽	16. 2	m			
計						
別紙明細 6						
改め						

(P. M別 - 8 -

					1	上段 変更設計
					積 算 用 紙	下段 原 設計
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考
別紙明細 7						
切断・接続費						
切断・接続	25A (鋼管保温有り)	1.0	か所			
切断・接続	32A (鋼管保温有り)	8.0	か所			
切断・接続	 65A (鋼管保温有り)	8.0	か所			
93191 193790		0.0	7 7 7 7 1			
 ⇒ .						
計						
別紙明細 7						
改め						

(P. M別 - 9 -) 富士見市 総合政策部 管財課

					積 算 用 紙	上段 変更設計
					惧 异 川 祇	下段 原 設計
名称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
別紙明細8						
ハツリ・補修費						
ハツリ・補修費	100~150mm 100 φ	88. 0	か所			
ハツリ・補修費	$100 \sim 150 \text{mm}$ 150ϕ	110. 0	か所			
 						
別紙明細8						
改め						

(P. M別 - 10 -) 富士見市 総合政策部 管財課

					金 笠 田 紅	上段 変更設計
					積 算 用 紙	下段 原 設計
名称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
別紙明細 9						
配管撤去費						
鋼管	40A(便所)	9. 2	m			
鋼管	50A(便所)	122. 4	m			
鋼管	65A (便所)	79.0	m			
鋼管	75A(便所)	52. 2	m			
鋼管	100A(便所)	196. 5	m			
N. i E	10011 ((\(\infty\)))	130.0				
鋼管	125A(便所)	5. 4	m			
計						
別紙明細 9						
改め						I

(P. M別 - 11 -) a士見市 総合政策部 管財課

					4 数 □ 如	上段 変更設計
					積 算 用 紙	下段 原 設計
名称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
別紙明細10						
器具撤去費						
排水金物	COB100	52. 0	個			
HIL AL A HAM	C0B125	2.0	個			
排水金物	C0B125	2.0	10			
排水金物	50T-5B	16.0	個			
排水金物	50T-14B	16.0	個			
排水金物	SNA65	16.0	個			
計						
別紙明細10						
改め						

(P. M別 - 12 -) 富士見市 総合政策部 管財課

					1± /25 II (vif	上段 変更設計
					積 算 用 紙	下段 原 設計
名称	摘 要	数量	単位	単 価	金額	備考
別紙明細11						
切断・接続費						
切断・接続	50A	6.0	か所			
35171 35172			10 /21			
切断・接続	65A	5.0	か所			
切断・接続	100A	35.0	か所			
9761 1271/1	100/1	30.0	73 171			
切断・接続	125A	4.0	か所			
計						
別紙明細11						
改め						

(P. M別 - 13 -) 富士見市 総合政策部 管財課

					金数四级	上段 変更設計
					積 算 用 紙	下段 原 設計
名称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
別紙明細12						
保温撤去費						
保温撤去費	50A (便所)	67.2	m			
		24.2				
保温撤去費	65A (便所)	34.0	m			
保温撤去費		51.6	100			
		51.0	m			
保温撤去費		194. 0	m			
NAIM TO A	10011 (2////	1011.0				
保温撤去費	125A (便所)	5. 4	m			
計						
別紙明細12						
改め						

(P. M別 - 14 -) 富士見市 総合政策部 管財課

						積 算 用 紙	上段 変更設計
						11 2 21 713 7124	下段 原 設計
名称	摘	要	数量	単位	単 価	金額	備考
別紙明細13 換気扇撤去							
IKA(A)IN A							
換気扇	30cm		16. 0	個			
換気扇	20cm		1.0	個			
J.C.N. Ag	100m		11.0	II			
別紙明細13							
改め							

(P. M別 - 15 -) 富士見市 総合政策部 管財課

工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事

(第1期工事)

平成31年度工事

			設 計 目 録				総図面枚数 4	4 枚
建築工事			電 気 設 備 工 事			機械設備工事		
図面番号 図 面 名	改修前後 縮	ラ 図面番号	図 面 名	改修前後 縮 尺	図面番号	図 面 名	改修前後	縮尺
A-01 表 紙		E - 0 1	電気設備工事特記仕様書	後 —	M - 0 1	機械設備工事特記仕様書一 1	後	_
A - 0 2 特記仕様書 - 1	後 —	E-02	Aトイレ電灯・コンセント設備図	前後 1∶50	M - 0 2	機械設備工事特記仕様書- 2	後	_
A - 0 3 特記仕様書 - 2	後 -	E - 0 3	Bトイレ電灯・コンセント設備図	前後 1:50	M - 0 3	機械設備工事特記仕様書-3	後	-
A - O 4 特記仕様書 - 3	後 -	E - 0 4	多目的トイレ電灯・コンセント設備図	前後 1∶50	M - 0 4	凡例・系統図	後	_
A - 0 5 特記仕様書 - 4	後 -	E-05	多目的トイレ呼出し設備図	前後 1∶50	M - 0 5	器具表	後	_
A - 0 6 特記仕様書 - 5	後 -	E-06	1 階分岐幹線図	後 1:400	M - 0 6	1階、2階平面図	後	1:400
A - 0 7 特記仕様書 - 6	後 -	E-07	多目的トイレ呼出し設備図	後 1:400	M - 0 7	3階、4階平面図	後	1:400
A-08 案内、配置図	後 1:700				M - 0 8	1、2、3、4階Aトイレ改修後図	後	1:50
A - 0 9 内部仕上表 - 1	前後 一				M - 0 9	1、2、3、4階Bトイレ改修後図	後	1:50
A-10 内部仕上表-2	前後 一				M - 1 0	1、2、3、4階A便所改修前図	前	1:50
A-11 1階、2階平面図	後 1:400				M – 1 1	1、2、3、4階B便所改修前図	前	1:50
A-12 3階、4階平面図	後 1:400				M - 1 2	多目的トイレ改修前後図	前後	1:50
A-13 1、2、3、4階A便所改修前図	前 1:50,10	0						
A-14 1階Aトイレ改修後図	後 1:50,10	0						
A-15 2、3、4階Aトイレ改修後図	後 1:50,10	0						
A-16 1、2、3、4階B便所改修前図	前 1:50,10	0						
A-17 1、2、3、4階Bトイレ改修後図	後 1:50,10	0						
A-18 多目的トイレ改修前後図	後 1:50							
A-19 建具表 (アルミ製建具)	後 1:5、5	0						
A-20 建具表 (TB, PT)	後 1:50							
A-21 建具詳細図(TB, PT)	後 1:5							
A-22 建具表(軽量鋼製建具)	後 1:5、5	0						
A-23 部分詳細図-1	後 1:5, 10, 20,	30						
A-24 部分詳細図-2	後 1:5,1(
A-25 Aトイレ参考仮設図	前後 1:50							

発注者 富士見市長 星 株 式 会 社 設

株式会社 柳井設計 一級建築士事務所 富士見市

一級建築士 柳 井 博 登録番号 第85179号 変更年月日

承認 設計 製図 設計年月日

富士見市総合政策部 管財課

|課 長│副課長│主 任│担 当

工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事)

	章 項 目	特 記 事 項	14 完成写真		2] {1. 6. 6}	水 [3. 3. 2~5]	
工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事)	1 ① 適用基準等 ②建築工	工事標準詳細図(国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版) 県建築工事実務要覧		※対象(建築・設備工事電子納品写真作成要領により作成, CD-Rを1部提・対象外 写真アルバムの提出 (一行う(1部) ・ 行わない 分類・規格 ※カラーキャビネ版 ・カラー全紙パネル	出)	屋根保護防水 防水層の種別 工法 種別 施工箇所 断熱材 G 絶縁用シート 立上り部の保護	
│ │特記仕様書	ー 般 ② 条件明示事項	{1. 1. 3}		撮影個所 ①監督員との協議の上決定 ・外部 () 内部 () ・外観正面 ()		- P 2 A · A-1 ※ボリエチレンフィルム · 乾式保護材 厚さ0.15mm以上 · コンウリート押え · れんが押え	
Ⅰ Ⅰ 工事概要	共 ※火災(通 3 工事実績情報の登録 ※行う	保険等(種類:総合建設保険等 期間:工事完成期日後14日を含む期間) ・行わない [1.1.4] {1.1.8}		着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する 撮影者は建築完成写真撮影の実績のある業者とし、監督員の承諾を受ける フィルムを使用した場合、フィルム原版は撮影業者の保管とする。	5=6	· P1B · B-1	
1. 工事場所 埼玉県富士見市大字鶴馬地内	 	基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。(1.2.2)	 15 施設CADデータの			- B-3 · P 2 A I · A I − 1 (材質) ※JIS A 9521によ ※7ラットヤーンクロス る押出法ポリステレンフォーム断熱 70g/㎡程度	
2. 敷地面積 <u>20,678.00m2</u> 延床面積 7,089.74m2	·風』 	王力 ▼ (Vo= m/s) 表面粗度区分 (・I ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ)	更新 (16) 施設使用マニュアル		[1, 8, 3]	A I - 3	
3. 工事種目 (建物概要)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	雪荷重 成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 ()	の作成	注 工事目的物の引渡しに際しては、建物を構成する部分で通常取扱いに注 要するものについては、その使用方法について解説したマニュアルを作成し	意を	・T1BI ※BI-2 ・BI-3	
小学校(管理棟、普通教室棟)トイレ改修工事	⑤ 電気保安技術者 ※適用で	する [1. 3. 3]		設を管理することとなる者へ引き渡す。		(厚さ)·25mm ·	
鉄筋コンクリート造 <u>地上4階建</u>	6 発生材の処理等	般出適正処理 [1.3.12]	① その他	※建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する ※埼玉県建築物バリアフリー条例及び埼玉県福祉のまちづくり条例厳守。		※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による	
	注 a) 身	度しを要するもの (・図示 (1.1.13) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理				平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・ 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・	
4. 工事内容	b) A	のうえ調書を添えて監督員に報告する。 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促				・乾式保護材 窯業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオート クレープ養生したもの。	
トイレ改修工 <u>事</u> 建築工事 : 内部仕上改修(湿式から乾式)、トイレブース取替		進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。	2 ① 足場その他	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、 イドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」	[2, 2, 1] 同ガ In お	金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水	
鋼製外部建具取替	(7) 環境への配慮	[1. 4. 1]	仮 設 工	ける2の(2) 手すり 据置き方式又は(3) 手すり 先行専用足場方式により行う。 (・) 内部足場 (・) 設置する (※脚立、足場板等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	しない	防水層の種別 	
電気設備工事:スイッチ改修、照明器具改修 機械設備工事:便器・流し改修、給排水配管改修、換気扇改修	建築物にと共に、	内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する 次の①から④)を満たすものとする。	事	防護シート ○設置する ・設置しない		工法 種別 箇所 超級材 0	
		合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保 晶材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレン		種別 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種) C種:利用可能なエレベーター (・図示 ・)	表2. 2. 1]	・M4C ・C-1 ・製造所の ・製造所の ・ 指定による 指定による	
	2 1	を発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルム アルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない		□ D種:利用可能な階段 (・図示 ・) その他の足場		· C-4 · M 3 D · D-1 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	3 1	対料を使用する。 安着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル 等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。	② 既存部分の養生	1) 養生の方法等	[2. 3. 1]	・POD ※D-2 ・D-3 ・製造所の 指定による 指定による 指定による おおけない	
	4 0	サミコー じない 無単元性の 引生用を にいている いっぱい かっぱっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっ		・既存部分 養生の方法(※ビニルシート等、合板等 ・既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等 ・既存プラインド、カーテン等 養生の方法(・ビニルシート等		· D-4 ・ b - b - b - b - b - b - b - b - b - b	
5. 工 期 契約工期 契約工期 契約 日から平成31年9月27日まで 共通仮設費率の算定に用いる工期 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで	(8) 材料の品質等	型のじ少ない材料を使用したものとする。 「1.4.2]		保管場所 (・図示・・)・備品、机、ロッカー等の移動(・図示・・)		・ PODI ・DI-1 (材質) ・ 数造所の ・ 数造所の ・ 数き所の ・ 数は の ・ 数ける	
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで 現場代理人の現場への常駐を要しない期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで	本工事	事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを る。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、		2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また 損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行		・M 4 D I ※JIS A 9521による 指定による 指定による で設けない 改修用ドレン	
現場施工期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	材料し、この	じめ監督員の承諾を受ける。 ・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものと の証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたこと	③ 仮設間仕切	[2.3.2] 1)仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ②示・	[表2. 3. 1]	ム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合 ・設ける・設けない	
6. 工事範囲 ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。	(1)	書面を提出して監督員の承諾を受ける。 品質及び性能に関する試験データが整備されていること 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること		2)仮設間仕切りの種別と材質等 種別下地 仕上げ(厚さmm) 塗装 充	真材	するもの又はJIS A 9511によるA種硬質 ウレタンフォーム保温材の保	
○「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。	(3) 5	安定的な供給が可能であること 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること		<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""><td></td><td>温板2種1号又は2号 で透湿係数を除く規</td></td>	<td></td> <td>温板2種1号又は2号 で透湿係数を除く規</td>		温板2種1号又は2号 で透湿係数を除く規
工事種目	(6) 類 ※製材等	販売、保守等の営業体制が整えられていること 等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の		※C種 単管 防炎シート 充填材: グラスウール32k (厚:50mm以上)			格に適合するもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
建築工事 電気設備工事 機械設備工事	性の語	方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能 証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明 監督員に提出する。			真材	(厚さ)·25mm ·	
2 仮設工事 〇	⑨ 県産品の使用	{1. 4. 2}		※木製 ※合板張り程度 ・無し ※有り ・片面 ・無し		脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による ・脱気装置の種類 、設置数量 個/㎡	
3 防水改修工事	玉県内口	fは、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼 に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材 埼玉県産とするよう努める。		充填材: グラスウール32k(厚:50mm以上)		屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材 の張りじまい位置 ※図示 ・	
4 外壁改修工事	(10) 技能士	[1. 6. 2] {1. 3. 2}	4 工事概要案内板 5 監督員事務所	※設置する・設置しない 規模・既存建物内の一部を使用	[2. 4. 1]	屋内防水 工法 種別 施工箇所 備考 ・P1E ・E-1 保護層・設ける	
-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	適用 	月工事種別 大 能 検 定 作 業		・構内に新設 m ² ※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品(名分相当)		<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""></td>	
-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁 -3 外壁改修工事	防水改	・ 7スファルト防水工事作業 ・ ウレタンコ゚ム系塗膜防水工事作業 ・ アスワァルト防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ピニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業		・机 ・椅子 ・書棚 ・黒板 ・製図板等 ・掛時計 ・寒暖計 ・長 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・安全帯 ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機	靴	※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・ 屋根排水溝 ※図示 ・	
タイル張り仕上げ外壁 -4 外壁改修工事		・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業	6 工事用水	・ F A X ・ 電子メール通信機器 ・ スキャナー ・ ブリンター	6 改質アスファル シート防水		
<u>塗り仕上げ外壁</u> 5 建具改修工事		・左官作業 ・内外装板金作業 ・タイル張り作業	7 工事用電力	・その仮設にかかる費用は受注者の負担とする 横内既存の施設 ※利用できない (・利用できる (※有償 ・無償) ・その仮設にかかる費用は受注者の負担とする		T法 種別 施工 断熱材 G 仕上塗料 筒口別及 備考 	
6 内装改修工事		・建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入作業 ・	8 工事用搬入路	※図示 ・		・AS-T1 ・M4AS ・AS-T2 ・製造所の指定にの指定にの指定に	
7 塗装改修工事 〇	 	・自動ドア施工作業 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上作業	⑨ 仮囲い⑩ 交通誘導員	・設置する・・必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。		- AS-J2 よる よる - 脱気装置 - M3AS - AS-T4	
8 耐震改修工事		・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・壁装作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業	11 快適トイレ	①図示による(仕様書による) 仕様 ※図示		・AS-14 ・AS-J1 ・AS-J3 ・ AS-J3	
9 環境配慮改修工事	塗装改	(修工事・建築塗装作業				· AS-T3	
10 鉄肋工事 O	耐震改	で ・ 鉄筋組立作業 ・ 型枠工事作業 ・ とび作業 ・ 構造物鉄工作業				・POAS ・AS-J1 ・AS-J3 (お質)	
			3 1 施工数量調査	調査範囲 ・図示の範囲 ・ 調査方法 ・図示 ・	[1. 5. 2~3]		
Ⅱ 建築改修工事仕様	数量 次の材料の名称と 次の材料 ※監督	料を予備材料として工事完成時に納入する。 8員の指示による	防	調食方法 ・図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 調査報告書 提出部数 ・2部 ・		- ASI-T1	
(1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて埼玉県建築工事	② 完成図等 完成図	{1.6.1} {1.6.3~5} [1.8.1][1.8.2][1.8.3][表1.8.1] (製本) ※二つ折り(A2版)製本 1部、(A3版)製本 2部	改修2降雨等に対する養生	E Walter 24 (1) 14 to 2 (2) \ (2) \ (2) \ (2) \ (3) \ (3) \ (4) \ (2) \ (4) \	[3. 1. 3]	・M3ASI するもの又はJIS A の指定による 9511によるA種硬質がよる 防湿層	
特別共通仕様書、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版)」 及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(平成28年版)」による。		(電子化媒体) ※CD-H、1部(埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による) CADデータの形式 ※JWW ・DXF (少JWW verについては監督員と協議する。	五 方法(とい共)			I トランフォーム保温材の保 ・設けるいは、およりは、およりは、およりは、またりは、またりは、またりは、またりは、またりは、またりは、またりは、また	
(2)本特記仕様書の表記 1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2)特記事項は、 ○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。	保全に 施工図 保証書	関する資料 提出部数 ※1部 ・ 部 ・二つ折り(A1版)製本を1部提出	3 既存防水の処理	[3.2] 既存保護層の撤去・行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない	. 3、4、6]	・ASI-J1 格に適合するもの ・	
 ① 印と 図 印の付いた場合は、共に適用する。 ① 印と ※の場合は、①のみを適用する。 3)特記事項に記載の { } 内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。 		水工事 ※屋上防水 ・外壁防水 ・金属屋根 ・ 建物引き渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカー の3者連名とし2部提出する。		既存防水層の撤去・行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う (・M4AS ・M4AS ・M4C ・M4D)	.14Y)	(厚さ)・25mm・	
4) 特記事項に記載の [] 内の表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28 年版」(以下「改修標準仕様書」という)の当該項目、当該図表を示す。		水工事以外 · 1 部提出		・行わない		※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ	
5)特記事項に記載の()内の表示番号は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版」(以下「標準仕様書」という)の当該項目、当該図表を示す。 6)製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、()内は製品名を示す。	※対 ・対	電子納品運用ガイドラインの適用 {1.6.2} {1.6.6} †象(建築・設備工事電子納品写真作成要領により作成, CD-Rを 1 部提出) †象外	4 既存防水層の下地補修	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 · 図示 · POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非		※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による	
7) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に 基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成29年2月7日閣議決定)」(以下「グリーン購 入法基本方針」)による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。	写真の	プログログ (1部) · 行わない		した立上り部等の補修及び処置 ※改修標準仕様書3.2.6(d)(3)(vii)①~③I:	こよる ·	脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定による ・脱気装置の種類 、設置数量 個/㎡	
なお、「③ 印は設計図書で定めのある品目を示す 8)注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。						押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による	
株式会社柳井設計	_ 级建筑十重致配			承認 設計 製図	副課長 主 任 担 当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事) 。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
L市 III	一級建築士事務所 TEL 049-264-832	0 (代)	 			A	
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	FAX 049-264-879 E-mail yanaisekkei@nifty.com			□		図面名 特記仕様書 — 1 S=1:- /	

7 合成高分子系 ルーフィングシー 防水	Tumor	11 アルミニウム製笠木 種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・ 押出350形) ・板材が曲け形 (・オープン形式 ・シール形式 ・ アルス・ ・ アルス	放去 放去 外 空 で割れ部改修 では、	一大田田田	4 浮き部改修工法	中総調整目地及びいび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕権書表4.5.1による クイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験
8 塗膜防水	目地処理	4 1 施工数量調査 調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲調査時期・外壁仕上げ等除去後調査方法 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはを壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。	£L.	アンカーピン ※ステンレス銅(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの ・ 注入口付アンカーピン ※ステンレス銅(SUS304)呼び径外径6mm ・ 充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 既製目地材 ・使用する(形状 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示	5 目地改修工法	・ 行わない ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 タイル張りの工法 タグをタイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り が装ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
	・ Wind State (Not the poly of the p		Vmm ² 改 :	撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ	6 タイルの形状、寸法等	(4, 2, 2]
⑨ シーリング	シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ガリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類(記号) 外部建具カバー工法部分 変成シリコン2成分 コンク	-1 1 ひび割れ部改修工法 - 樹脂注入工法 - 工法の種類	#	樹脂注入工法 ※エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜取り検査 ・行う ・行わない 抜取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個・ 抜取り部の補修方法 ・図示 ・ リカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去面) ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 [4.1.4][4.2.2][4.5.7、8]	4-4 外壁 改修工事	見本焼き ・行う ・行わない 工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表4.6.1による・・単位面積当たりの塗付け量 表7. による [4.6.3] 工法 処理範囲 下地面の補修・サンダー工法 ※図示・・びび割れ部・改修工法・ア長部・高圧水洗工法 ※図示・・次級示・・次級示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
10 とい	注 接着性試験を行う。ただし、同じ材料の組合わせで実施した試験成績書がある 場合は、監督員の承諾を受けて試験を省略することができる。	大 抜取り部の補修方法 ※2 ・ ・ ・	2][4. 3. 7]	接着剤の種類 ・ガリマーセメントモルタル ・ガリスーセメントモルタル ・ガリスーを多りでは、1 S A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・タイル張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系	塗り仕上げ外壁 3 下地調整塗材	加圧力 ※30MPa程度以上 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする) ・
富士見市		一	年月日	承認 設計 製図 富士見市総合政策部 管財課	 	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事) 図面番号 A S=1:- O 3

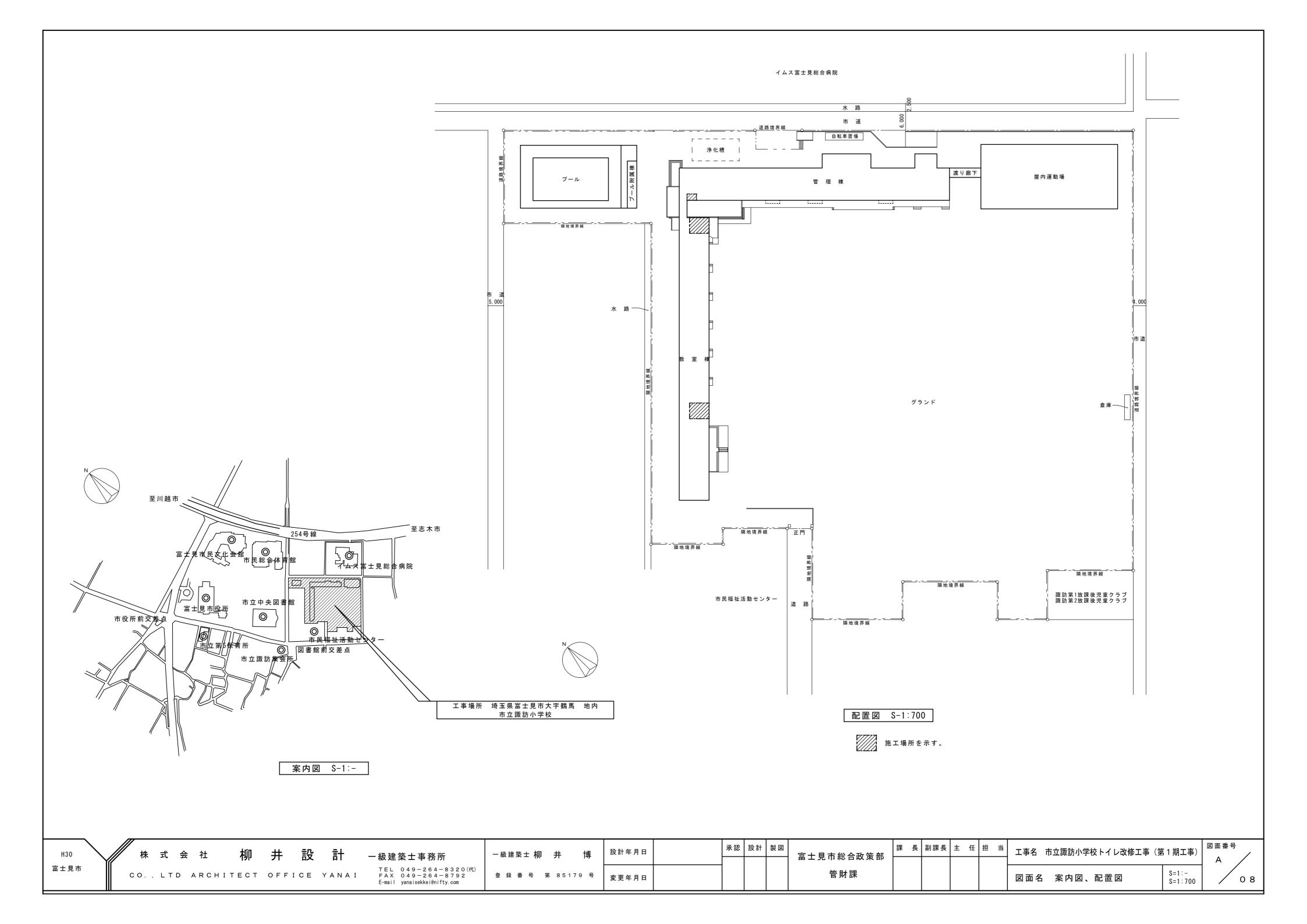
・薄付け 仕上塗材 ・可とう形外装薄塗材Si ・ ゆず肌状(・ ・ か装薄塗材E ・ ・ でさざ波状 ・ 可とう形外装薄塗材E ・ ・ では、	D形状及び工法等・吹付け・ローラー塗り)吹付け・こて塗り)壁状(・吹付け・こて塗り)	(建具符号:・建具表による・・・・)・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:・建具表による・・・・)・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:・建具表による・・・)		シャッターの種類 耐風圧強度 ・般重量シャッター 耐風圧強度() N/㎡ ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式		※施工箇所は建具表による 名称 種類 日射遮蔽性能 ・日射調整フィルム	
仕上塗材 ・可とう形外装薄塗材S ・ ゆず肌状(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ さざ波状 ・ 可とう形外装薄塗材E ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	吹付け・こて塗り)	【建具符号:・建具表による・・・・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級()		・屋内用防火シャッター・屋内用防煙シャッター		<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""></td>	
・外装薄塗材E ・ ・可とう形外装薄塗材E ・ ・防水形外装薄塗材E ・ ・外装薄塗材S ・ ・外装薄塗材S ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <	吹付け・こて塗り)	耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級()					
・防水形外装薄塗材E ・ 凹凸状 ・吹 ・外装薄塗材 S ・ 着色 有材砂壁 ・砂壁状じゆら 京壁状じゆら							
・砂壁状じゅら		・適用しない		屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※改修標準仕様書5.10.2(d)(4)(i)かつ(ii)		<u>・</u> 品質 JIS A 5759 :2016 による	
	6 <	鋼板 材料 めっき付着量 厚さ		管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)		田貝 010 8 3700 .2010 による	
「	りく 凸部処理 ・平たん状	・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)※Z12又はF12・ ・標準仕様書表5.4.2による ・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニ)※Y08・		劉明成の任規 い い は い は い は い は い は い は い は い は い は	6 ① 改修範囲	 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6	
仕上塗材 ・外装厚塗材 S i ・ 凹凸状 ・ び ・外装厚塗材 E ・ 上塗材 ・ 通	ひき起こし · かき落とし	ウム合金めっき鋼板)	16 軽量シャッター	[5.11.2~4]	内	※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ①図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲	
- 複層 ・複層塗材CE ・ ゆず肌状・ I ・ ゆず肌状・ I ・ でしている では、	(8) 鋼彩軽重建具	[5. 2. 2] [5. 5. 2~4] 性能等級		開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度	装 改	※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま (・図示	
- 複層塗材 E · 上塗材	大川2 0 作	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:・建具表による ・)		· JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06 · ·)	修 欠 既存床の撤去及び		
・複層塗材RE ・ 溶媒 ※水	<系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 7クリル系 ・	・適用しない 防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 ()		・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90)	事	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全	
・防水形複層涂材 ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・) やあり ・ つやなし タリック	(建具符号:・建具表による・) ・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級 ()	17 オーバーヘッドドフ	スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 		合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法	
·防水形複層塗材RS	N. ASAL IA. AS 1800 IA.	・適用しない	17 3 - 1 - 1 9 1 1	・ セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレール による区分 区分 による区分 による区分 の材質		改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内・	
改修用 ・可とう形改修塗材E 耐候性 ※耐修	・さざ波状 · ゆず肌状	耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:・建具表による ・)		(Pa)	3 既存壁の撤去及び 下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6	
/ 100/00/02/01 1000	<系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	・適用しない 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の原文 ・みを煙進仕様乗車5.5.1 による。		・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めっき鋼板		※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ・行う ・行わない) ・図示・	
/ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬)やあり · つやなし	鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.1による ・ 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板・ ^{建具表による}		・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・50 ・パーチカル形	4 木下地等の表面		
・可とう形改修塗材CE	タリック 9 ステンレス製建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~4] 性能等級	18 ガラス	[3.7][5.13.2~4][表5.13.1] 適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。	仕上げ		
5 マスチック塗材塗り 種別 ・A種 ・B種	[4. 1. 5] [4. 7. 2] [表4. 7. 1]	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:・建具表による ・) ・適用しない		週川は以下によるはか、ガラヘの性類・序では建兵衣及び凶国による。 ・合わせガラス		・A種 ・B種	
		外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号:・建具表による ・) ・S-5 (建具符号:・建具表による ・)		品種 構成種類 性能	5 製材 G	· C種	
① 改修工法	[5. 1. 3] 適用箇所	S-6 (建具符号:・建具表による・)		・熱線吸収、フロート板合わせガラス		・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 - ケーダー 大山 大山 全北京 間に	
・アルミニウム製建具・樹脂製建具・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3 ·	防音ドアセット, 防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:・建具表による ・) ・適用しない		・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、フロート板合わせガラス ・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類 ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス ・Ⅲ類		施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間付 の ※2級・ ※4種・B種・	
・鋼製建具 ・外部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 建具表による ・ 内部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3 ·	断熱ドアセット, 断熱サッシ G.」 ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:・建具表による・)		・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 性能			
・鋼製軽量建具 ・ 建具表による ・ ステンレス製建具 ・ 建具表による	ð ·	<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""><td></td><td>・フロートガラス ・ I 類・ II 類 ・ II 類・ II 類 ・ II 類 II 類 ・ II 類</td><td></td><td></td></td>	<td></td> <td>・フロートガラス ・ I 類・ II 類 ・ II 類・ II 類 ・ II 類 II 類 ・ II 類</td> <td></td> <td></td>		・フロートガラス ・ I 類・ II 類 ・ II 類・ II 類 ・ II 類 II 類 ・ II 類		
新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示	-	(建具符号:・建具表による・) ・適用しない 鋼板(屋外) ・SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ・			・型板ガラス ・型板強化ガラス		・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 (mm) 等級 形状 含水率 間
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示・		鋼板(屋内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 表面仕上げ ※HL 鏡面		・熟線吸収板ガラス		施工園所 樹種 (mm) 等級 形状 含水率 う 見え掛り面 ※上小節 ※A種・B種	
2 防火戸 ・適用する 適用箇所 (・建具表による ・) ・適用しない	[5. 1. 4] 10 木製建具	ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ - 角出し曲げ (16.7.2~4)		日種 性能 色調 ・熟線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ		見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種・B種 ・	
3 見本の製作等	[5. 1. 5]	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量		・熱線吸収網入磨き板ガラス		・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材	
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじぬ	・行わない	※規制対象外・		・複層ガラス 断熱性 日射熱遮へい性		施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間 の ※1等 ※15 ※10%以下	
・納まり等がわかる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:)	・行わない	・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 規格等 備考		・断熱複層ガラス - 1種 U1 - 2種 U2			
4 防犯建物部品・適用する() 適用箇所(・建具表による・・) [5. 1. 7]	・普通合板 G 表面の樹種 生地、透明塗料塗り		- 1			
・適用しない 5 アルミニウム製建具	[5. 2. 2、4、5] [表5. 2. 2]	工地、		- 1 日 初		・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法 材面 防虫処理 難燃処理 含水率 間	
・ ハル・	.)	「		・熟線反射ガラス 日射熱遮へい性 耐久性		(mm) の品質 (mm) の品質 (Material Region	
・B種(建具符号:・建具表による・・ ・C種(建具符号:・建具表による・・	.)	接着の程度(・1類・2類) ・天然木 化粧合板 「G」 樹種名(・熟線反射ガラス ・1種 A種 色調(・ブルー ・グレー) ・2種 ・A種 ・B種		造作材の場合 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等紙 (建具符号:・建具表に ・適用しない		接着の程度(・1類・2類)		<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""><td></td><td>・代用樹種を使用できない箇所(</td></td>	<td></td> <td>・代用樹種を使用できない箇所(</td>		・代用樹種を使用できない箇所(
断熱ドアセット, 断熱サッシ Ġ ・適用する 断熱性の等級 (建具符号:・建具表に		・特殊加工 化粧合板 ③ 化粧加工の方法 (・オーパーレイ・プリント・塗装) 表面性能() タイプ		一		6 造作用集成材 G	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追踪 (建具符号:・建具表)		接着の程度(・1類 ・2類)		映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス		施工笛所 樹種 寸法 目付け材面の具質 間	
・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による ・	· -	表面板の厚さ ※表16.7.6による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		材料板ガラスによる種類の名称 色調 ・フロート倍強度ガラス -		(mm) 10 mm 7 mm	
表面処理 外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種 ・	2 21- 1- 2 .	かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ ・ ふすま		・熱線吸収倍強度ガラス ・ブルー ・グレー ・プロンズ			
被膜等の種類(※改修標準仕様書表5.2 着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラ 屋内の建具 ・C-1種 ・C-2種 ・		張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度		ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm)		- 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材	
被膜等の種類(※改修標準仕様書表5.2 着色(・アンバー ・ ブロンズ ・ ブラ		縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・ ・戸ぶすま		アルミニウム製 ・シーリング材 ※改修標準仕様書表5.13.1による ・ガスケット ・図示		施工箇所 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 の樹種 の樹種 (mm) の厚さ(mm) 見付け材面の品質 間	
結露水の処理方法 ・図示 ・ 水切り板、ぜん板 ・図示 ・		見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ・紙張り障子		・グレイジングチャンネル形 ·			
網戸等 種類 材種 線径	[5. 2. 3] 網目	見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による ・		鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※改修標準仕様書表5.13.1による ・ 図示 ・			
・防虫網 ※合成樹脂製 ※0.25mm以上 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・	※16~18メッシュ 11 建具用金物	[5.7.2、3] 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.7.1による		ステンレス製 ・シーリング材 ※改修標準仕様書表5.13.1による ・ 図示 ・		・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 佐工符形 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 間	
・ステンレス (SUS316) 製 ・防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5mm		樹脂製建具に使用する丁番 ※改修標準仕様書表5.7.3による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・建具表による	19 ガラスブロック	[5. 13. 5]		施工箇所 12 th 推海板 小科 寸法 12 th 神板 間 の樹種 の樹種 (mm) の厚さ (mm) の	
一切がらい スケンシス (30000 が が) 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	[5. 2. 2] [5. 3. 2~5] 12 鍵	[5.7.4] マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる		表面 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 100mm 100mm			
性能等級 外部に面する建具 ・ A 種(建具符号:・建具表による ・	.)	マスダーヤー ・製作りる ・製作しない ・ 成仔のマスダーヤーに合わせる その他の鍵 ※各室3本1組・ 鍵箱 ・無・有		・125×125 80 ・・ ※8~15 外側 ※15以下※6m以下ごとに ・160×160 ・95 ・・・15~25 ・ 10~25		. 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材	
・B種(建具符号:・建具表による・・C種(建具符号:・建具表による・・	.)	[5. 8. 2、3]		・正方形		施工筒所 樹種 寸法 見付け材面の品質 今水家 間	
(建具符号:・建具表に ・適用しない	による ・)	自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止		125		Manual	
断熱ドアセット, 断熱サッシ 😡 ・適用する 断熱性の等級 (建具符号:・建具表に	級 (・H-4・H-5・H-6・) による ・)	・SSLD-1 ※改修標準仕様書 ・SSLD-2 表5.8.1による ・適用する・・熱線スイッチ・行う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		· 320×320 95 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
・適用しない ・適用しない ・ 神の見込み寸法 ・ 建具表による ・		- 105LD-1 - 10月 しない - 音波スイッチ (適用箇所は 建具表による)		- 320×160 95		施工策所 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 見付け材 今水本 間	
表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・		- SWD-1		壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ※図示 ・) ・設けない			
ガラス ※複層ガラス ・	0.0][[.4.0.4][==.4.0]	・タッチスイッチ ・図示 . ・押しボタンスイッチ		カ骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・ 寸法 ※径5.5mm ・			
7 鋼製建具 [5.2 性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する	2. 2][5. 4. 2~4][表5. 4. 2]	・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ		形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色 (金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製		・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱	
間易丸俗型トアセツト ・適用する (建具符号:・建具表による	14 自閉式上吊り引戸装			・		施工箇所 化粧薄板 芯材 寸法 見付け材 化粧薄板 含水率 間代 の樹種 の樹種 (mm) 面の品質の厚さ(mm)	
・適用しない	具表による ・)	性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による・		工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法		※15%以下	
・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:・建具 ・S-5(建具符号:・建具		·	1	│目地部の力骨の補強方法	1 1		
・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:・建具				※ガラスプロック製造所の仕様による ・図示 ・			
・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:・建具 ・S-5(建具符号:・建具			<u> </u>	※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・	=		
・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S - 4 (建具符号:・建具・S - 5 (建具符号:・建具・S - 6 (建具符号:・建具・S - 6 (建具符号:・建具・		所 一級建築士 柳 井 博 ^{設計年月日}	;	※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・	長 主 任 担 当 ュ		

E-mail yanaisekkei@nifty.com

				1		I		
7 造作用単板積層材 G	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 - 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 - 施工箇所 厚さ (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等 の適用	14 ビニル床タイル G	[6.8.2] JIS 記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ・FT (複層t゚=ル床タイル) ・無地・300×300・帯電防止・※2.0・防滑性・2.5・3.0		天然木化粧複合フローリング G 種類 工法 樹種 厚さ/大きで種別 防湿処理 塗装仕上げ の適用 ・天然木化粧 ・釘留め工法※なら ・A種・適用する・塗装品 ・	23 モルタル塗り	[6.15.3、6] 吸水調整材は、改修工事標準仕様書表4.2.2による。 既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・) ・設けない 床目地 ・設ける(工法 ※押し目地 ・)	
	・有り(加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:) ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材		・K T (コンボ・ジ・ションピュール床タイル) ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ・2.0 ・3.0 ・FOA ・無地 ・500×500 ・帯電防止 ・3.0		複合7ロ-リンク* (根太張り)・ ・B種・適用しな・無塗装品・・	24 タイル張り	・設けない [6.16.2~4] 伸縮調整目地の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・) 床タイル以外 (・図示 ・)	
	施工箇所 (mm) 表面の品質 防虫処理 含水率 間仅材等の適用 ・有り (加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(※14%以下・		(置敷きビニル床タイル) ・柄物 ・防滑性 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1. 2以上~3. 2未満 又は滞積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1 対 10 ○1 乗 10 Ω程度		板幅 ・75以上 板長さ ・900以上		・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張りタイルの形状、寸法等 施工 まな用途 形状/寸法 欧水率による区分 うわぐすり 役物 色 再生材の 耐凍害性 清り 備考 抵抗 による区分 (mm) I類 I類 I類 II類 II類 II類 II類 II類 II類 II項 II項	
8 床張り用合板等 G	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・普通合板 G ・・普通合板 G	15 ビニル幅木	防滑性 · 材質 · 軟質 · 硬質		フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り		標準的な曲がりの役物は一体成形とする	
	(mm) の樹種名の程度 恢復の高負 の適用 の適用 の適用 (mm) の樹種名の程度 (x2等以上 · 1等 · 2類 針葉樹 ※C-D以上 · ※1類 広葉樹 ※2等以上 · 1等 ·	16 ゴム床タイル	高さ(mm) ※60 · 75 厚さ(mm) ※1.5以上 色柄 () 厚さ(mm) · 3.0 · 4.5 · 6.0 · 9.0	20 畳敷き	・生地のままワックス塗り ・行わない [6.12.2] 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床:・KT-I・KT-II・KT-II・KT-II・KT-II・KT-KT-KT-N)		試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない ・ 民製調合モルタル モルタルアドウン ・ アン・ディン・ ・ アン・・ ・ アン・・ ・ アン・・ ・ アン・・ ・ アン・・ ・ ・ ・	
	<td 2"="" <="" rowspan="2" style="text-align: left;" td=""><td></td><td>・ミディアムデンシティ ファイバーボード ⑤ ・単板張り パーティクルボード ⑥ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td></td><td>・スタッド式 (露出) ・ 0.8 焼付又は ・12 7クリル樹脂焼 ・20 ・ 28 ・ 36</td></td>	<td></td> <td>・ミディアムデンシティ ファイバーボード ⑤ ・単板張り パーティクルボード ⑥ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td></td> <td>・スタッド式 (露出) ・ 0.8 焼付又は ・12 7クリル樹脂焼 ・20 ・ 28 ・ 36</td>		・ミディアムデンシティ ファイバーボード ⑤ ・単板張り パーティクルボード ⑥ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・スタッド式 (露出) ・ 0.8 焼付又は ・12 7クリル樹脂焼 ・20 ・ 28 ・ 36		
	周辺部の端からの間隔 ・図示・ 野縁の間隔 ・図示 ・ 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施エアンカーの引抜き試験 ・行う(屋外の試験荷重:) ・行わない			(JIS K 5970) (Iボキシ樹脂系塗床) (Iポキシ樹脂系塗床) よる 塗布量 (kg/㎡) ※0. 25kg/㎡以上 表面仕上げ ※平滑 ・防滑 溶剤		・化粧パーティクルボード G ・単板オーバーレイDV ・プラスチックオーバーレイDO ・塗装DC ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・	28 移動間仕切	パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示 ・) ・なし 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
	・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・ ・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(h)(1)(2)による・		※水性色・溶剤系・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・ハードボード(化粧) ⑤ ・内装用DI・外装用DE・2.5・3.5・5・7 ・インシュレーションボード ⑥ IB A級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・)・9・12・15・18		構造形式 操作方法 圧接装置の 操作方法 総厚さ (mm) 表面仕上材 材質 遮音性 (db/500Hz) ・平行方向移動式 ・手動式 ・二方向移動式 ・ブッシュ式 ・ハンドル式 ・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り ・36未満 ・36以上	
	・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・ ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強簡所 ※図示 ・	19 フローリング張り	単層フローリング ⑤ <td c<="" color="1" rowspan="2" td=""><td></td><td>せっこうボード等の下地は図示による。 遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 .</td><td></td><td>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量と</td></td>	<td></td> <td>せっこうボード等の下地は図示による。 遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 .</td> <td></td> <td>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量と</td>		せっこうボード等の下地は図示による。 遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 .		パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量と
① 軽量鉄骨壁下地	##強固が		・フローリング・ボード ・		22 壁紙張り	合板類の張付け ※B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ・ 仕上げ表による [6.14.2~3] ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・		なるように補強する。 ・図示
① ビニル床シート G	スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・ [6.8.2,3] 種類 JIS 記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ・発泡層の ※FS(複層ピニル床シート) ・無地 ・帯電防止 ※2.0		<td co<="" color="10" rowspan="2" td=""><td></td><td>壁紙の種類 施工箇所 紙 繊維 ブラス 無機質 その他 防火種別 備考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>② トイレブース</td><td> (20. 2. 5) 表面材の種類 脚部形状 ドアエッジ 形状 材質 ・メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ・標準 ・アルミニウム製 ・ステンレス製</td></td>	<td></td> <td>壁紙の種類 施工箇所 紙 繊維 ブラス 無機質 その他 防火種別 備考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>② トイレブース</td> <td> (20. 2. 5) 表面材の種類 脚部形状 ドアエッジ 形状 材質 ・メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ・標準 ・アルミニウム製 ・ステンレス製</td>		壁紙の種類 施工箇所 紙 繊維 ブラス 無機質 その他 防火種別 備考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	② トイレブース	(20. 2. 5) 表面材の種類 脚部形状 ドアエッジ 形状 材質 ・メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ・標準 ・アルミニウム製 ・ステンレス製
	ないもの・・・マーブル柄・耐動荷重性・・・発泡層の・		1等			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
	工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:) 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は滞積電気抵抗値(JIS A 1454) 1×10 ~1×10 Ω程度				モルタル・プラスター面の下地調整 ※RB種 コンクリート・ALC面の下地調整 ※RB種 せっこうボード面の下地調整 ※RB種			
30 株	式会社柳井設計	一級建築士事務店		, i	● 認 設計 製図 課 長 副課長 富士見市総合政策部 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	主任担当	工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事) 図面番 · A	
見市 CO.,	, LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	TEL 049-264 FAX 049-264 E-mail yanaisekkei@ni	-8792 登録番号 第 85179 号 麥更年日日		管財課		図面名 特記仕様書-4 S=1:-	

30 視覚障害者用 床タイル	施工箇所 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 屋内 ・塩化ビニル製 ・300×300・・7.0・ ・磁器質タイル・せっ器質タイル ・300×300・・ ・ア・0・レジンコンクリート製・コンクリート製・300×300・・	41 床点接口	対種 寸法 形式 備考	4 塗装	塗装の種類 塗装面 工程 ・合成樹脂調合へ、イント塗 (SOP) 木部屋外 (SOP) ※B種・ ※B種・ ※B種・	5 7スペスト含有保温材等	
31 階段滑り止め	屋外 ・磁器質タイル・せっ器質タイル ・300×300・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42 くつふきマット	対種		塗料の種別 鉄鋼面 ※B種・A種 ※1種・2種 亜鉛めっき鋼面(鋼製建具) ※A種・ ※B種・ ※B種・ ※B種・ ・クリヤラッカー塗り(CL) ※B種・A種 ※B種・A種 ・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE) ー	除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場)	
	材種 幅 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド ・ステンレス製(SUS304) ・約35 ※接着工法 ・あり ・ビニル製 ビニルタイヤ入り ・埋込み工法 ・なし ー	43 流し台ユニット	・ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ※B種・A種 ※B種・A種 ・耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 上塗り等級 () 級 ・	・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) (6) 7スズスト含有成形板の除去(レベル3) 除去対象範囲 ②図示 ・ 除去したアスベスト含有成形板の処分・アスベスト含有せっこうボード	
32 手すり	対種 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所備考		材種 寸法(mm)		○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※埋立処分(管理型最終処分場) ・アスペスト含有せっこうボードを除くアスペスト含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 7 7スペスト含有建築用 [9.1.3][9.1.4][9.1.5]	
33 黒板及び	・鋼製パイプ ・EP-G ・SOP ・ ・ビニル製ハンドレール ・ (20.2.8)		・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・670 ・670 ボックガード有り 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	仕上塗材等の除去 除去対象範囲 ・図示 ・ 着工前の試験施工 ・行う ・行わない 除去工法 () 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止	
ホワイトボード 🖸	種類 寸法(mm) 色彩 形式 ・黒板 ※焼付け ※緑 ・平面 ・スクリーン付引分 ・ホワイト ほうろう 白 ・平面 ・スクリーン付引分 ボード ・曲面 ・		・水切り ・1200 - 市販品 ・900 ・600 ・1 段式・ 品質・性能 JIS A 4420による。 形状 ※図示・・		つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしみ止め ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする・ 合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする・	※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 8 リラクタントリー 除去処理対象物	
34 表示	区分 材質 寸法(mm) 厚さ(mm) 取付高さ(mm) 備考 ・衝突防止表示 (・両面・片面)・図示 ・ステンレス製 ・で図示 ・市販品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44 鋼製書架及び物品	1 2 2		・高日射反射塗料塗り G 下地調整 (改修標準仕様書7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種	マラミックファイ	
	・室名札 ・アクリル板 ・図示 ・図示 ・ピクトグラフ ・アクリル板 ・図示 ・図示 ・とびら番号 ・アクリル板 ・図示 ・	45 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・		規格番号 規格名称 種類 等級 (kg/㎡) 塗料塗り JIS K 5675 耐候性 屋根用塗料 2種 ・1級 ・2級 ・3級	10 外断熱改修工事 G 断熱材 断熱材の種類 断熱材の厚さ (mm)	
	・庁舎案内板 ・アクリル板 ・図示 ・5 ・図示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	46 洗面カウンター 47 防煙垂れ壁	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600	8 耐雲改修丁事	特記 <u>仕様書(改修その7~)</u> による	施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外 ・ <u>外装材</u> 種類 防火性能 備考	
35 ブラインド	・		対 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考 ※網入り磨板ガラス ※6.8	9 1 アスベスト含有建材の事前調査		既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修標準仕様書4.1.4による・	
	形式 操作方法 種類 スラットの材質 (mm) スラット幅 (mm) スラット幅 (mm) 寸ス・レール の材種 取付箇所 取付箇所 取付箇所 でおよ・取付箇所 では、アルミニウム ※25 ※鋼製・コード式・コード式・操作棒式・操作棒式・		・垂直降下式 (巻取り型) ※不燃布 (不燃認定品) ※500 ・800 ・7動式 (天井収納型) ・回転降下式 (新校製又はアルミ製※500 ・800 表面仕上げ ※天井材張り	現 配 慮 改 2 アスベスト含有分析 修 調査	調査範囲(※改修範囲 ・図示) 貸与資料 () 分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1] 分析対象	通気層の有無 ・あり (mm) ・なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法	
	・電動 一 ・総形 ・手動 ※2本操作コード・式 ・1本操作コード・式 ・2ロススラット ・80 ・100 アルミニウム合金製 ・図示 ・100 ・電動 一 アルミスラット ・100 アルミスラット 焼付け塗装仕上げ	48 収納家具	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事	アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※JIS A 1481-1 ・JIS A 1481-2 ・JIS A 1481-3	複層ガラス [9.4.2] 品類 断熱性 日射熱遮へい性 厚さ ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・図示 ・2種 U2 ・ ・3種 ・U-3-1 ・U-3-2	
36 ロールスクリーン	クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G (20.2.13) 材種 操作方法 遮光性 寸法 (mm) 取付箇所 備考	7 1 材料	合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・		材 料 名 調査方法(1 材料あたりの試料数) ※定性分析(※3 ·) ・定量分析(・3 ·) ※定性分析(※3 ·) ・定量分析(・3 ·) ※定性分析(※3 ·) ・定量分析(・3 ·)	12 断熱・防露改修工事	
	・	<u>挙</u> 装 改 修 ² 下地調整 エ	※規制対象外・防火材料・※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:・) ②]	※定性分析(※3 ·) · 定量分析(· 3 ·) 試料は、1材料あたり3箇所から採取する。 吹付け材及び保温材等は ※ 10cm³/箇所 · /箇所 とする。 成形板は ※100cm²/箇所 · /箇所 とする。 採取箇所 · 図示	<td rowspan="2" style="border-color: black;" td="" ="" ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・<=""></td>	
37 カーテン	所の仕様による。 (20.2.14) 形式 開閉操作 ひだの種類 きれ地の種別、 取付箇所 備考 品質、特殊加工等	事	下地調整 下地調整の種別 ひび割れ部の補修 本部 ※RB種・RA種・RB種・ 鉄鋼面 ・RA種・RB種・ RA種	3 アスベスト粉じん 濃度測定	分析結果については監督員に提出すること。 測定時期、場所及び測定点 適 用 測定 測定点 測定点	・フェノールフォーム財熱材 ・ヒ*ース* 法未* リスチレンフォーム保温材 ・保温板(2種b) ・25 ・ ※押出法未* リスチレンフォーム保温材 ・保温板(3種b) ・25 ・ ・ A種硬質ウルタンフォーム保温材 ・	
	・シングル ・片引き ・ヨランスひだ ・図示 ・ダブル ・引分け ・な引き ・箱ひだ、つまひだ ・ ・シングル ・片引き ・ヨ引き ・フランスひだ ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、つまひだ ・ダブル ・引分け ・でも引き ・・カンびた、片ひだ		亜鉛めっき面 ※RB種・RA種 亜鉛めっき面(鋼製建具) ※RB種・RC種 モルタル、プラスター面 ※RB種・RA種・RB種・行う・行わない			- フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) 施工箇所 ・ 図示 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1	
	使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については ③ とする。暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・		コンクリート面 (DP以外) ※RB種・ RA種 ・ 行う・ 行わない 相比成形セメント板面 ・RA種・RB種・RA種・・ RB種・ RC種 コンクリート面 (DP) ・RB種・RC種 RA種 ・ 行う・ 行わない		※ ・ 別定5 集じん・排気装置の装置の排出口(処理作業室外の場合)・()点 ※ ・ 別定6 施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点・()点 ※ ※ ※ 測定7 処理作業室内 ・()点 ※ ※ 測定8 (隔離)・・撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点・()点 施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点・()点	厚さ(mm) ・25 ・30 ・ 施工箇所 ・図示 ・断熱材後張り工法 断熱材の種類 ・断熱材の厚さ(mm)	
38 カーテンレール	(20. 2. 14) 材種 ※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成形材 ・ステンレス製 形式 ・シングル ・ダブル ・片引き ・引分け 強さによる区分 ※10-90	3 錆止め塗料塗り	せっこうボード面及び その他ボード面 番上め塗料塗りの種別 ※RB種・・・RA種・RB種 — [7.3.2~3]]	・ ・ 測定 9 処理作業後シート 処理作業室内 ・ ()点 ・ ・ ・ 測定10 (隔離シート微去後) 施工区画周辺又は敷地境界 ・ ()点 測定方法 測定 5 のみ ※パーティクルカウンター、粉じん相対温度計 (デジタル粉じん計)、繊維状	13 屋上緑化改修工事G [9.6.1,2,3] 植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・	
39 ブラインドボック 及びカーテンボックフ	仕上げ ※アルマイト ・ 形状 ※角形 ・ 満型×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集成材 (仕上げ:))		塗装面 塗料 工程 鉄鋼面 EP-G以外 塗替え A種 ※C種・ 新規鉄鋼面見え掛り A種 ※A種・ 新規見え隠れ A種 ※B種・ EP-G 塗替え B種 ※C種・		粒子自動計測器(リアルタイムファイバーモニター)等、排気の粉じん濃度を迅速 「こ計測できる機器にて測定 ・ 測定5以外は下表による - 測定3 測定1, 4, 7, 9 測定2, 6, 8, 10 メンプ レンフィルタの直径(mm) 25 25 47	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する (種類 ・) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない	
	・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 表面処理・0-1 ・C-2(・アンパー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ・ 皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による・ ・鋼製(仕上げ:)		新規鉄鋼面見え掛り B種 ※A種・ 新規見え隠れ B種・ ※B種・ 室替え ※A種・ ※C種・ 新規鉄鋼面見え掛り ※A種・ ※A種・ EP-G 塗替え C種・ ※C種・	4 7スベスト含有吹き付材 の除去(レベル1)	試料の吸引流量(L/min)		
40 天井点検口	材種 寸法 形式 外枠 内枠		新規鉄鋼面見え掛り C種 ※A種 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		除去上法 ※9.1.3(0)(1)による 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)		
H30 株	· 式 会 社 柳 井 設 計	一級建築士事務	·所 一級建築士 柳 井 博 ^{設計年月日}	承	課長 副課長		
: 士見市	, LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	TEL 049-26 FAX 049-26 E-mail yanaisekkei@	4-8320(代) 4-8792		管財課	図面名 特記仕様書 - 5 S=1:- A O 6	
111			<u> </u>				

	14 透水性舗装改修工事	[9. 7. 2~7、9. 7. 9 適用範囲:歩道		(共通事項) (共通事項) 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収	7.1 作業後連ねかに同収	5 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔	最小かぶり厚・図示による	『さ(目地底から算出を行う) : ((5. 3. 5)	4 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A · B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/	(6. 3. 1)	
		週月型四・少道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・ 路床 路床の材料		した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処 るものとする。 2)受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業原	1.理施設に運搬及び処理す	(溶接金網含む)		・ (5 混和材料	· 混和剤 湿和剤の種類	(6. 3. 1)	
		種別 材料 厚さ(fm) ・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・図示		しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の影 業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないもの	中可を受けている業者と産		・無し ・有り 適用				※標準仕様書 6.3.1(d)(i)による・	(6. 3. 1)	
		<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""><td></td><td>4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及いて定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。</td><td>なび清掃に関する法律にお┃</td><td></td><td>耐久性上不利</td><td> な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)</td><td></td><td></td><td>・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(ii)による ・</td><td>(6. 3. 1)</td></td>	<td></td> <td>4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及いて定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。</td> <td>なび清掃に関する法律にお┃</td> <td></td> <td>耐久性上不利</td> <td> な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)</td> <td></td> <td></td> <td>・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(ii)による ・</td> <td>(6. 3. 1)</td>		4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及いて定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。	なび清掃に関する法律にお┃		耐久性上不利	な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)			・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(ii)による ・	(6. 3. 1)
		・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)			(提出書類等)			・無し ・有り 適用 ・最小 <i>t</i>	月箇所() いぶり厚さに加える厚さ ()mm		6 無鉄コンクリート	設計基準強度 ※18 (N/mm²) ·	(6. 14. 1)
		・フィルター層 · 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下) / 図示		1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に ばならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者 写し及び許可証の写しを添付すること。	と締結した委託契約書の		· 図示による	5 ()			スランプ ※15cm又は18cm ・	(6. 14. 1)	
		路床安定処理 ※添加材料による安定処理		2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督 員 に ものとする。	-提出しなければならない		鉄筋相互の	あき(機械式継手及び溶接継手を除く)	(5. 3. 5)		セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのAを	(6.3.1)	
		種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメント B種 (G) ・フライアッシュセメント B種 ・生石灰(・特号 ・ 1 号) ・消石灰(・特号 /・1 号)		(その他) 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった 設計変更の対象としないものとする。	と場合を除き、原則として	6 機械式継手	使用箇所・図示によっ	3 () ·			※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA系・高炉セメントB種		
		・固化材(・セメント系 ・石灰系) 添加量 kg/m³ (目標CBR ・3以上 ・)		2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合 員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するも			H12建告第14 · A級	163号に適合する性能	(5. 5. 2)		適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(e)による箇所 ・図示による()	(6. 2. 1) (6. 14. 1)	
		・路床置換処理 雷換厚さ ※図示・	17 ホルムアルデヒド及		0/C 9 80.			の種類及び工法((5. 5. 2)	7 ひび割れ誘発目地、 打継目地	日地寸法 ・標準仕様書9.7.3による ・	(6. 6. 3) (6. 8. 2) (9. 7. 3)	
		置換材料の種類、品質※図示・ /	び揮発性有機化合物の室内濃度の測定	※測定する ・測定しない 測定する場合は以下による			鉄筋相互の		(5. 3. 5)	11 4年日 46	間隔・位置・形状・図示による((6. 8. 2)	
		・不織布(ジオテキスタイル)単位面積質量 ・60g/㎡以上 ・厚さ(mm) ・0.5~1.0 ・		測定室 ・監督員の指定する産(室)・図示					(5. 5. 2)	0 -> 511	※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側		
		引張強さ · 9 8 N/5cm(10kgf/5cm)以上 · 透水係数 · 1 . 5 × 1 ⁻¹ O cm/sec以上 ·		測定時期 ※工事着手前及び完了後 検査項目、検査方法及び判定基準			品質の確認	3 ()		8 コンクリート の仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種別 適用 ・A種 ※図示による()	(6. 2. 5) (6. 8. 3) 所	
		試験		1)検査項目 以下ア)〜カ)の6品目とする。 ア)ホルムアルデヒド			・図示によ	た継手の修正方法等 る()	(5. 5. 2)		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td></td>	<td></td>	
		現場CBR試験 · 行う(イ) トルエグ ウ) キシゾン エ) エチルベンゼン オ) スチレン		7 溶接継手	使用箇所・図示によ	ð () ·		9 打増し厚さ	打増し厚さ		
		路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない		イ) ヘアレン カ) パラジクロロベンゼン 2) 検査方法/ ①検体の採取方法は吸引方式(アクティブ法)または拡散	カ方式(パッシブ法)によ		H12建告第14 · A級 ·	163号に適合する性能	(5. 5. 3)	(打放し仕上げ部)	・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に附 ・20mm ・	限る) (6.8.2)	
		路盤の構成及び厚さ ・図示 ・ 路盤材料		る。 ②ホルムアルデヒドについては以下のいづれかの方法に ジェトロフェールとドラジン琴道休周担吸養/突旋	こよる。		鉄筋相互の・図示によ		(5. 3. 5)		・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に関 ・10mm ・20mm ・	(15 · 15 · 15 · 15 · 15 · 15 · 15 · 15 ·	
		種別 ・クラッシャラン 砕石		高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により ・パッシブ採取機器により採取し、HPLCまたは大 以下GC)あるいはAHMT一吸光光度法(以下A	リ行うものとする。 ガスクロマトグラフ法(継手の工法		(5. 5. 3)		・外壁タイル後張り面の打増し処理 ・20mm		
		- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		ち採取機器に適応した分析法による。 ③トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及でについては、以下のいづれかの。方法による。 ・固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、名	ドパラジクロロベンゼン 		・図示による	ঠ ()	(5, 5, 3)		打増し範囲・図示による・・()		
		・クラッシャラン鉄鋼スラグ G ・ 粒度調整鉄鋼スラグ G			/ 質量分析法(以卜		・図示によ			10 型枠	せき板の材料及び厚さ ・合板 (※12mm ・) 図 (但し、グリーン購力	(6.8.3) 入法基本方針における	
		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 🗹		ト 応した分析法による。 1 3)判定基準			・図示によ	る()・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品	質計画による		「合板型枠」の備考3の表示のある合板型枠を用し、 ※コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の	の一部に透明型枠等を	
		透水性舗装構成及び厚さ ※図示 <u>路盤材料</u> 区分 種類 部位 厚さ(mm)		厚生労働省が定める指針値以下とする。(量単位の表 ア) ホルムアルデヒトは、100μg/m³(0.08ppm イ) トルエンは、260μg/m³(0.07ppm)以下で ウ) キシレンは、870μg/m³(0.20ppm)以下で)以下であること。 あること。 あること。		· JIS Z	豪書5.5.3(f)による 3882 (鉄筋の突合わせ溶接技術検定における試験方≥	法及び判定基		使用する場合は、強度、変形等について、事前に ・断熱材を兼用した型枠の使用	監督員と協議する。 (6.8.3)	
		表層 ・改質アスファルト I 型		ウ)キシレンは、870μg/m³ (0.20ppm) 以下で エ)エチルベンゼンは、3,800μg/m³ (0.88ppm オ)スチレンは、220μg/m³ (0.05ppm) 以下で カ)パラジクロロベンゼンは、240μg/m³ (0.0)以下であること。 あること。 4ppm)以下であること。			る技量を有する者			・MCR工法用シートの使用 打増し厚さ ・20mm ・	(6. 8. 3)	
		・透水性コンクリート 70 ・透水性インターロッキングブロック ・車路、駐車場 80		探取及び分析 探取及び分析する者は、法令に基づき空気中の物質の濃度		8 各部配筋		3 ()	(5. 3. 7)		打増し範囲 ・図示による()・ ・ スリーブの材種	(6. 8. 3)	
		敷砂層 ・砂 ・歩行者用通路 60 敷砂層 ・砂 ・車路、駐車場 ・20 ・歩行者用通路 ・30		対告書 報告書は、監督員に2部提出するものとする。			帯筋・図示によっ	3 ()			※標準仕様書6.8.3(i)(2)(i)から(iv)による・ 存置期間及び取外し		
		フィルター層 川砂 海砂又は良質な山砂 100 100 (75μmふるい通過料6%以下)					壁開口部の 一般壁・図示によっ	補強 ()		11 コンクリート強度の	※標準仕様書6.8.5による	B D) (6.3.2)	
		アスファルト乳剤(プライムコート)の施工は行わない。	10 ① 鉄筋		(5. 2. 1) (表5. 2. 1)		耐力壁	3 ()		構造体強度補正	S=6 (月日~月日)	, i	
		・透水性アスファルト舗装 ・ポーラスプスファルト混合物(13) ・開粒度アスファルト混合物(13)	鉄	鉄筋の種類 種類の記号 呼び径(mm)	備考		梁貫通孔の 補強形式			単位水量測定	行わない行う		
		配合 [表9.7.6]	筋 工	○ D295A ※D16以下○ SD345 ※D19以上	和便器撤去あと			- 、 圣(各部記号含む)及び配筋識別リスト			実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(2)による。	異常が認められた時に実施する。	
		19mm	事	· .			柱主筋の柱・図示によ	頭部定着 る()			(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、 ±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。		
		4. 75mm 11~35 20~36 2. 36mm 10~20 12~25	2 溶接金網		(5. 2. 2)	9 圧接完了後の試験	外観試験		(5. 4. 9)		2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指 打設する。その後、設計値±15kg/m³以内で安定する	示し、その運搬車の生コンは	
		300μm		形状等 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) ・ 溶接金網	使用部位		※行う(全 採取試験		(5. 4. 9) (5. 4. 10)		単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込ます 査するとともに生コン製造者に改善を指示しなけれ	ずに持ち帰らせ、水量変動を調	
		基準値 [表9. 7. 7]		・鉄筋格子				易試験 ソト :1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 箇所数:1ロットに対して30箇所とし、ロットから無f			車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認す	確認する。更に、設計値±15kg :水量の測定を行う。	
		項目 ・車路、駐車場 ・歩行者用通路 最大粒径(mm) 13	3 鉄筋の継手	 継手方法等	(5. 3. 4) (5. 5. 2) (5. 5. 3)		引抜試験	ット :1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。			(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子	製造管理記録、打込み時の外気	
		女定度 (kN) 3.43以上 3.0以上 フロー値 (1/100cm) - 20~40		部位 継手方法 ・柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手	呼び径 (mm) ※D19以上			を超えるときは200箇所ごととする。	, 0.00(E00E//)		(の) 年位 小星の別た の 伝は、 同 同 版 記 电 加 然 紀 深 伝 (电 す 静 電 容 測 定 法 に よ る 。 ま た 、 静 電 容 試 験 機 関 は 該 当 : と す る 。		
		空隙率 (%) 20以上 12以上 動的安定度 (回/mm) 3,000以上 -		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 軽量コンクリート</td><td>種類 ・1種 ・2種</td><td>(6. 10. 1) (表6. 10. 1)</td></td>	<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13 軽量コンクリート</td> <td>種類 ・1種 ・2種</td> <td>(6. 10. 1) (表6. 10. 1)</td>						13 軽量コンクリート	種類 ・1種 ・2種	(6. 10. 1) (表6. 10. 1)
		透水係数 (cm/s) 1×10 ⁻² 以上 試験		その他の鉄筋()・重ね継手・			11 ① コンクリートの 種類及び強度		強度 気乾単位容積 スランプ 道	(6.2.1~6.2.4) 適用箇所			
		開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない ・不織布(ジオテキスタイル)		重ね継手の長さ ※図示による ()	(5. 3. 4)	コ	<u>(N/mm</u> <u>→24</u>	f) 質量(t/m³) 2.3程度 ◆う5又は18 · 18					
		敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・図示 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・		継手位置図(カットオフ鉄筋の長さ共) ・図示による ()	(5. 3. 4)	ク リ -							
	 15 PCB含有シーリング 材処分			基礎梁主筋の継手位置図		 		·	(0.0.4)				
		種類 採取する部位・箇所数 備 考		・図示による((5. 3. 4)	工 2 コンクリートの種別 事	※I類(J	IIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) IIS A 5308に適合したコンクリート)	(6. 2. 1)				
		<td <="" color="block" rowspan="2" td=""><td>4 鉄筋の定着長さ</td><td>鉄筋の定着長さ ・図示による ()</td><td>(0. 3. 4)</td><td>3 セメント</td><td></td><td>ルトランドセメント又は混合セメントのA種</td><td>(6. 3. 1)</td><td></td><td></td><td></td></td>	<td>4 鉄筋の定着長さ</td> <td>鉄筋の定着長さ ・図示による ()</td> <td>(0. 3. 4)</td> <td>3 セメント</td> <td></td> <td>ルトランドセメント又は混合セメントのA種</td> <td>(6. 3. 1)</td> <td></td> <td></td> <td></td>	4 鉄筋の定着長さ	鉄筋の定着長さ ・図示による ()	(0. 3. 4)	3 セメント		ルトランドセメント又は混合セメントのA種	(6. 3. 1)			
		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>普通ポ</td><td>立(※下記以外全て ・) ドルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で402J/g 以下(</td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>		<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>普通ポ</td> <td>立(※下記以外全て ・) ドルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で402J/g 以下(</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>					普通ポ	立(※下記以外全て ・) ドルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で402J/g 以下(
	/16 舗装版切断時に	(濁水の処理)						・高炉セ. 使用部(メントB種 [G] 立(・1Fより下部(立ち上がり部含む) ・))			
/	発生する濁水 の処理	1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 ・図示による ・四冊は注					・フライ	アッシュセメントB種 G 立(・)					
		処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却含む) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却含む) ※されば、関係の関係関係があるとなるようには、東前に監察局と物議するようによる。											
		2)受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	44.57					
H30	株	式 会 社 柳 井 設 計	一級建築士事務層	听 一級建築士 柳 井 博	設計年月日		承認 設計	│製図│ ├────────────────────────────────────	課 長 副課長		エ事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事((第1期工事)	
富士見市	со.	, LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	TEL 049-264 FAX 049-264 E-mail yanaisekkei@ni	-8792 登録番号 第85179 号	· 変更年月日						図面名 特記仕様書一6	S=1:- 0 7	



p /	= 7 [7]		教室棟1,2,3,4階A, B	トイレ、廊下(一般便所)	→ n /⊥	=-		教室棟1,2,3,4階A, Bト	・イレ、廊下(一般便所)	
『位	記号		改修前	改修後	部位	高色	号	改修前	改修後	
	A 1	下地	アスファルト防 水 既 存 シンダーコンクリートt100既存 モルタル水 勾 配 既 存	Eザイクタイル25角上 カチオンタイトコテ塗新設 床レベラーt50 2回打設新設 (宇部興産床レベラーG)	廻縁	E 1	下地	_	_	
床		仕上	モザイクタ25角 既 存	防滑性ビニル床シートt2.0新設 耐水工法 (タキロンシーアイ ネオクリーン)	XE 11%		仕上	_	塩ビ製廻縁新設 (フクビ化学工業F見切)	
		下地	アスファルト防 水 既 存 シンダーコンクリートt100既 存 モルタル既 存	モルタル既存上	天井		下地	天井裏コンクリートEP吹付既存 全ねじボルトで仕上材吊り込み 撤去	打込式金属系アンカー新設 吊ボルト新設 軽量鉄骨天井地19型新	
	A 3	仕上	長尺塩 ビシートt2.0撤去	防滑性ビニル床シートt2.0新設 (タキロンシーアイ ネオクリーン)		F2	仕上	仮設用保護ネット0P撤去	@ 303 化粧吸音ボードt9.5新設 910×910 (吉野石膏ジプトーン・ライト 準不燃QM-1864	
1木	B 1	下地	壁と同一	耐水石膏ボードt12.5GL工法新設	備考		,		— 1 Am Am 1007	
- //	部分詳細図-4 壁、巾木収まり	仕上	壁と同一	防滑性 ビニル床 シートt2.0新設 床材巻き上げ H60 (タキロンシーアイ ネオクリーン)	III 行			アルミ製建具撤去	アルミ製建具カバー工法新設	
	C 1	下地	モルタルt20既存	100角 タイル既存上 カチオンタイト塗布新設 耐水石膏ボードt12.5GL工法新設			4	ガラリ付き内倒し窓	FIX+内倒し窓 寸法、形状は建具表参照 ホ*ウルー体手洗い器新設	
要壁		仕上	100角 タイル既 存	化 粧 ケイカル板 t 6 新 設 (アイカエ 業 ルナライトカラー常 備 品) 不 燃 NM-4339		G 6 G 7 G 8		人研ぎ流し撤去 ┣イレブース撤去	(機械設備工事) トイレプース新設 寸法、形状は建具表参照	
× -	C 2	下地	人 研 カウンター150×30撤 去 CB100ライニングH1200撤 去 モルタルt20撤 去	軽量鉄骨壁下地65形@455新設 耐水合板t12新設				n° −テ−ション撤 去 	パーテーション新設 寸法、形状は建具表参照	
	部分詳細図ー2 男子パル小便器パニッグ	仕上	100角 タイル撤 去	化 粧 ケイカル板 t 6 新 設 (アイカエ 業 ルナライトカラー常 備 品) メラミンライニンク゛カウンターW150t20新 設 (アイカエ 業 ポストフォームカウンターPVA)		G 11 部分詳細図	10 図-6 掃除用具入れ	木製建具撤去 —————————— 木製建具撤去	鋼製PS点検口新設 500×700 DP塗装 掃除用具入れ新設	
		下地	モルタルt20既存	VP塗装既存上 カチオンタイトコテ塗新設 耐水石膏ボードt12.5GL工法新設		G 12 部分詳細図 G 13 部分詳細図		床下点検口500 φ 撤去 和便器撤去 (機械設備工事)	床下点検口アルミ枠600角 鉄筋アンカーD10@200新設 RCスラブt120打設新設	
	D 1 部分詳細図ー4 壁、巾木収まり	仕上	VP塗装既存	化 粧 ケイカル板 t 6 新 設 (アイカエ 業 ルナライトカラ-常 備 品)		G 15 部分詳細图	図一 1	木製3方枠0P既存 人研床見切撤去	既存木製枠OP上DP塗装 トル側付見切30×45DP塗装	
壁						G 16 部分詳細図	図 — 7 t° かトサイン	サイン撤去	t [°] クトサイン新 設 150 × 150	
			木製胴縁撤去	軽量鉄骨壁下地65形@455新設						
	D 3	下地	化 粧 パネル撤 去	耐水石膏ボードt12.5新設 化粧ケイカル板t6新設 (アイカエ業ルナライトカラー常備品)						
		仕上 	モルタルt20既存	(ア17) 工 乗 ルアフ1 ト 7) 7 - 常 偏 品 / VP塗装 既 存 上 下 地 調 整						
	D 4	仕上	VP塗装既存	EP塗装新設						
	株式会社	 柳 井		│ │ │	承	認設計製図 宣十	見市総合政策部 -	课 長 副課長 主 任 担 当 工事名 市立諏訪/		

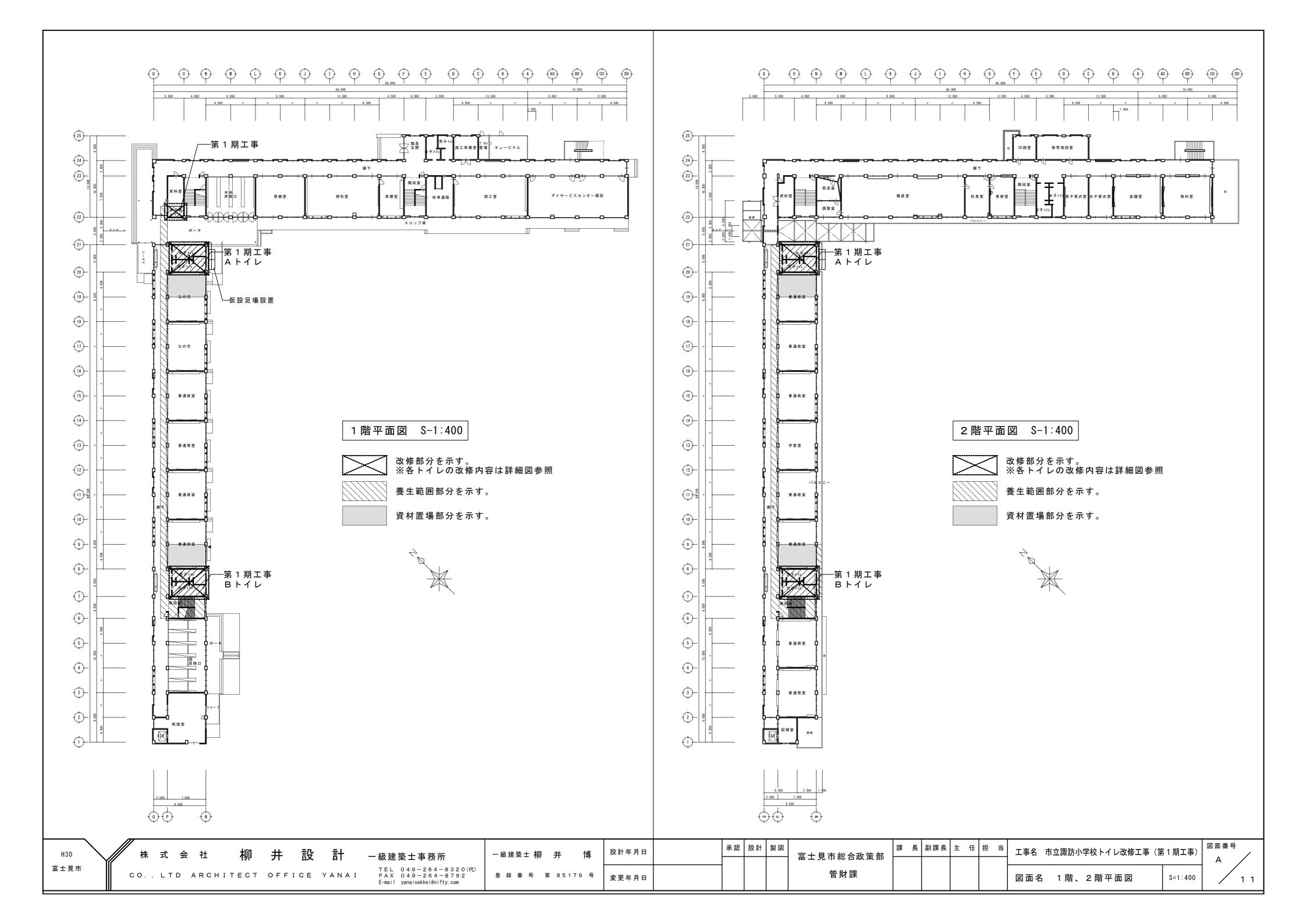
内 部 仕 上 表 - 2

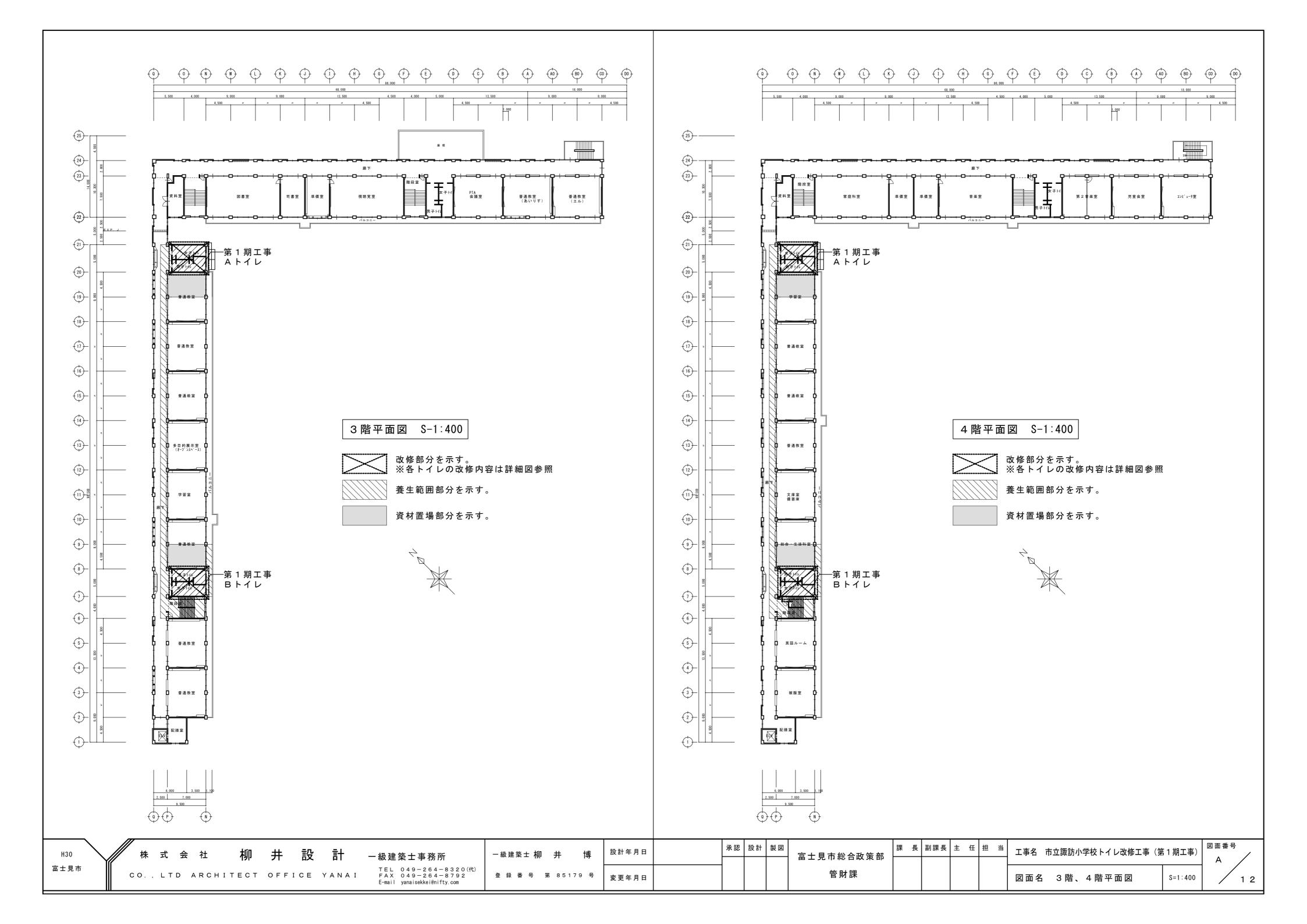
	=-		管理棟1階多目的ト/	イレ (既存身障者便所)	☆ ⊓ /┴	記号	_	管理棟1階多目的トイ	レ(既存身障者便所)
	記	<u>'</u>	改修前	改修後	部位	市区で	5	改修前	改修後
	A 1	下地	アスファルト防 水 既 存 シンタ゛-コンクリート t 100 既 存 モルタル水 勾 配 既 存	tザイクタイル25角上 カチオンタイトコテ塗新設 床レベラーt50 2回打設新設 (宇部興産床レベラーG)		下地 <u>E 1</u>		_	_
床		仕上	モザイクタ25角 既存	床 材 巻 き 上 げ 新 設 耐 水 工 法 (タキロンシーアイ ネオクリーン)) <u>—</u> 1135		仕上	塩ビ製廻縁撤去	塩 ビ 製 廻 縁 新 設 (フクビ化 学 工 業 F 見 切)
/	A 2	下地	コンクリートカッター入 れ RCスラブ撤 去 鉄筋 共 アスファルト防 水 撤 去 シンダーコンクリートt100撤 去	鉄 筋 D10 @ 200 共 RCスラブt180 打 設 新 設 床 レベラーt20 新 設 (宇 部 興 産 床 レベラーG)		F 1	下地	軽 量 鉄 骨 天 井 下 地 撤 去	打込式金属系アンカー新設 吊ボルト新設 軽量鉄骨天井下地19型新設
	AZ	仕上	モルタル水 勾配 撤去 モザイクタ25角 撤去	床 材 巻 き 上 げ 新 設 耐 水 工 法 (タキロンシーアイ ネオクリーン)	天井		仕上	ケイカル板 t 5.0VP撤去	化粧吸音ボードt9.5新設 910×910 (吉野石膏スクエアトーンDプラス) 不燃NM-4244
			壁と同一	耐水石膏ボードt12.5GL工法新設				RC躯体部分撤去	
		下地	堂 C 问 一	则水石膏水 - r LI2. SUL工法制設		G		<u>鋼製建具開口寸法確保の為</u> 木製建具撤去	軽量鋼製建具新設
巾木	B 1	仕上	壁と同一	防滑性 ビニル床 シートt2.0新設 床材巻き上げ	備考	G 2		SUS床見切撤去 SUS製手摺撤去	外付2連動ハンガードア 寸法、形状は建具表参照
			モルタルt20既存	H60 100角 タイル既 存 上 カチオンタイトコテ塗 新 設		G 4		アルミ製建具撤去 引違い窓	アルミ製建具カバー工法新設 引違い窓 寸法、形状は建具表参照
	C 1	下地	100 /2 h / 11 DT +	耐水石膏ボードt12.5GL工法新設		G		天 井 取 付 カーテンレール撤 去	一
D.再. P.女		仕上	100角 タイル既 存	化 粧 ケイカル板 t 6 新 設 (アイカエ 業 ルナライトカラー常 備 品) 不 燃 NM-4339		G	<u>6</u>		
腰壁		下地	CB100ライニング900撤 去 モルタルt20撤 去	カチオンタイトコテ塗 新 設 耐 水 合 板 t12新 設					
	正 2 詳細図-2 男子州小便器パニッケ	仕上	100角 タイル撤 去	化 粧 ケイカル板 t 6 新 設 (アイカエ 業 ルナライトカラー常 備 品) メラミンライニンク゛カウンターW150t20新 設 (アイカエ 業 ポストフォームカウンターPVA)					
		下地	モルタルt20既存	VP塗装既存上 カチオンタイトコテ塗新設 耐水石膏ボードt12.5GL工法新設					
	D 1	仕上	VP塗装既存	化 粧 ケイカル板 t 6 新 設 (アイカ エ 業 ルナライトカラー常 備 品)		G1	4	SUS製手摺撤去	_
壁		下地				G 16 詳細図-	7 t° ½/4/2	既 存 プレート撤 去	t [°] クトサイン新 設 150 × 150
*		仕上							
		下地							
		仕上							
		下地	モルタルt20既存	VP塗装既存上 下地調整					
	D 4	仕上	VP塗装既存	EP塗装新設					

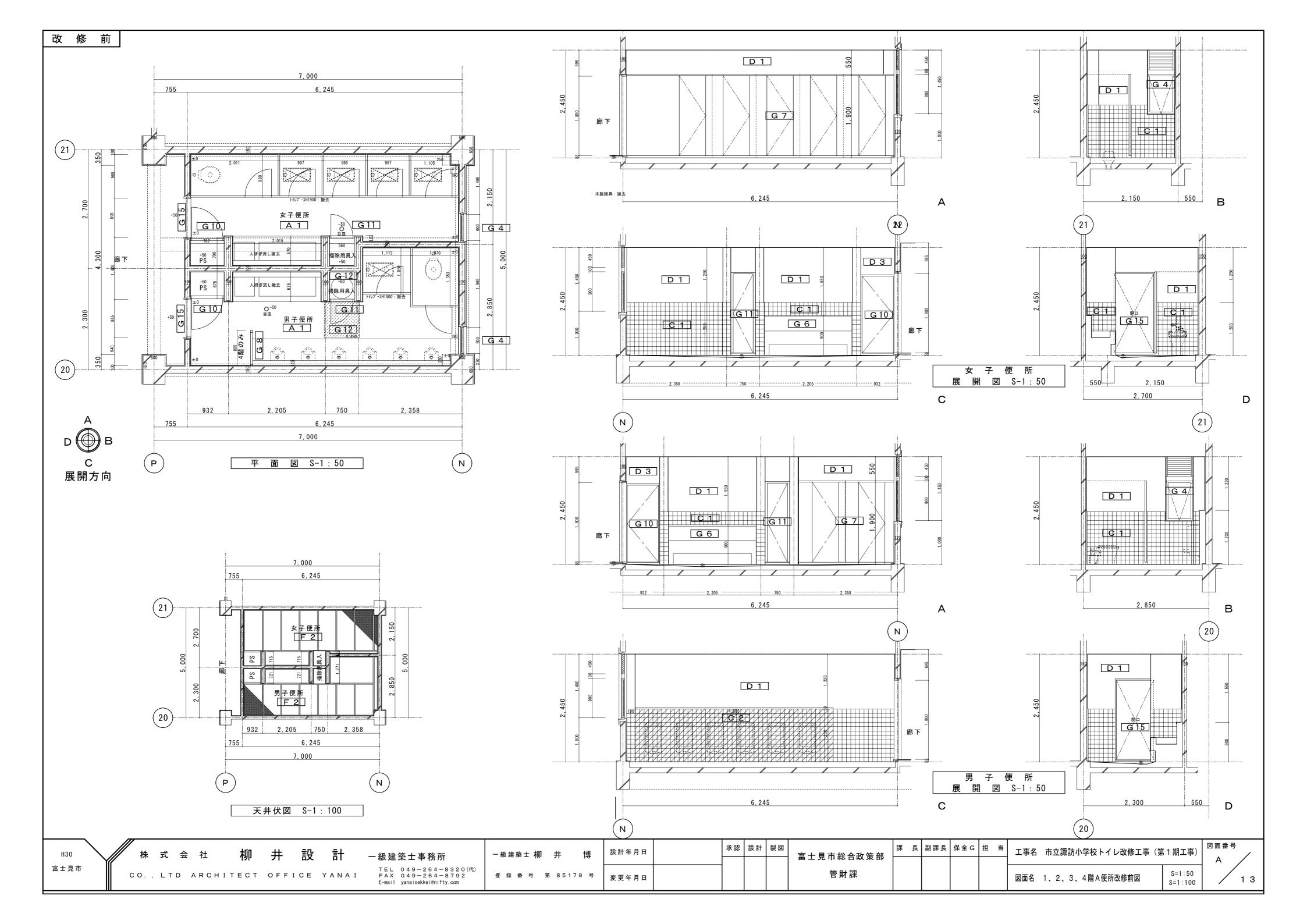
富士見市

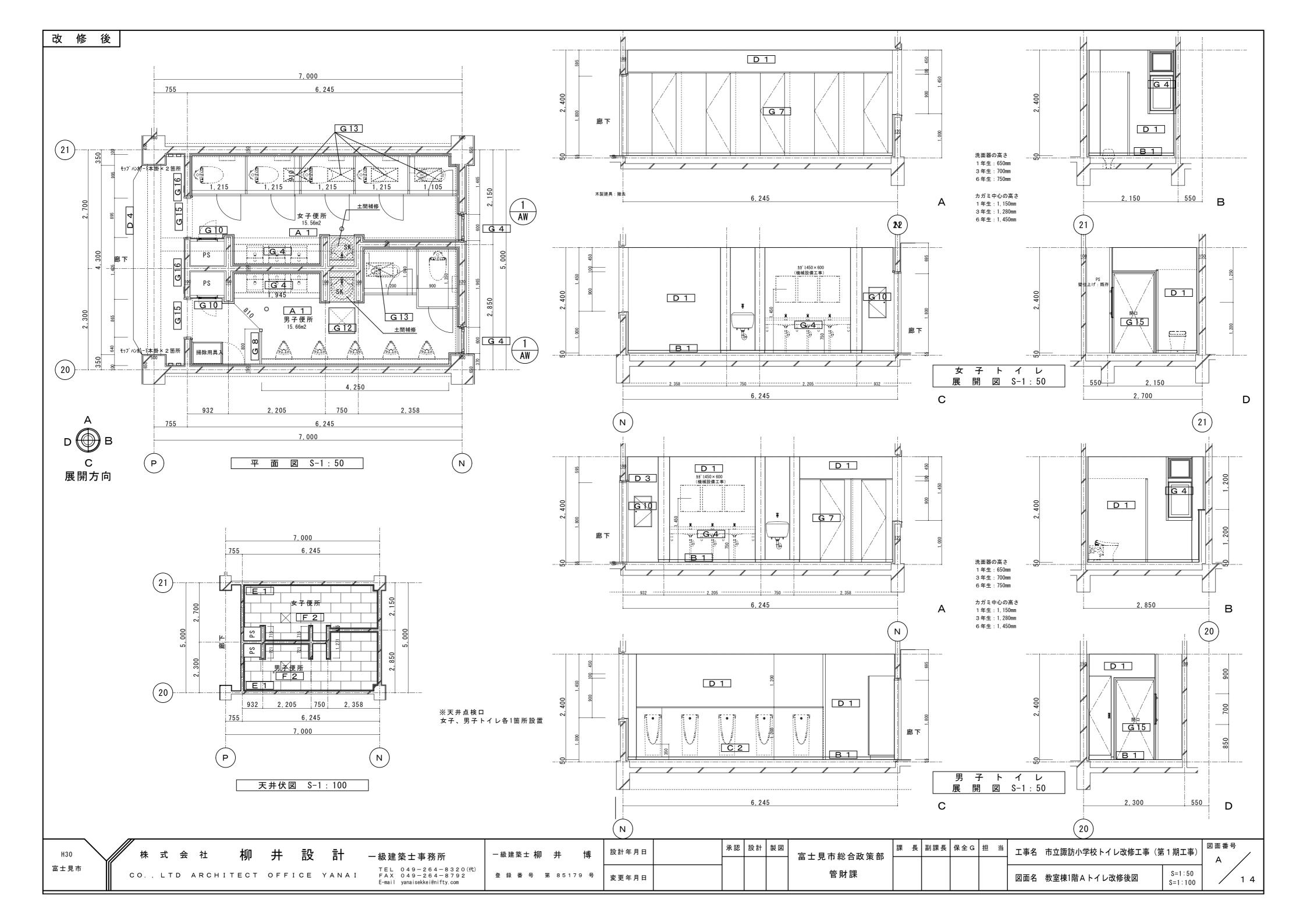
承認 設計 製図 課 長 副課長 主 任 担 当 株式会社 柳井設計 一級建築士事務所 工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事) 設計年月日 一級建築士 柳 井 博 富士見市総合政策部 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

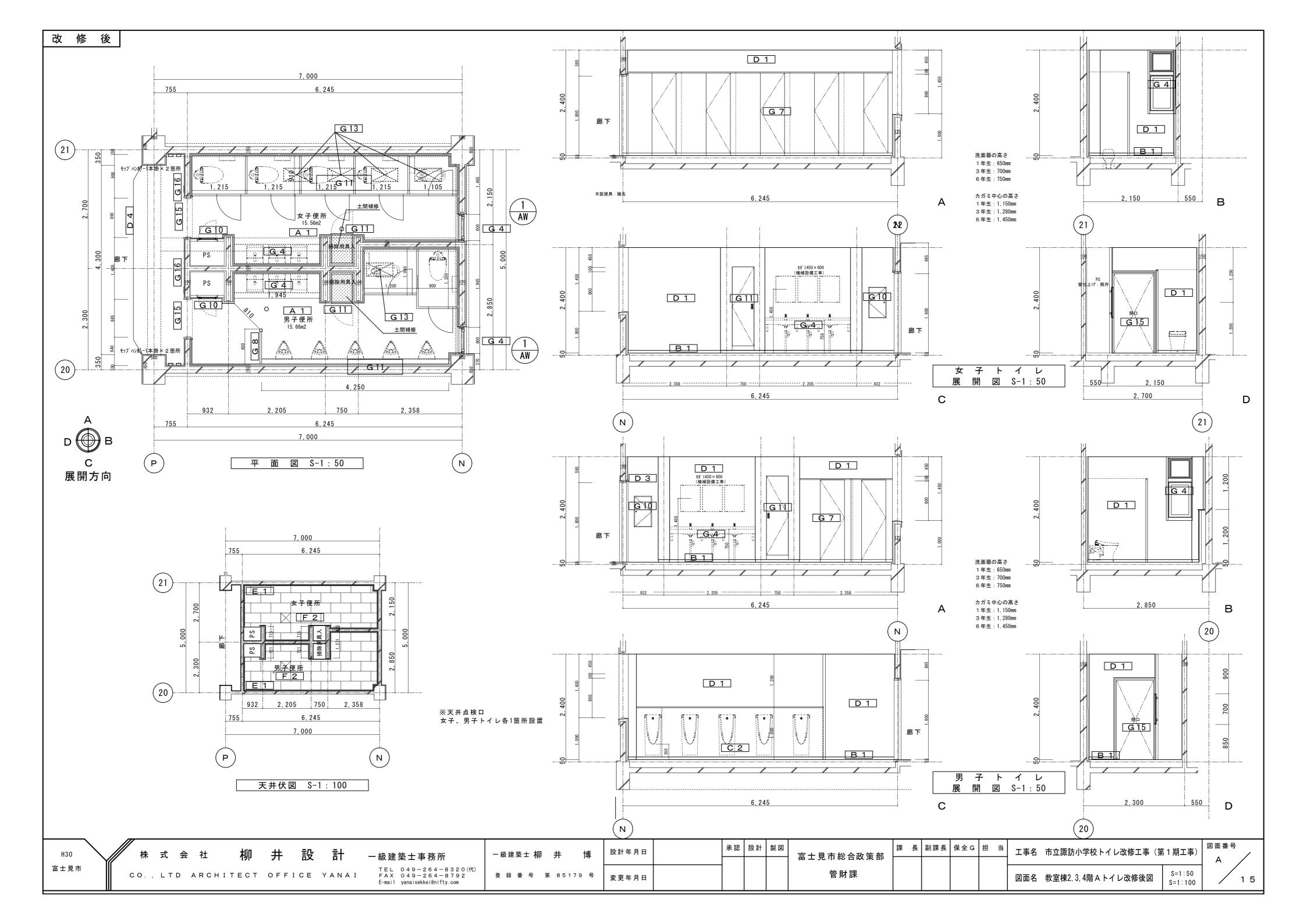
T E L 0 4 9 - 2 6 4 - 8 3 2 0 (代) F A X 0 4 9 - 2 6 4 - 8 7 9 2 E-mail yanaisekkei@nifty.com 登録番号第85179号 変更年月日 管財課 図面名 内部仕上表一2 図面番号

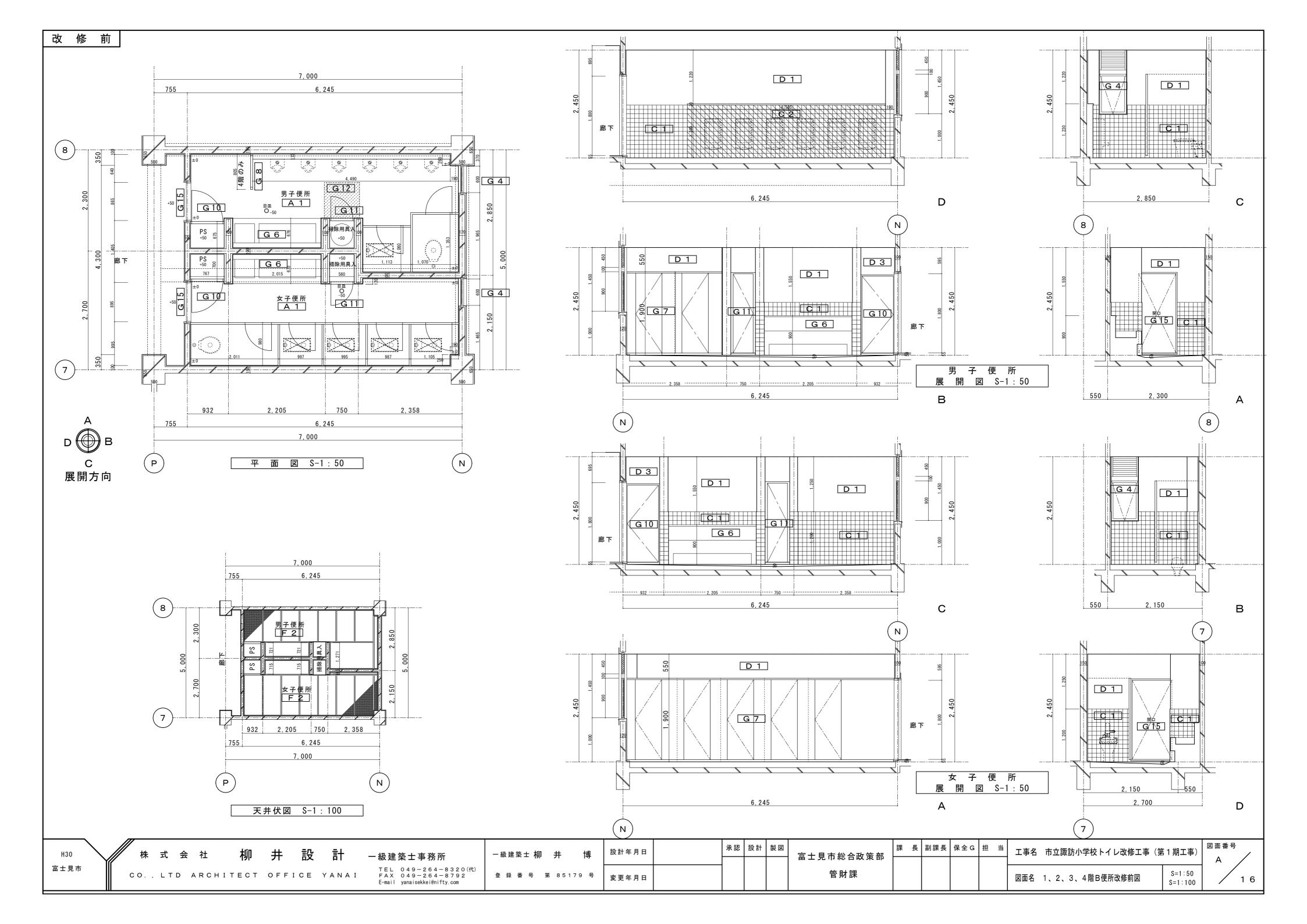


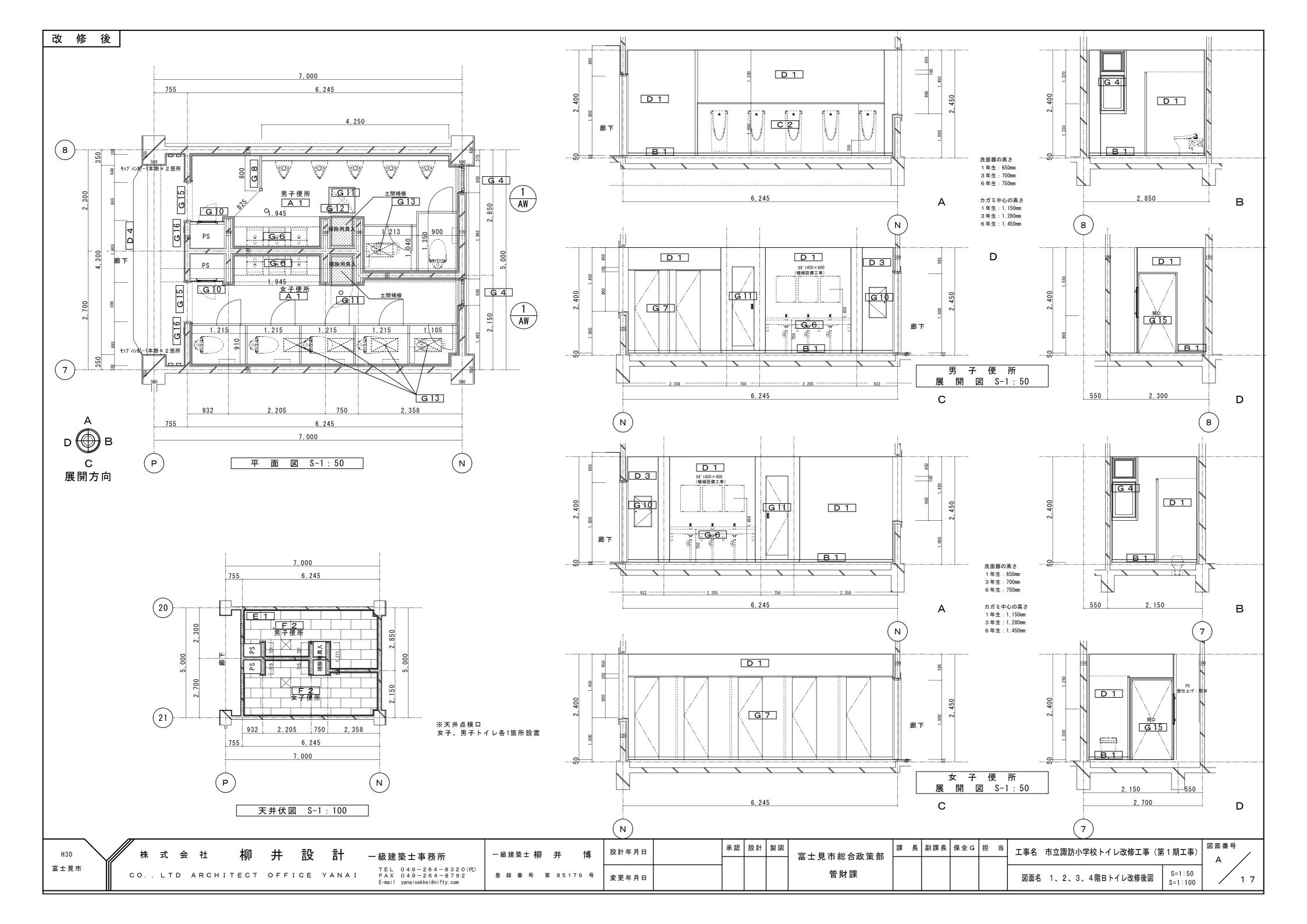


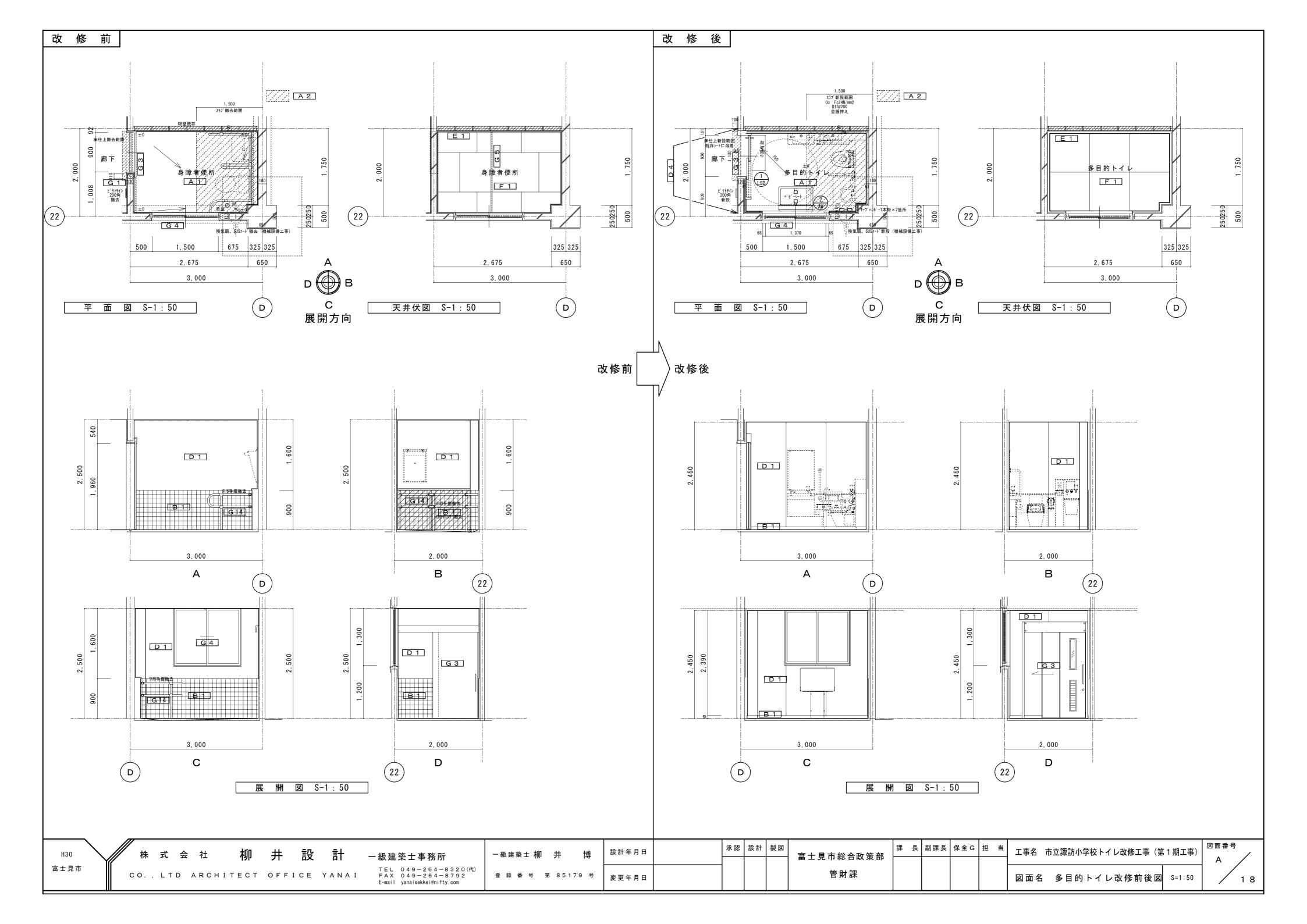


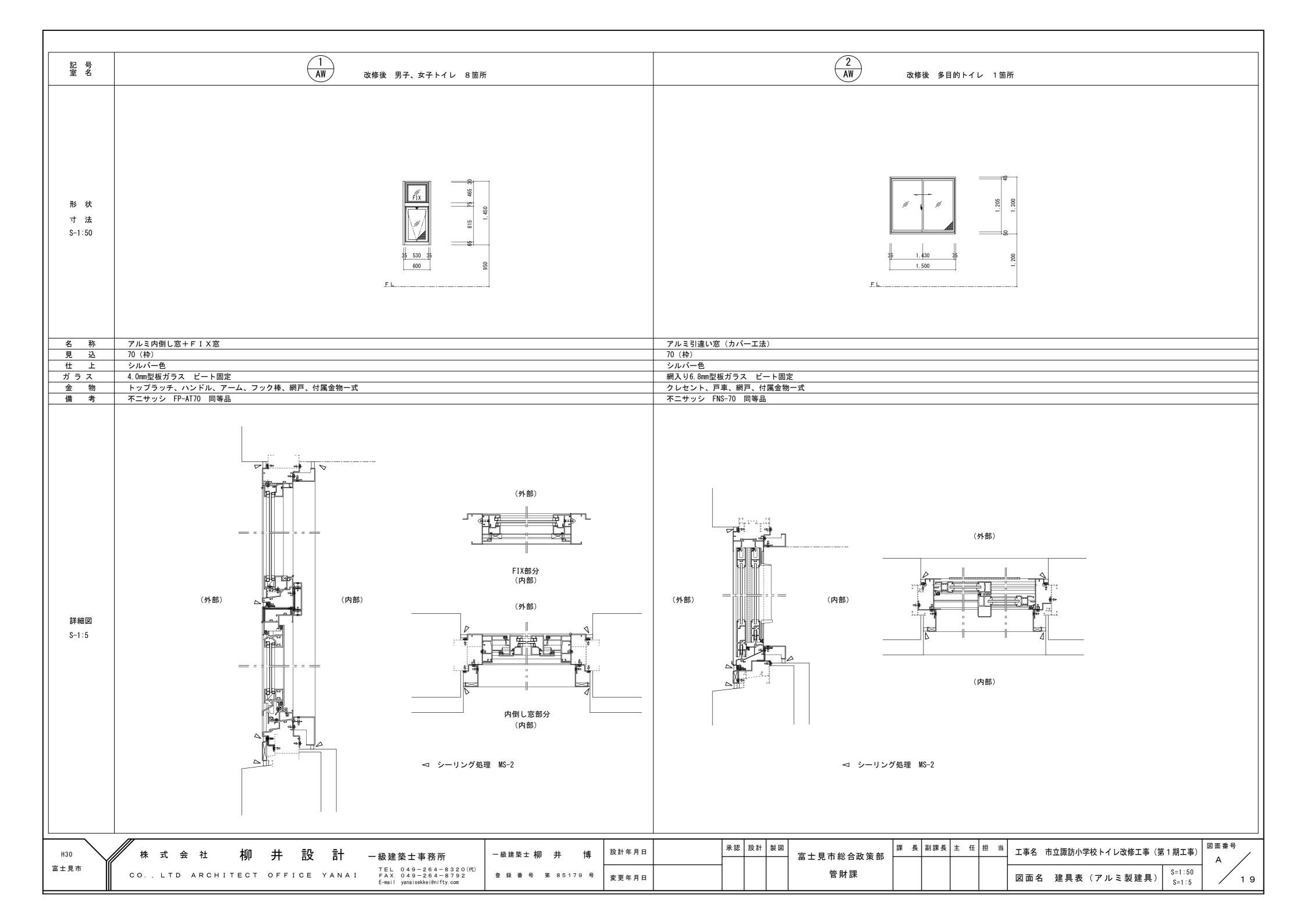


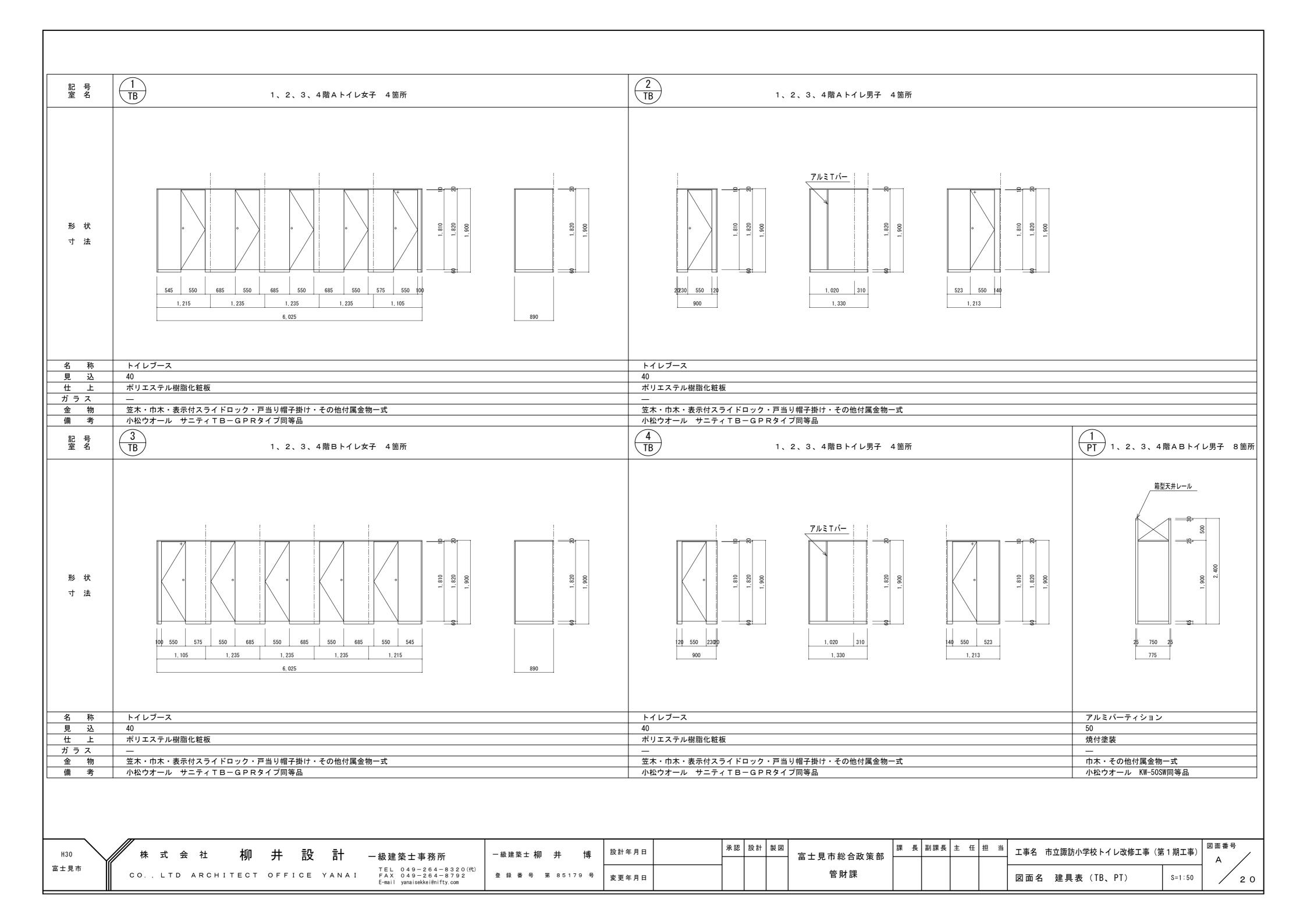


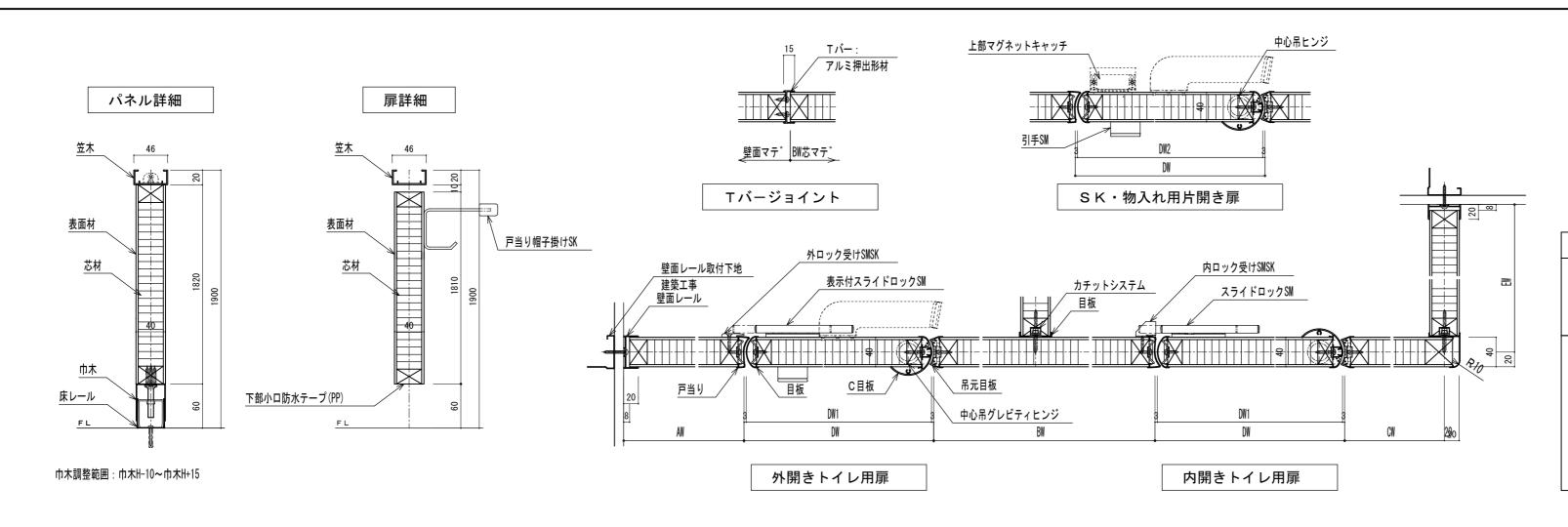














アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉

図面番号

中心吊グレビティヒンジ

スライドロックSM

戸当り帽子掛けSK

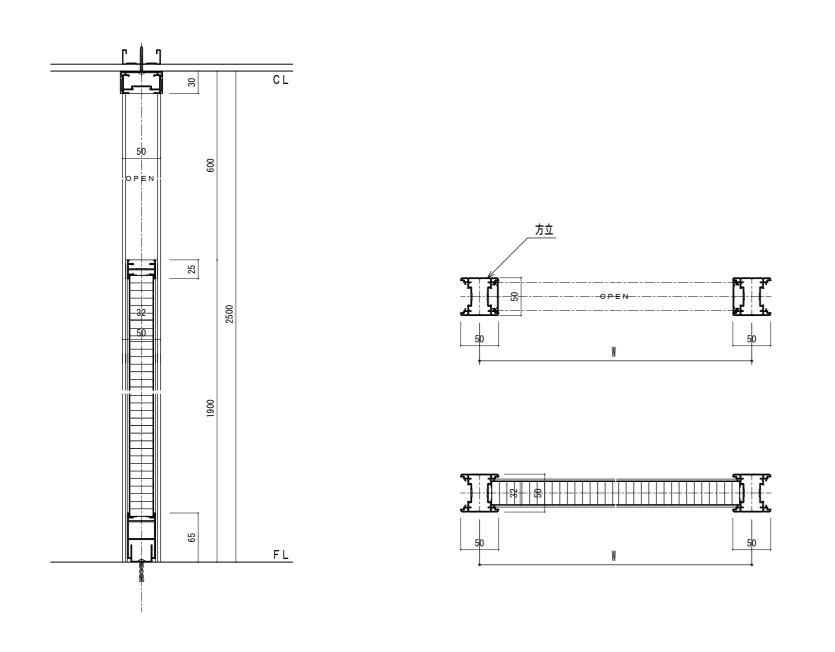
トイレブース (TB)

壁面レール/コーナーカバー

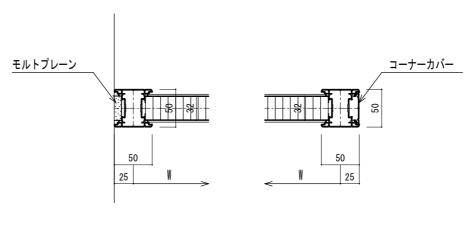
ヒンジ

ロック

その他金物



富士見市



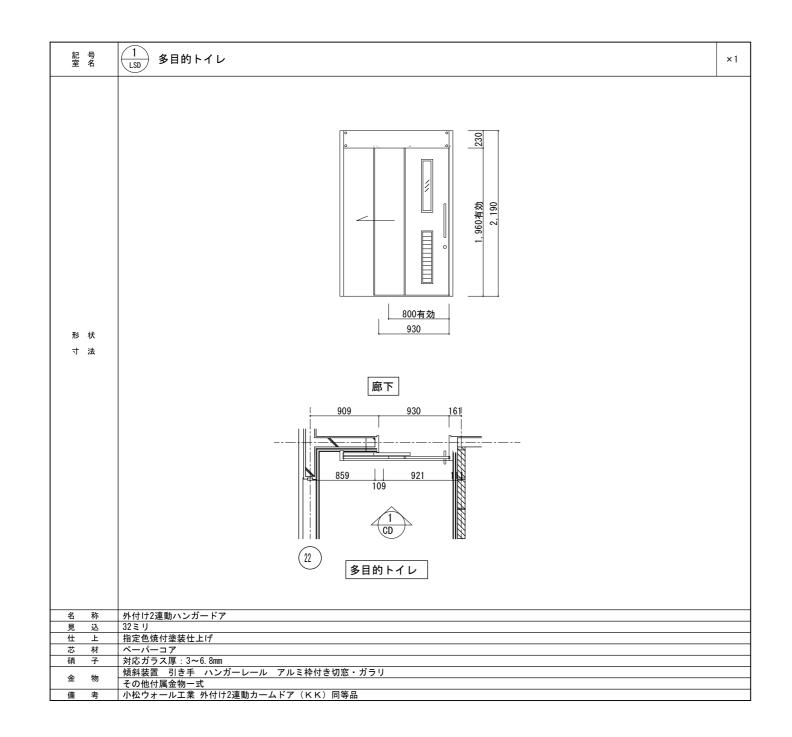
エンド部

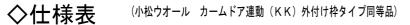
パーテーション (PT)

壁面納まり

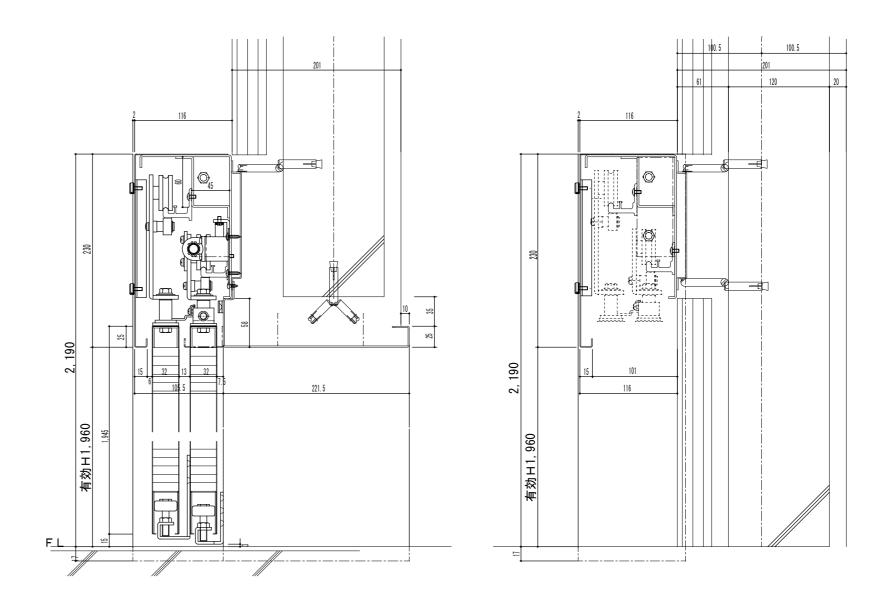
◇仕	:様表	(小松ウオール ナックー50SW)
項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール・床レール	アルミ押出形材 〈アルマイト処理仕上〉
	方立・巾木	アルミ押出形材 〈アルマイト処理仕上〉
	天井上枠・上枠	アルミ押出形材 〈アルマイト処理仕上〉
	コーナーカバー	アルミ押出形材 〈アルマイト処理仕上〉
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.45mm 〈焼付塗装仕上〉
		冷間圧延鋼板 0.45mm 〈焼付塗装仕上〉
	芯材	ペーパーコア

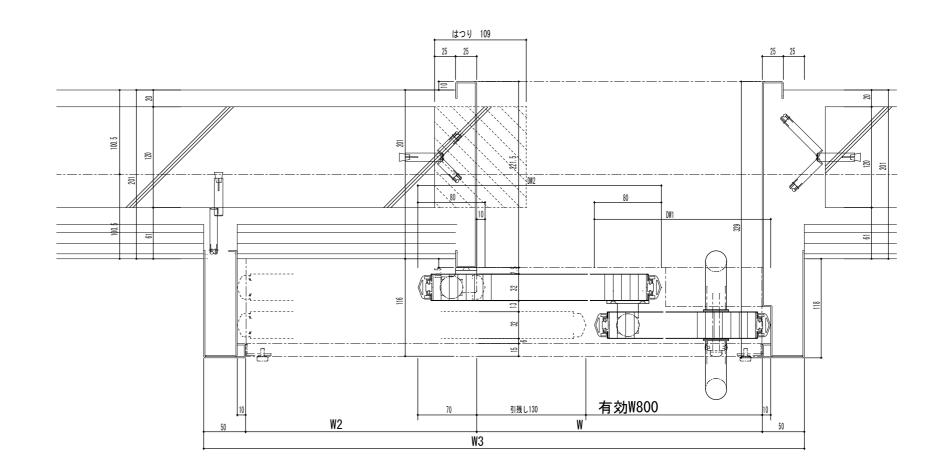
 朱	式	会 :	社	枷	#	設	計	一級建築士事務所	一級建築士 柳 井	博	設計年月日	承認	設計	製図	富士見市総合政策部	課:	長副	課長	主 任	担当	工事名	市立諏訪小学校トイレ改	女修工事 (第	1期工事	į)
•	- •	_	_	151	71		HI	似性未工事切り		1.7					由工光中心口以来的										
. ,	LTC) A F	CHI.	TECT	OFF	ICE	YANAI	TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792	登録番号 第851	79 号	┃ ┃ 変更年月日				管財課						図面名	建旦詳細図(TF	3. PT)	S=1:5	





N-11	
部材	材 料(板厚mm)
駆動方式	傾斜レール 制御装置エアダンパ
カームベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm 〈防錆塗装仕上〉
カームレール	アルミ押出形材 〈アルマイト処理仕上〉
ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットはめっき仕上
先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm 〈焼付塗装仕上〉
点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm 〈焼付塗装仕上〉
パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm 〈焼付塗装仕上〉
芯 材	ペーパーコア
フロントゴム	ポリ塩化ビニル 〈ブラック色〉
切窓・ガラリ	アルミ押出形材 〈焼付塗装仕上〉
切窓ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm<グレー色>
ロック	美和 POSTE錠/ゴール AD錠
取手	ステンレス鏡面ハンドルφ25 L=450
	部 材 駆動方式 カームベース板 カームレール ハンガー戸車 先付け枠 点検カバー パネル表面材 芯 トゴラリ 切窓・ゴラリ 切窓・ビート ロック





富士見市

株式会社 柳井設計 一級建築士事務所

T E L 0 4 9 - 2 6 4 - 8 3 2 0 (代) F A X 0 4 9 - 2 6 4 - 8 7 9 2 E-mail yanaisekkei@nifty.com

一級建築士 柳 井 博 登 録 番 号 第 85179 号

承認 設計 製図 設計年月日 変更年月日

富士見市総合政策部 管財課

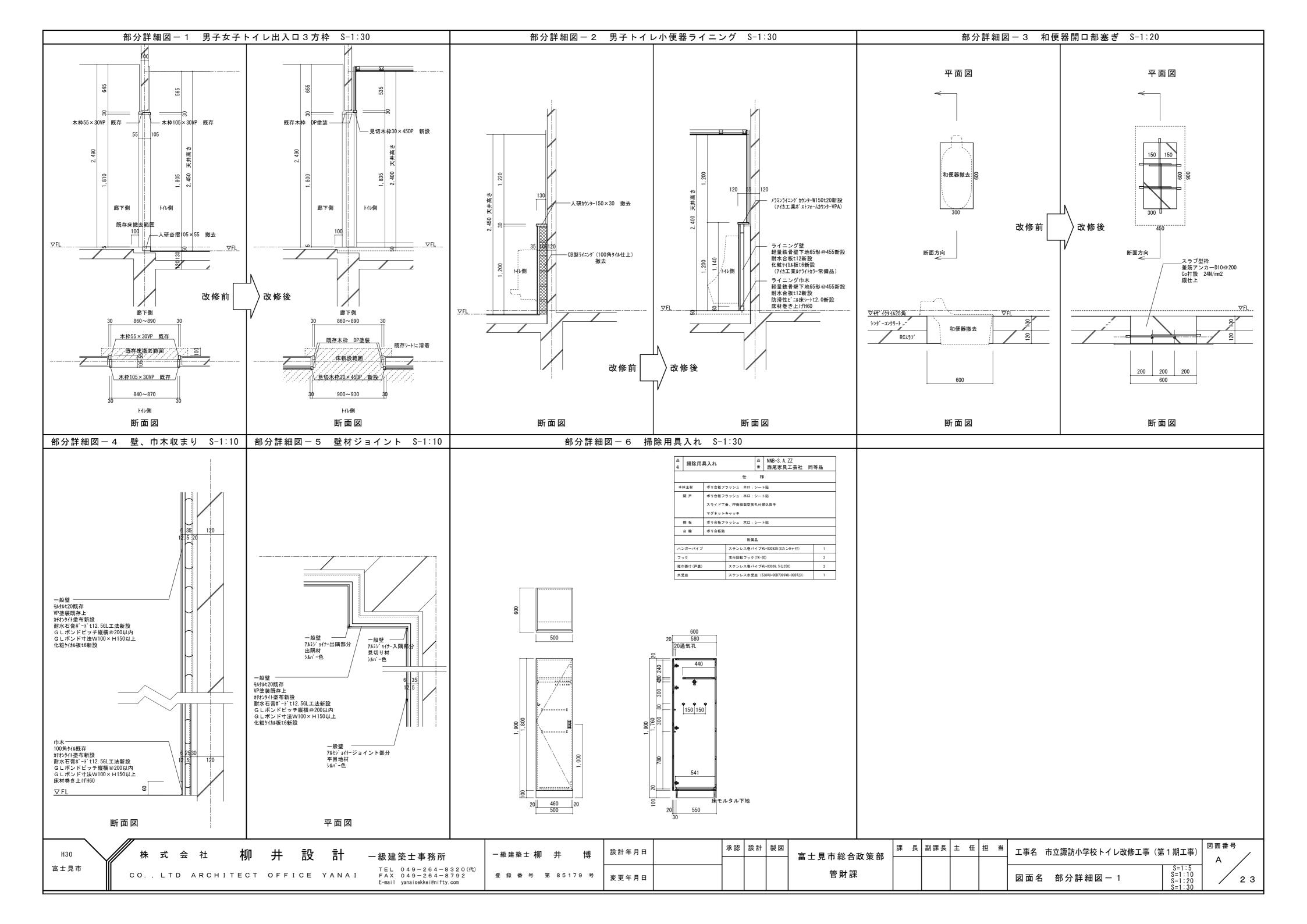
| 課 長 | 副課長 | 保全G | 担 当

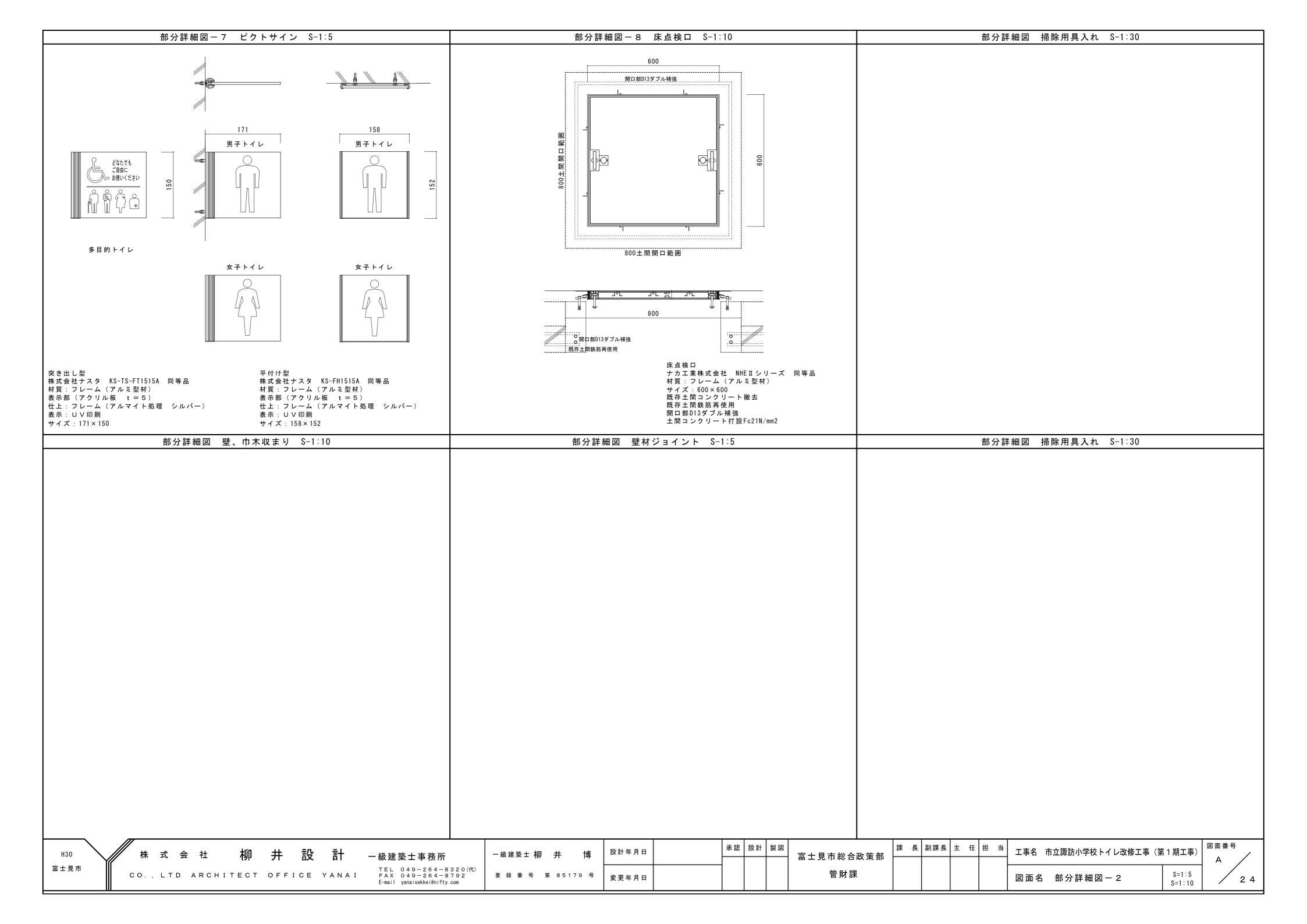
工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事)

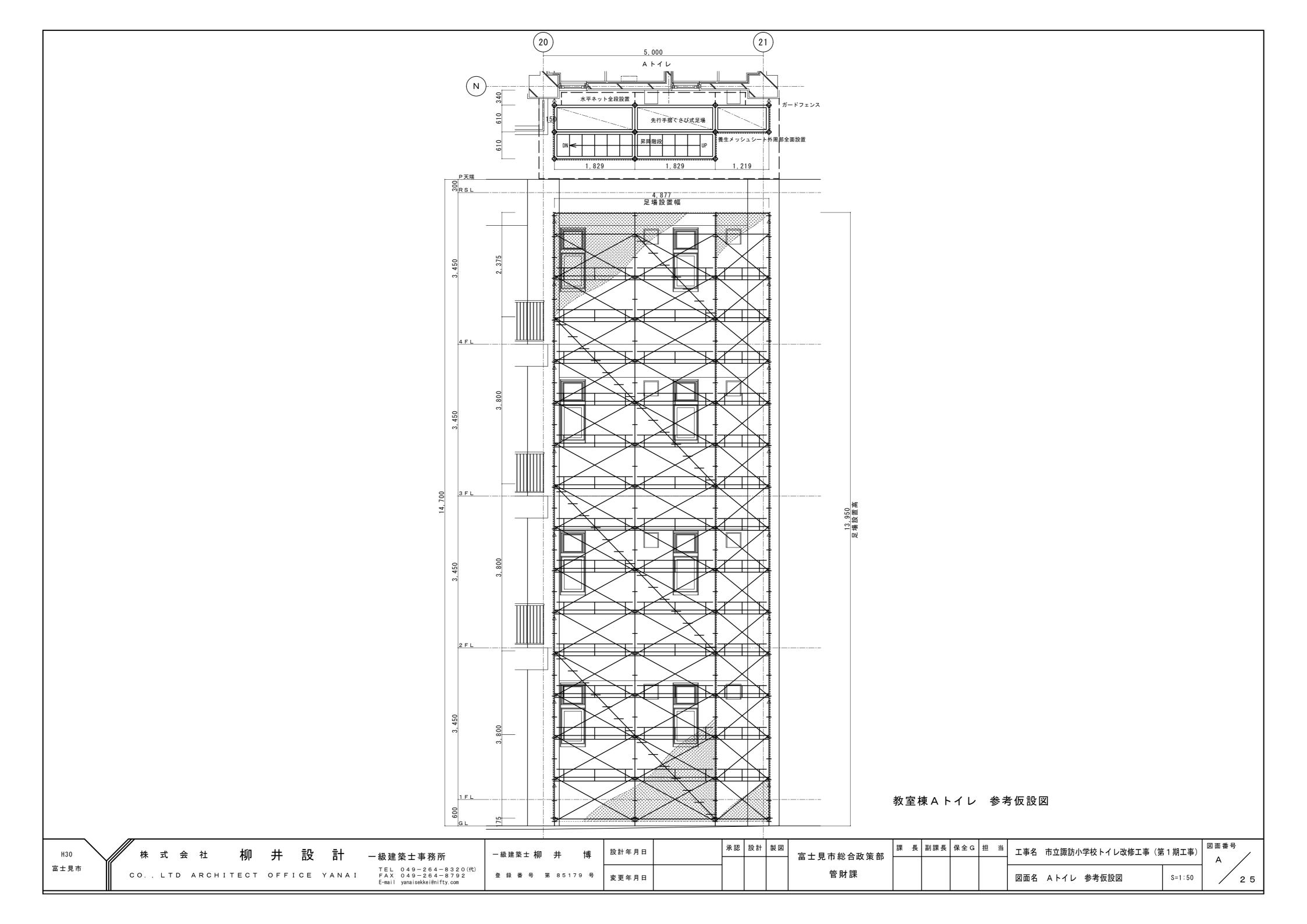
図面番号

2 2

S=1:5 図面名 建具表(軽量鋼製建具) S=1:50

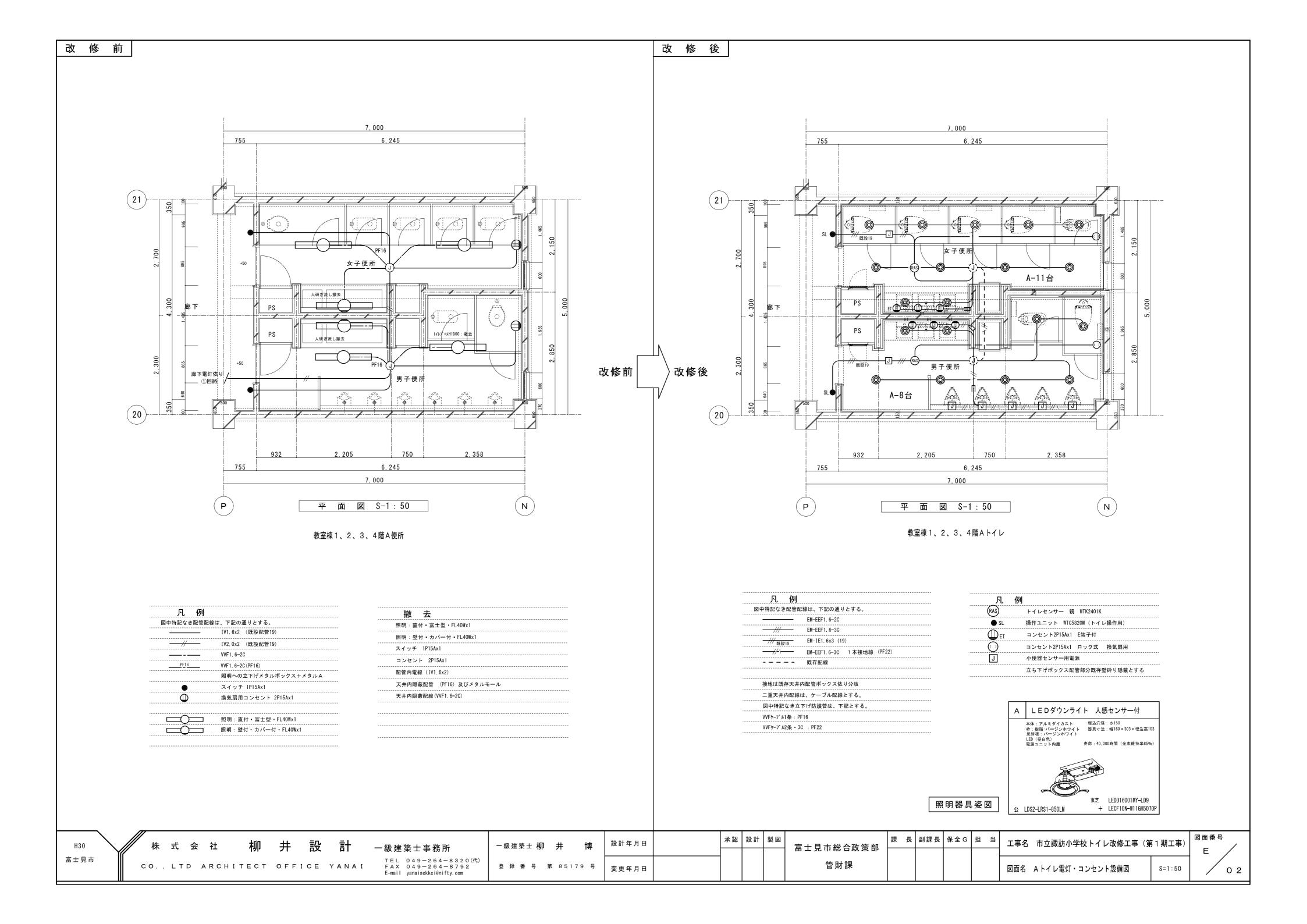


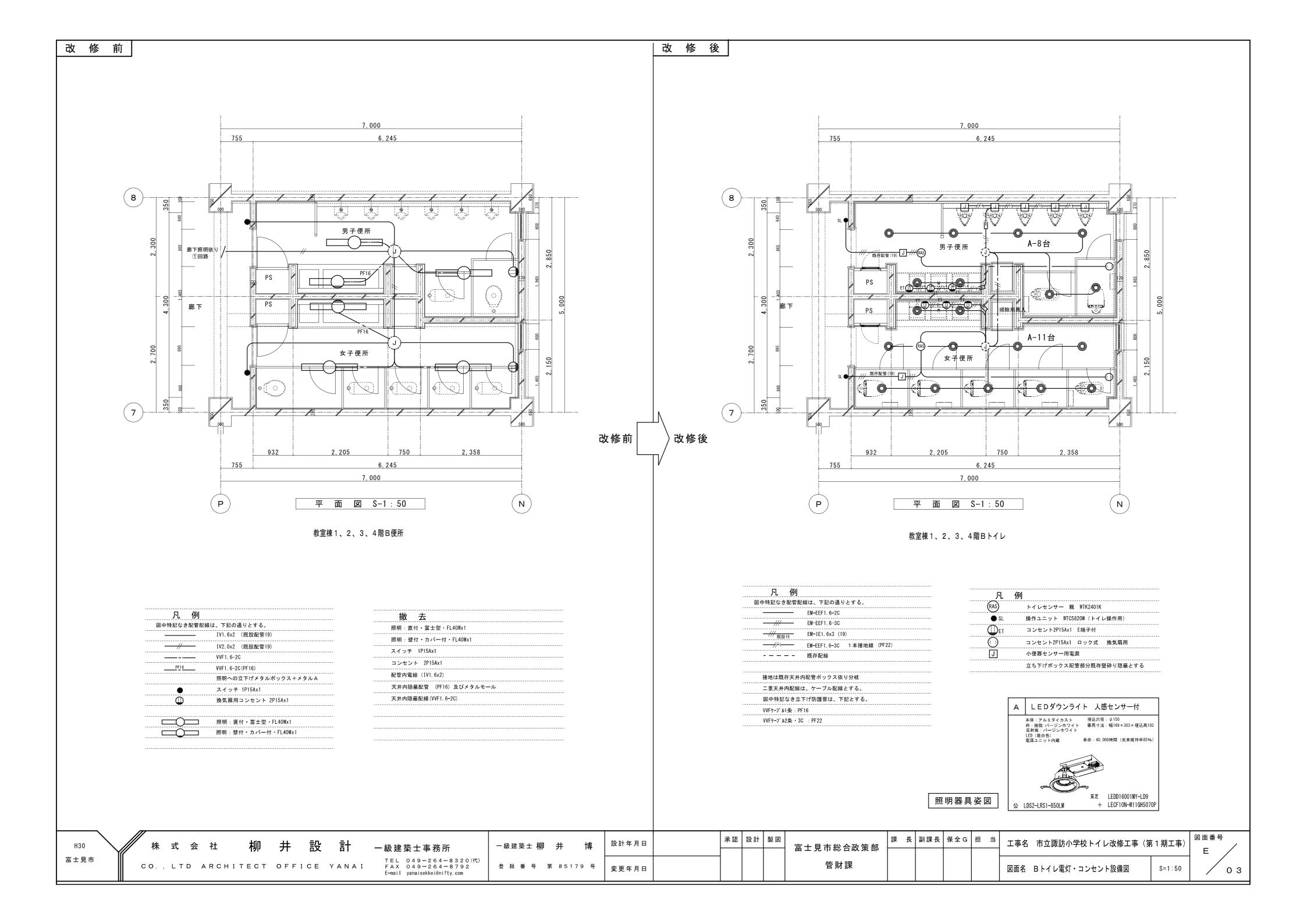


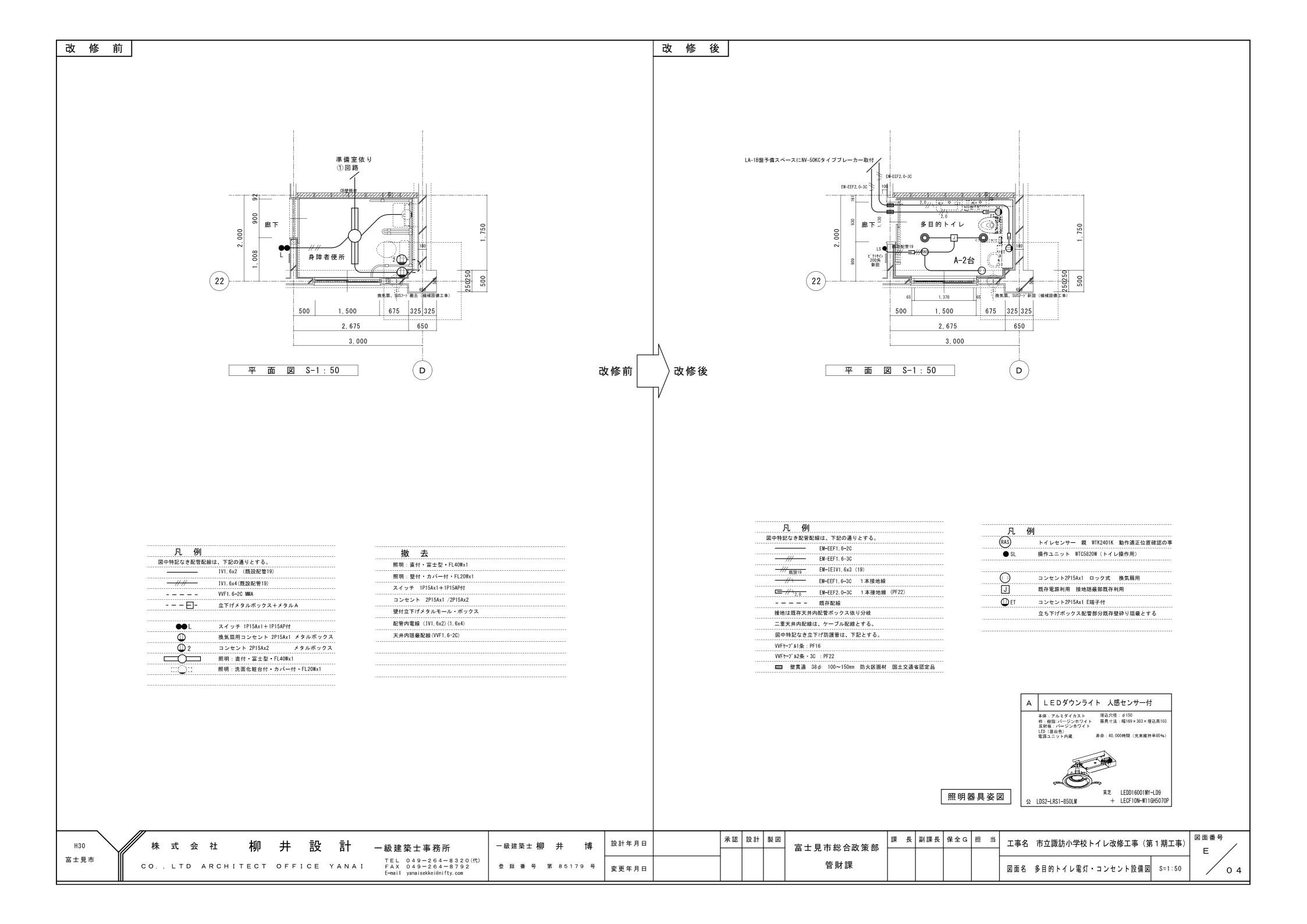


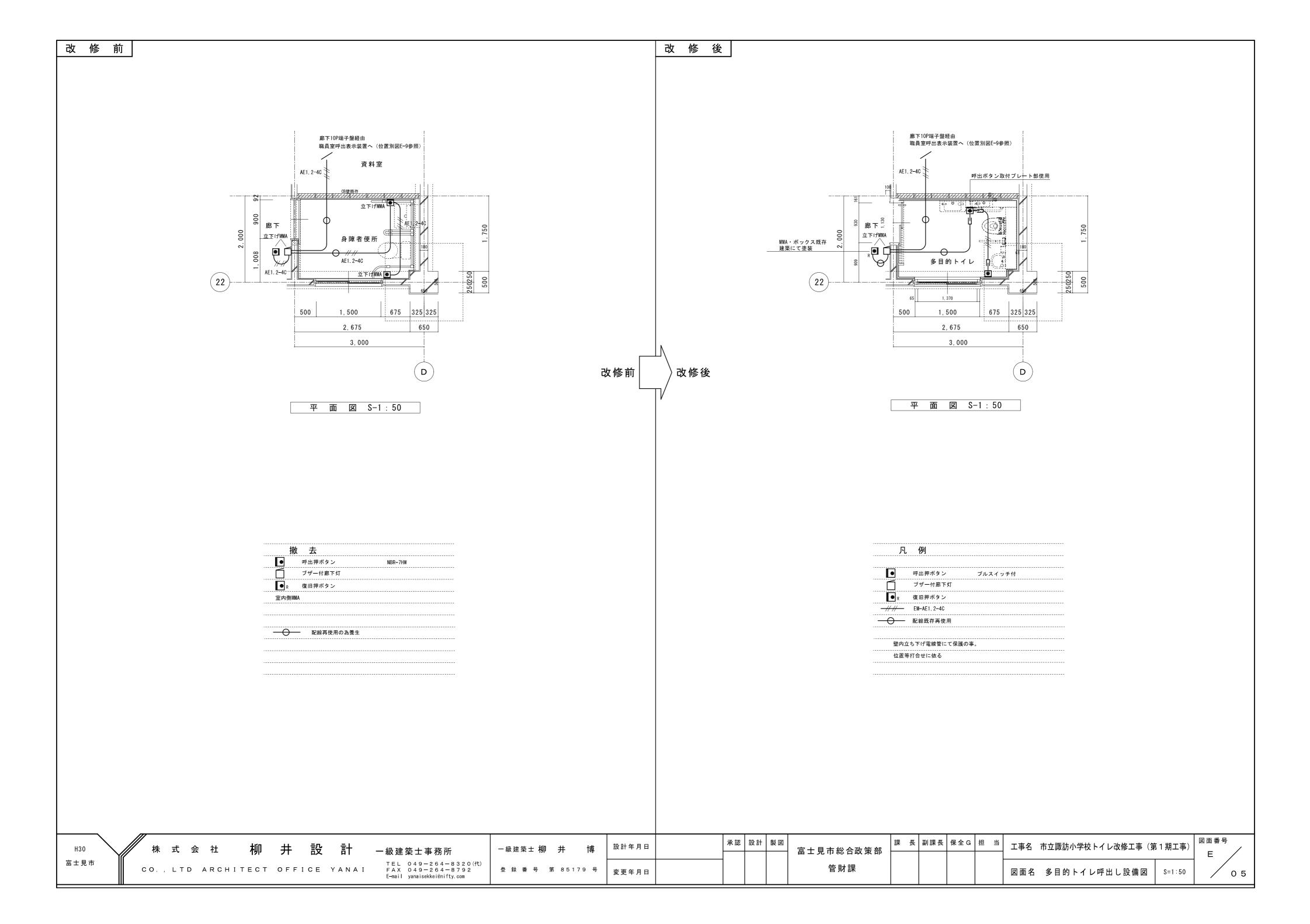
電気設備工事	事特記仕様書		(11) 金属電線管の	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗			2.4 取付高さ
1 工事概要 1.1 工事名	市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事)	塗装	蘇田配官は原則として坐装を行う。だだし、機械主、肩庫寺の蘇田配官は坐装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。		(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は 受注者の負担とする。	壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。
1 . 2 工事場所 1 . 3 工 期	富士見市大字鶴馬地内 契 約 日 から 平成31	年 9月27日 まで	12 鍵	ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。 盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。		(5)特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。	石 柳 月 中 県営住宅 スイッチ (一般) 床上~中心 1,300 1,200
1.4 工事科目(〇印0	(共通仮設費率の算定に用いる工具 の付いたものを適用する)	閉 契約日から平成31年9月27日まで)	13 地中電線路	(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記		(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を 行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定 を行い、試験記録を提出する。	" (身体障害者用) " 1,100 1,000 " (人感センサー切換用) " 2,000 2,000
・ 電灯コンセント設備・ 動力設備		ビ共同受信設備ビ電波障害防除設備		による。 敷き均し土 管 種 別		(7) 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 (8) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを	コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット (一般) " 300 400
・ 電熱設備・ 雷保護設備	- 監視	て竜波障害が除設備 カメラ設備 場管制設備		硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE)		行うこと。	" (台上) 台上~中心 150 500 防水型コンセント 床上~中心 500 500
・ 受変電設備 ・ 静止型電源設備	• 防犯	、入退室管理設備 火災報知設備		版付便負合放倒脂管(FEP) ポリエチレン被覆鋼管(PLP)		※以下は、高等学校および特別支援学校の改修工事(夏休み工事)に適用する。 (9)騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については原則として夏休み	分電盤、制御盤、開閉器箱 "(上端1,900以下)1,500 (上端1,900以下)1,500 呼出ボタン (身体障害者用) 900 900
・ 発電設備 ・ 構内情報通信網設備	・自動	閉鎖設備漏れ火災警報設備		(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低 圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。		期間に設定すること。	復帰ボタン (") " 1,800 1,800 廊下表示灯 (") " 2,000 端子盤 " 2,000
• 構内交換設備 • 情報表示設備		配管設備監視制御設備	14 回路の種別 行先の表示	ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。		以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。 ・同時期発注の関連工事:建築工事、機械設備工事	3 その他
・ 映像、音響設備 ・ 拡声設備(非常放送		機設備	11元の表示 (1 5) 電線の接続	ーフルには、回路の権別、11元の表示を11 7。 湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープ			3. 1 他工事との取合区分 発注図又は工事区分表による。
・ 誘導支援、呼出し設	投備		世 柳 77 IX 柳	を巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよ	2.3 工事別一般事項 項 目	(特記事項選択項目は、〇印のついたものを適用する) 特 記 事 項	3.2 図面上の縮尺 図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格A1版とした縮尺とする。
1.5 指定部分 ・ 1.6 主任技術者又は監	・ 無 ・有(エ期 監理技術者の専任期間(建設業法により。	月:平成 年 月 日) 必要になった場合)		い。ただし、接続はボックス内とする。	1 電灯コンセント 設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2ロコンセン	3.3 疑義 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、
1 専任期間の始 請負契約締結	i期 iの日から、(・現場施工に着手するまで	(現場事務所の設置、資機材の搬入	16 電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施 したねじなし工法としてもよい。		トは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。	監督員と協議するものとする。
	i等が開始されるまで)の期間 ・平成 には監理技術者の専任を要しないものとす	年 月 日までの期間)については、 トる。	17 残土処分	埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。		コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具	
2 専任期間の終 工事完成後、		≦が遅延した場合は除く。)、事務手続き、	18 再生砂・再生	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を		防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。	
後片付けのみ 3 専任期間の中		に理技術者の専任を要しないものとする。	アスコン	得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌 の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。		(3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修 前と改修後の照度測定を下記基準により実施すること。	舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書
	5生又は埋蔵文化財調査等により発注者か 1に一時中止にしている場合は、主任技術	いらの通知により、 所者又は監理技術者の専任を要しないものとする。	。 (19) エ事カルテ	請負代金が500万円以上のときは、本工事受注時、変更時及び完成時に		・ JIS C 7612 「照度測定方法」 ・ 学校環境衛生基準	第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト 舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるもの
1.7 建物概要			作成・登録	工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に承諾を受けた後、 (一財)日本建設情報総合センターに登録するとともに、登録結果を監督員に		(4)分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。	である。 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
				報告する。		(5) 継枠 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが	・種類及び処理量 汚泥(油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市 地内、(株)
			② 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政 法人建築研究所監修)による。		10mm程度以上離れる場合は継枠を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継枠を必	・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶融を含む)
1.8 工事概要 • 照明器具更	事新(LEDAL)			なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものと する。		要としない。 (6)位置ポックスの省略	2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した
	、コンセント更新			(1) 設計用水平地震力機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。		ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器 具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。	濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しな
				なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。 設計用標準水平震度	2 動力設備	 (1)動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷 用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。	2 受注有は、汚泥の中间処理来の計可を受けている来有と産業廃業物処が安託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃
2 工事仕様 2.1 共通仕様				設置場所		(2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別 途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。	乗物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において
(1)この工事は特記仕	: 様書、図面によるほか、埼玉県電気設備 :通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築コ	带工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」 「東堙淮仕样書(雪气記機工車網)		上層階 機 器 2.0 1.5 1.5 1.0 財振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5	3 雷保護設備	(1) 受雷部突針はLR1とする。	定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければな
公共建築改修工事標	1.週旬八年日房日川 呂橋即皿 19 公共建業3 1.選生仕様書(電気設備工事編)、公共建第 1.等」という。)及び監督員の指示に従し	· 設備工事標準図(電気設備工事編)		水 槽 類(※1) 2.0 1.5 1.5 1.0 機 器 1.5 1.0 0.6		(2)水平導体又はメッシュ導体は、太さ38mm2以上の銅より線、t3×25mm 以上の大きさの銅帯又はt4×25mm以上の大きさのアルミ帯とする。	らないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第3項及び第4項に基づき締結 した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
		機材の品質・性能基準を最優先とする。		中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水 槽 類(※1) 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.4		(3) 引下げ導線は、太さ22mm2以上の銅より線を使用する。	2 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものと する。
	。 建築工事を本工事に含む場合は、それそ 書等は、原則として施工時において最新	ぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用す Fのよのな適用する	る 。	地下・1階 機 器 1.0 0.6 0.6 0.4	4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に 再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その ************************************	第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変 更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協
		なければ※印を適用し、・印のものは適用しない		【備 考】 (※1): 水槽類には、オイルタンク等を含む。 重要機器		端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 (端末処理・耐塩用・一般用) 受電電圧交流3相3線式 6.6kV 50Hz	は、
項目	特 記	事項		・配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置		文 電 電 圧	
1)機材等]書に規定するもの又はこれと同等のもの :び発注先を記載した報告書を監督員に提		上層階の定義は次による。 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層 2 階、10~12階建の場合		主 遮 断 装 置 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 変圧器設備容量 動力用 kVA× 台	
		- 含有の有無を確認し、アスベストを含む		は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力		電灯用 kVA× 台	
	「国等による環境物品等の調達の推	推等に関する法律」に基づく特定調達品 原則として、その判断の基準、配慮事項	② 1) あと施エアンカー	設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。		高圧進相コンデンサ kVar× 台	
	を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とす	「るよう努めるものとする。	(21) あと施エアンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員 の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、		直列リアクトル ・6 % ・1 3 % kVar× 台	
2 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などは、にかかる費用は受注者の負担とする。	構内から使用できるものとし、その仮設		エ重「00 K g を起える協会の前辰又行については、前辰計算者を添りし、 アンカーボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は	5 構內情報通信	 ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。	
3 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につ)くることができる。		十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を	網設備	コンコン プロス田と皿ですにながり、0%116、10.23、10.23でである。	
4 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着 ・本工事とする。	したものは無償で使用できる。		添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル	6 静止型電源 設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・(概要)	
5 監督員事務所	本工事で ・設ける (規模) ※設けない		挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)			
6 保 険		こついて工事完成期日後14日まで、これを 除等にかけて、証書の写しを監督員に提出す		あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に 1 か所引張試験を実施する こと。	7 発電設備	・ディーゼル発電装置・ガスエンジン発電装置	
7 再使用機材	る。 	と抵抗測定等を行い、機能が良好なことを は拡張している。	(2 2) はつり	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてX線撮影調査		・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給 (コージェネレーション) 発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置	
	確認した上で取付る。なお、その測定			を実施してから、ダイヤモンドカッターを使用すること。		· (概要)	
8 建設リサイクル 法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に ※ 適用する(契約金額による)		23 改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場			
9 完成図書の	完成図書の電子納品ガイドライン	※ 適用する ・適用しない		(2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) ・B種(単管本足場) ・C種 ・D種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について、(原件労働公共発等042401号)では21年4月24日)の「チャリ共行工法等	8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。	
電子納品	こと。また、完成図の中に主要機器一	5名、受・発注者名、完成年月を記載する 覧表(名称、製造者名、形式、容量又は		て」(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組	9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報	(2)総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。	
	出力、数量等)を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A	、3二つ折り5部とする。		全」に過去する子すり、中さん及び幅本の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により	設備、拡声設備(非常放送設備)	(3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえ で行うものとする。	官公庁等打ち合わせ相手 打ち合わせ担当者 建築:
10 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出 (構外搬出処理費は、※本工事・別			行うものとする。	10 昇降機設備	 特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標	月 5 日 7 ゼ 担 ヨ 有
	(イイン) 引渡しを要するもの ((2) 買取処分をするもの (銅屑・)	② 4) その他	(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。		なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。	<u>に成らせる。</u> 電力会社 : 電話会社 :
	(3) 再生資源化を図るもの(蛍光管 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し)		(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。			ケーブルテレビ会社 : 消防本部 :
	(4)特別管理産業廃棄物 (※処理に先立ち計画書を提出し、処理)		(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に 提出し、承諾後施工する。			2018.
				設計年月日 宣 十 目 市	理 集 副理集	主幹主査担当縮尺	工 事 名 称 図 名 図面番号

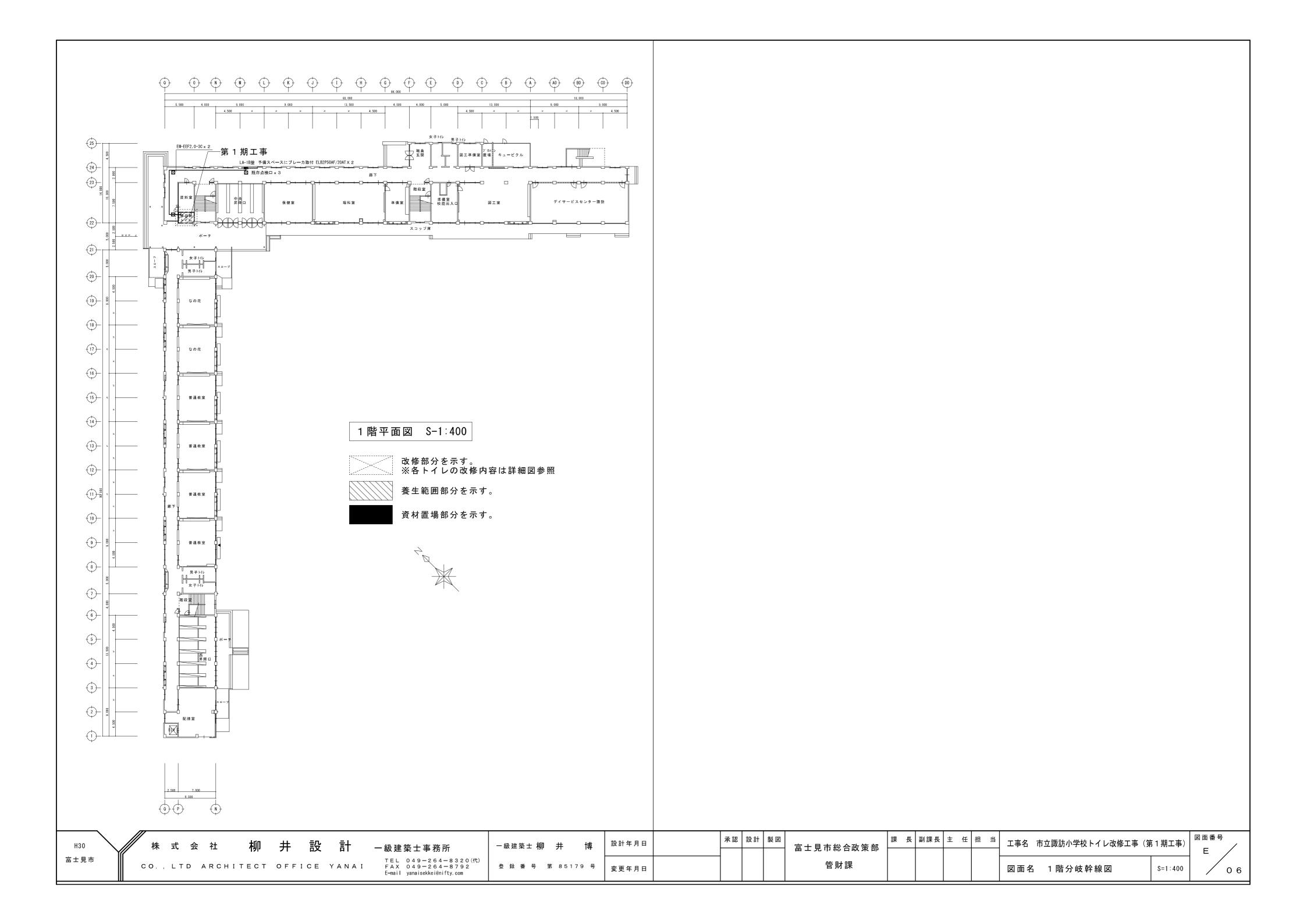
総合政策部 E-01 ㈱柳井設計 電気設備工事特記仕様書 N S 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事) 管 財 課

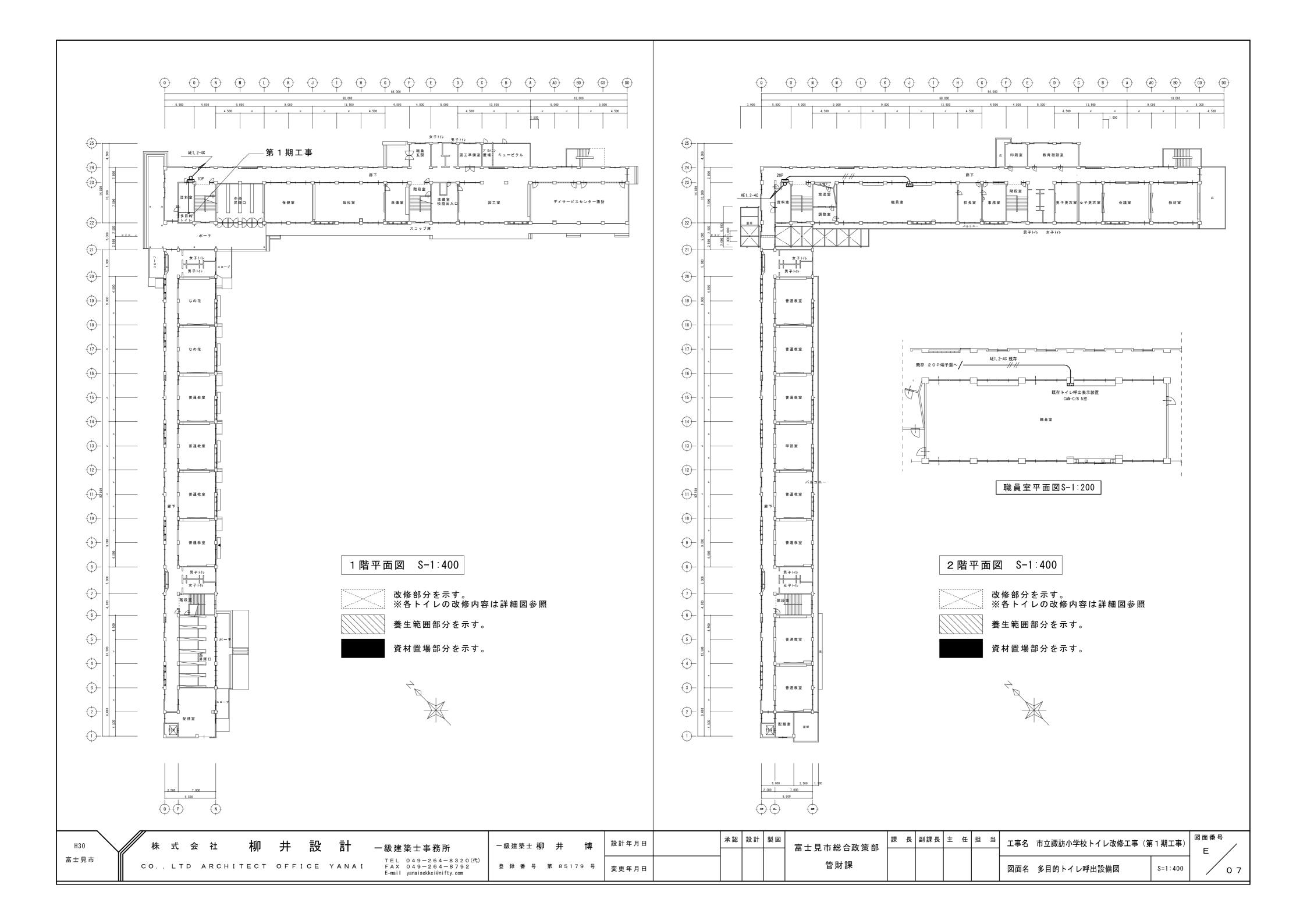






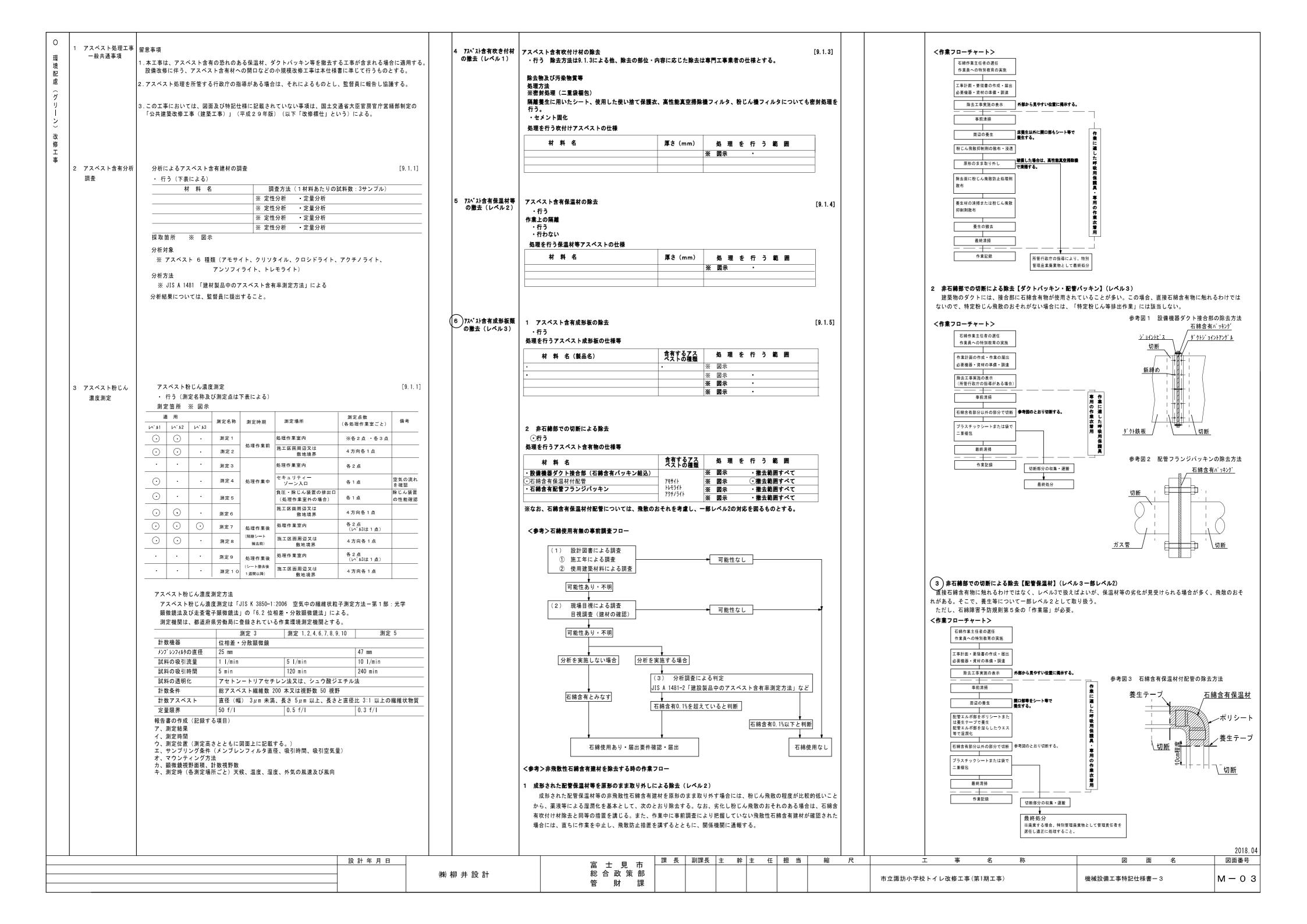




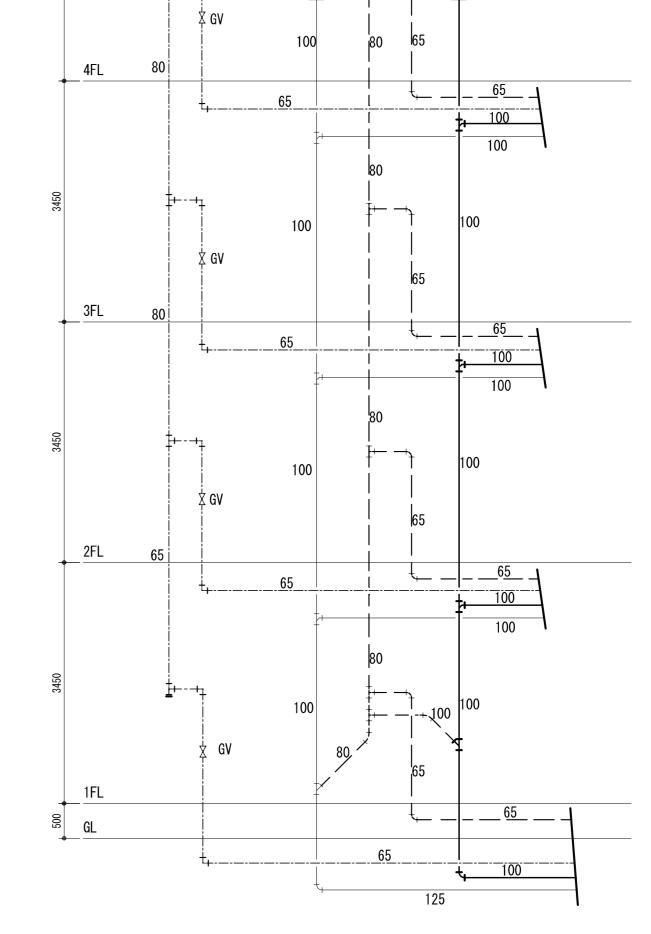


機械設備工事特記仕様書	章 項 目	特 記 事	事 項	17) 防露保温工事	標準仕様書第2編によ	るほか下記による。	22 管の埋設深さ	(1)公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2)構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。
工事概要	① 機 材 等		図書に規定するもの又は、これらと同等のもの発注先を記載した報告書を監督員に提出すること		空気調和設備工事の例		_	(3) その他の場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まっ
1 工事名称 <u>市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事)</u>		使用機材等については、アスベスト含有の有無	無を確認し、アスベストを含む機材は、使用しないこと。		区 分 ドレン管	施工箇所 保温種別 屋内露出(一般居室、廊下) a1・(ハ)・V		300mmとする。
2 工事場所 <u>富士見市大字鶴馬地内</u> 3 エ 期 <u>契約日 から 平成31年 9月27日</u>		国等による環境物品等の調達の推進 特定調達品目に該当する機材は、その	に関する法律」(グリーン購入法)に規定される 判断基準、配慮事項を満たすこと。			機械室、書庫、倉庫 b・(ハ)・T 天井内、PS内及び空隙壁中 c2・(ロ)・T	② 既設管分岐 接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様割 規定された工法による。
(共通仮設費率の算定に用いる工期 契約日から平成31年9月27日まで)		調達する工事材料は、埼玉県産とする	よう努めるものとする。			浴室、厨房等の多湿箇所	⊣ ∣ •∣	やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
· 建物概要	2 電気保安技術者	・置く ※置かない			蒸 気 管	(厨房の天井内は含まない。) ロップ (厨房の天井内は含まない。) 日本 (子) (子) (日本	-	
建物名称 構造 階数 延面積 消防法施行 備考 所分別表第一	③ 技能士の適用	○配管施工(配管工事) ○建築板金施				機械室、書庫、倉庫 B・(イ)・〕		※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分
① 小 学 校 RC造 4階建て		○熱絶縁施工(保温工事) 冷凍空気調	和機器施工(冷凍空調機器の据付)			天井内、PS内及び空隙壁中 C2・(ロ)・1 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) D・(ロ)・1	□ _#	※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フラン:
	④ 機材の検査及び		準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。			屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。) 及び浴室、厨房等の多湿箇所 E3・(イ)・1	□ 六 25 天井仕上げ区分	()書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
4	試験、施工の検査 及び試験		付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水 に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験と			(厨房の天井内は含まない。)	^ ②6 他工事との	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に
5 工事種目(●印を付いたものを適用する。)		し、公立の保健所、試験所又は認定の て行うものとし、その結果は、監督員	試験所(事前に監督員の承諾を得る)に依頼し		冷水・冷温水管 (膨張管、空気抜管、	屋内露出(一般居室、廊下) A1・(ハ)・I 機械室、書庫、倉庫 B・(ハ)・I		支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせ
		ただし、検査項目は①一般細菌、②大	腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝		膨張タンクからボ	天井内、PS内及び空隙壁中 C1・(イ)・I	項│②⑦ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとす
建物別及び屋外 工事種別 工事種目 ② ③ ④ ⑤ 屋外		酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物 および⑪残留塩素の12項目とする。	、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度			床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) D ・ (ハ)・I 屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	─│特│ _{②8} 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを2
○ 空 気 調 和 設 備 ● 換 気 設 備 ー 式		※雨水利用システム及び排水再利用シス	テムを設置したときは、工事完成後定常の使用			及び浴室、厨房内の多湿箇所 E3・(ハ)・I (厨房の天井内は含まない。)		が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
● 換 気 設 備 ー 式 ○ 排 煙 設 備		状態に入った後速やかに(概ね3ヶ月 試験は上記の飲用に供する場合の方法	以内)流入水・処理水の水質試験を行う。 に従うものとする。		温水管	屋内露出(一般居室、廊下) A1・(イ)・	 事 ② 配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
○ 自 動 制 御 設 備 ● 衛 生 器 具 設 備		ただし、検査項目は残留塩素、pH値、	臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。		(膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫 B・(イ)・ 天井内、PS内及び空隙壁中 C2・(ロ)・	 項 ③ エ事カルテ作成	請負代金が500万円以上のときは、本工事受注時、変更時及び完成時に工事
● 給 水 設 備 - 式	5 監督員事務所	本工事で ・設ける (規模) ※設けない			床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) D・(ロ)・ 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)		情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に承諾を受けた後、(財)日本建設情報
● 排 水 設 備 ー 式	(6) 官公署その他への	工事の着手、施工、完成に当り、関係	官公署などへの必要な届出手続等は受注者が			及び浴室、厨房等の多湿箇所 E3・(イ)・		合センターに登録するとともに登録結果を監督員に報告する。
O 消 火 設 備	届出手続等	代行し遅滞なく行う。また、届出等にか				(厨房の天井内は含まない。)	│	完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する 適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること
O 厨 房 機 器 設 備 O ガ ス 設 備	7 工事用電力・水等	本工事に必要な電力及び水などは、構	内から使用できるものとし、その仮設 にかか			材被覆銅管を使用し、外装は下記による。		また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量
		る費用は受注者の負担とする。				保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製) 容融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング		を記載すること。県営住宅の完成図の提出部数は、A3版二つ折り5部とする。 三相誘導電動機はJIS C 4213 (IE3) トップランナーモーターとする
	▲ (8) 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につく	ることが ※できる ・できない			保温化粧カパー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼鈑製 ・SUS製) 料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する		工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明る
6 指定部分 ※無 • 有						科及ひ施工順序4、5に替え、アルミカラス化粧原紙を使用する の種別は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とす		すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
対象部分: 工期:平成 年 月 日	一 9 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着し	たものは無償で使用できる。・本工事とする。	-	ダクトの保温の種別		1 共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記書の一般共通事項による。
	股 10 残土処分 土	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が	指示する構内の場所に敷きならす。 適切処理する。		区分	施工箇所保温種別		
	六 涌	情外版山:	週切処理98。		長方形ダクト	屋内露出(一般居室、廊下) J1・(イ)・2 屋内露出(機械室、書庫、倉庫) I・(イ)・2		本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 (1)内部足場 ※ 脚立足場
	^旭 │ 11 埋め戻し土・盛土 ェ │	※根切土の中の良質土(但しコンクリ・	ート管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類	[共 		屋内隠ぺい、DS内 I・(ロ)・)	Ī	(2)外部足場 ※A種(枠組足場) ·B種(単管本足場) ·C種 ·D種
7 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)	12 再生砂、再生砕石、		びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、	通		屋外露出(バルコニー、解放廊下を含む。) 及び浴室、厨房等の多湿箇所	I	※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生9 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法に関するガイドライン」によ
1 専任期間の始期 請負契約締結の日から、(・現場施エに着手するまで(現場事務所の設置、資機材の搬入	増 再生アスコン使用 舞		1 検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染	 	円形ダクト	(厨房の天井内は含まない。) 屋内露出(一般居室、廊下) O1・(イ)・		「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木のを有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による
又は仮設工事等が開始されるまで)の期間 ・平成 年 月 日までの期間)については、	iy 記	に係る環境基準に適合することを確認す		章 		屋内露出(機械室、書庫、倉庫) N・(イ)・)		組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式に
主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。	事 (13) 発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出	し、適切処理する。	項		屋内隠ぺい、DS内 N・(ロ)・2 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	<u> </u>	行うものとする。
2 専任期間の終期 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、	項	(構外搬出処理費は ※本工事 (1)引渡しを要するもの(•別途)			及び浴室、厨房等の多湿箇所 P3・(イ)・2	O MITE 77 X -	(1)関係請負業者と共用部分
後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。		(2)買取処分をするもの()	14	消音内貼り	(厨房の天井内は含まない。) サプライチャンバー M ・ (ロ)・I	修 既存家具等養生 _	※別契約の関係請負業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
3 専任期間の中断		(3) 再生資源化を図るもの(•硬質塩 (4) 特別管理産業廃棄物(塩化ビニル管 •))			消音チャンパー・消音エルボ L・(ロ)・『	般	(2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート 合板
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、 工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。		※処理に先立ち計画書を提出し、処理後	は調書を提出すること。	事	_給排水衛生設備工事の	保温の種別	事	※ヒーールソート ・音板 ・
工事を主国的に一時甲止にしている場合は、土仕技術有又は監理技術有の等性を安しないものとする。	(14) 容量等の表示	 (1)機器等の能力、容量等は表示され。	た数値以上とする。		区 分 給 水 管	施 工 箇 所 保 温 種 別 屋内露出 (一般居室、廊下) a1・(ハ)・1	□ 項 4 備品等の移動	・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事
8 工事範囲 図示のとおり			損失は、原則として表示された数値以下とする。	項		機械室、書庫、倉庫 b・(ハ)・「	付 ⑤ 仮設間仕切り	(1)関係請負業者と共用部分
9 機械設備工事概要	(15) 配 管	(1)地中埋設配管(排水管を除く)				天井内 c2・(ロ)・T PS内及び空隙壁中 -	m	※別契約の関係請負者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
9 (機械設備工事似安 校舎内の便所改修工事を行う。		1) 地中埋設標(コンクリート製) 2) 地中埋設鋲(キャッツアイ)	※要(図示の箇所) ・不要 ※要(舗装部の分岐、曲部)・不要	続		県営住宅PS内 c2・(ハ)・T	事	(2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。
・大便器の洋式化(和式1箇所)		3) 埋設表示テープ(2倍折込み)	※要 · 不要	 		床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)		※A種 単管下地全面シート張り ・
・小便器は、自働洗浄タイプへ更新	(16) 耐震施工	設備機器の固定等は、すべて「国土交	通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人			及び浴室、厨房等の多湿箇所 e3・(ハ)・V	⑥ 撤去後機材の扱い	(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用するは 図示区分による。
給排水管、空気管の更新。ただし立て管は再使用とする。 手洗器の更新(自働水栓器具含む)	W 11.22.10	建築研究所監修の建築設備耐震設計・・・	施工指針2014年版」により行う。			屋内露出(一般居室、廊下)		(2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有すものは、現場
		ただし、設計用地震力(水平及び鉛直) 震度 K _V (K _H /2) を用いて計算する。	は次の設計用水平震度Кн及ひ設計用鉛直		 排水及び通気管	機械室、書庫、倉庫 ー 天井内 c2・(ロ)・V	_	品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを!
		設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は	同時に作用するものとする。			PS及び空隙壁中 ー		に提出する。
埼玉県環境配慮 ○長寿命機材の選定(2-3-③) ○設備更新を踏まえた計画(2-3-④)		設計用水平震度				及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。) e3・(ハ)・V	·	(1)インサート金物 ・再使用できる ※新品
方針の適用項目 ③再生品の優先使用(2−3−⑥)⊙有害物質の放散量が少ない材料の使用(2−4−②)			耐震安全性の分類 日 一般の施設		給 湯 管 (膨張管、空気抜管、	屋内露出(一般居室、廊下) a1・(イ)・ 機械室、書庫、倉庫 b・(イ)・		(2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品
(12)		重要機器 一	般機器 重要機器 一般機器		膨張官、空気扱官、膨張タンクからボ	依依至、音庫、启庫 D · (1) · 天井内 c 2 · (口) ·		金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については
太陽熱利用システムの導入 (5 − 1 − ②)		上層階 (2.0) (1. 5 1. 5 1. 0 (2. 0) (2. 0) (1. 5)		イラー等への補給 水管を含む。)	PS内及び空隙壁中 d・(ロ)・ 屋外露出(バルコニー、解放廊下を含む。)		監督員の承諾を受けるものとする。
⊙ゾーニングの工夫(5-3-①)・外気冷房制御の導入(5-3-②)・搬送動力の低減(5-3-③)・ヒートポンプの採用(5-3-④)		<u>産工及び培産</u> ⟨2.0⟩ ⟨	(1.5) (1.5) 1.0		小日で白む。)	及び浴室、厨房内の多湿箇所 e3・(イ)・	9 フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する
・熱回収システムの導入(5-3-⑤)・コージェネレーションの導入(5-4-①)			1. 0 1. 0 0. 6 (1. 5) (1. 5) (1. 0)			(厨房の天井内は含まない。)	_	※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づ
○節水機器の採用(6-1-①)・雨水利用(6-1-③)・排水再利用(6-1-④)・アスコン廃材の再利用(6-3-②) ○再生塩ビ管の採用(6-3-③)		<1.5>	(1.0) (1.0) (0.6) 0.6 0.6 0.4			ぶ通気管のうち見えかかり部は塗装を施す。 ぶ耐火二層管、耐火∨Pの場合は、保温を要しない。		処理すること。
		1 階及び地下階 (1.0) ((1.0) (1.0) (0.6)		3. 施工種別 b の木	†料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用す	る。 10 総合調整	※全体再調整 ・改修部及び影響部のみ調整
10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様			(1.0) (1.0) (0.6)			オの種別は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。 オ部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅷとする。		建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること
を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項 は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通		(注)()内の数値は防振支持の機器 < >内の数値は水槽類に適用する	する。		※ロックウール・グラ	ラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、	はつり	現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格の事
は、电外政権工事は利立示电外政権工事特別共通は稼奮により、建業工事は利立示建業工事特別共通 仕様書による。		※上層階とは2~6階建の場合は最上階、7 10~12階建の場合は上層3階、13階建以上	~9階建の場合は上層2階、		原則としてF☆☆☆	τ☆とする。		選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源?
		中間階とは地下階, 1階を除く各階で上層	:の場合は上暦4階) 階に該当しないもの (平屋建の場合は無し)	18 防 凍 保 温		「径20以下のみ)は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。		など環境対策に配慮すること。
		重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置	換気機器 空調機器 熱源機器		・図示の屋外露出部(約 下記仕様により防凍化	A水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。)は B温を行う。	12 その他	・便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。
工事仕様		防災設備 監視制御設備	危険物貯蔵装置			記さを呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。		・図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格 A 1版とした縮尺とする。
共通仕様 (1)この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」			に設置する機器			フールとし、凍結防止ヒーターを設置。		※以下は、高等学校および特別支援学校の改修工事(夏休み工事)に適用する。
という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、	(16-1 あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施 を受けるものとする。	エアンカーの使用については、監督員の承諾	19 塗 装	下記の亜鉛メッキを放送機械室、書庫、負	Eしたダクト及び配管は、塗装を行わない。 ≹庫・・		(1) 受注者は、施工にあたって学校運営に支障の無いように綿密に打合せを 行うこと。
公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。		重量100kgを超える機器の耐震支	持については、耐震計算書を添付し、アンカー		下記の金属電線管は多	 ⊵装を行う。		(2) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については原則として夏休る
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。		ボルトを選定すること。 施工は (一社)日本建築あと施工ア	ンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技		※屋外露出 ※多数	湿箇所 屋内露出(※見えかかり部 ▪)		期間に設定すること。 (3) F F 式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用		能及び経験を有した者が行うこと。		②0 電 線) O V エコマテリアルケーブルとする。		FF式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者に
する。 (3)法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。		金属拡張系アンカーの場合は、所定の	穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付する			:関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。		製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの (一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動f
		接着系アンカーの場合は、所定の穿孔	深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、	②1) はっり		壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてX線撮影調査を Eンドカッターを使用すること。		確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置を に行うこと。
特記仕様 (1)章は●印の付いたもの、項目は番号に〇印の付いたものを適用する。		埋込みの完了が分かる記録を添付するこ (原則として、接着系アンカーは吊り	支持に使用しないものとする。)		天地してから、メイヤイ	- フェルファ で区加するCC o		
		あと施工アンカーの試験は、アンカー	の種類毎に1か所引張試験を実施すること。					・同時期発注の関連工事:建築工事、電気設備工事 20
(2)特記事項のうち選択する事項は、⊙印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。								
(2)特記事項のうち選択する事項は、 <a>○印の付いたものがなければ、<a>※印を適用し、・印のものは適用しない。 <a>設	計年月日		富士見市	課長副課長主	幹主任担	当 縮 尺 工	事 名 称	図 面 名 図面

2 総合試運転調整	夏期 °C % 28 °C % °C % °C % 冬期 °C % 20 °C % °C % °C % ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。 ※本工事・別途 風量調整 ※する・しない	● 換 ② 円形ダクト	 それ以外の部分 ※アングルフランジエ法 ・高圧 1 ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧 2 ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分)・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分) ※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火ニ層換気管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) 	● 給 水 設	ウェット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管 保温をしない屋外露出部 地中埋設部(水道直結部分) 上 水 配 管 地中埋設部(一般部分)	 ・SUS ※SGP-VD・HIVP ・SUS ※SGP-VD ・HIVP・水道用ステンレス鋼管・水道用ポリエチレン管・ ・※HIVP・水道用ポリエチレン管 	湯	取付部は下記による。 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 (1)規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示によっ
	風重調発	気 設 備 3 風量測定口	・	1)H	県営住宅 住戸内	・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・ ※ポリブテン管(さや管へッダー工法)	備	(1) 放給はJISXはJVとし、指定なさものは5K、それ以外は図示により (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型
	室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない	4 チャンバー	送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト (1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。		その他の部分 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	・SUS ※SGP-VD ・HIVP ・ポリブテン管 ・SUS ※SGP-VD ・HIVP		飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。
3 煙 道	(1)鉄板厚 (※3.2 mm ・4.5 mm)(2)ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない(3)ばいじん量測定口 ※設ける(測定口は80Φとする)・設けない		(2) 消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは 下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750		湿潤シンダー内配管 保温をしない屋外露出部 地中埋設部(一般部分)	・SUS ※SGP-VD・HIVP ・SUS ※SGP-VD ※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)	0 1 77/7 11/1	
4 煙 突 5 長方形ダクト	※別途 ・本工事 ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製)	5 ダンパー	(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。 (1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔・) 定格入力 D C 24 V , 0.7 A 以下		その他の部分	・水道配水州ホリエテレン官(PE) ・ ・SUS ※SGP-VD・HIVP ・ポリブデン管	消	屋内消火栓用 一般配管※SGP(白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP 消火用 一般配管※SGP(白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP
2000	長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法	6 多湿箇所の排気	(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ·) (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU)		(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 一般部 (・圧縮 ※ダプルプレス・拡管) 便原 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1に	f・廊下流し廻り露出配管(※拡管)とする。	,備	不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80図示部分について下記のとおり施工する。
	・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分)・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)	ダクト	(防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管)を使用できる。 ※浴室(シャワー室、脱衣室を含む) (2)水抜き管は(※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分)の排気ダ		3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外 がないことを確認するため衛生器具の 試験を行う。	部に配管識別テープを巻く。また、誤接続 取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水		※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))
6 円形ダクト	※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。	7 保 温	クトには設ける 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換気用の隠ぺい部ダクト	2 一体形タンク	ー体形タンクについての標準図は一般的な形 図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容		〇 1 配管材料	都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 SGP(白) 地中埋設 ※ PE管
7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダクト		仕様はN・(ロ)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より 1 mの部分とする。	③ 水 栓	※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水 固定コマ式とする。		設 備	漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。
8 チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバ 及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の		※(※厨房・湯沸室・)用の隠蔽ペい部ダクト(仕様はh・(イ)・区とし 範囲は図示による)	4 量 水器	※親メーター(※貸与品・・・)・子メ	ーター (※買い取り・)	3 液化石油ガスの 供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。
	大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ・する ※しない 騒音の測定 ※する ・しない	5 量水器桝 6 弁 類	※水道事業者指定品 ・標準図MC形 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は それ以外は図示及び標準仕様書による。	10Kとし、指定なきものは5K、	O 1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを ないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。
9 吹出口及び吸込口 ボックス	※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製			7 水 栓 柱	※防寒コンクリート水栓柱(1200L)・	不凍給水栓	次 設	※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓
10 ダンパー	(1)防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ·)定格入力DC24V, 0.7A以下 (2)ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ·)	1 ダ ク ト	※亜鉛鉄板・ ※天井取付(・スリット形 ※スイング形)	8 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状・標準図施工4(・(a)・(b)・(3 安全装置の機能 の適用	標準仕様書第5編 1・6・1 の表5. 1. 6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とで
11 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白)・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白)・ (3) ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒)・	排	・壁取付 (・スリット形 ・スイング形) 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式(遠隔操作 ・不要 ・要)	9 検針方法	水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程			i水の処理に係る特記仕様書 は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト
	(4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。	備 装置 	建築設備定期検査業務基準書((一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の 検査方法に準ずる。	10 水道利用加入金	うえ施工すること。 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水	道事業者との調整は本工事に含む。	 第2条 受注者は、回収	5濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。 にした濁水を次のとおり処理するものとする。 汚泥(油分を含む汚泥) m3
	(5) ドレン管(屋外) ※配管用炭素鋼鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管 V P ドレン管(屋内) ※保温機能付空調用ドレン管(IスロンACドレンパイプ相当品) ・耐火二層管 V P (F D P S - 1)	〇 1 中央監視制御装置		11 本管取出し	水道本管からの給水取出し工事は、本工事範舗装の復旧も含む。	囲とする。また、取出し部における	・中間処理施設 ・処理方法	市 地内、(株) ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶融含まず) ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶融を含む) 中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
	・配管用炭素鋼鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。	自 動 2 構成 • 機能	図示による	(1) 配管材料	配管材料は下記による。		第3条 受注者は、舗装 第3条 受注者は、舗装	中間だ生態などとだする場合には、事前に無し負と協議するものとする。 長版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収 Dの汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するもの
	(6)油管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒)・ (7)蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒)・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8)膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白)・	3 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	1) 配管材料	施工箇所 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 雑 厨房等の温排水 排 耐火性能を要求される箇所	※S G P (白) ・ ※S G P (白) : 2 時間耐火	なければならないも 3 受注者は、自ら運	中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しのとする。 のとする。 搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業 E契約を締結しなければならないものとする。
12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。		JIS B 2026 (自動水栓)による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。	•	管 その他の部分 :	※耐火二層管 V P (FDPS-1): 1 時間耐火まで・耐火 V P: 2 時間耐火※リサイクル V P 又は R F ー V P ・ V P	て定める産業廃棄物)処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律におい 動管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 L計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなけれ
13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンバー、レタンダクト、	•	 ○小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ○洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ・ジャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ・ジャワー ※サーモスタット ・ジャラー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	水設備	小 配 管	※排水用ノンタールエポキン塗装鋼管: 2 時間耐火 ※耐火二層管 V P (FDPS-1): 1 時間耐火まで ・耐火 V P: 2 時間耐火	ばならないものとする 締結した委託契約書の	と記述されて、周がの日本、定版及びと生に関するが及と定めないれ 6。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第3項及び第4項に基づき D写し及び許可証の写しを添付すること。 完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないも
	外気取入ダクト及びレタンチャンバー ※冷温水ヘッダー(往)及び各還り管 ※熱交換器の温水管(出入口) •	器具具	※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800(耐食鏡) ・傾斜鏡(・照明無 ・照明付)		地中埋設部	※リサイクルVP又はRF-VP ・VP※リサイクルVU又はRS-VU ・VU・卵形管(ゴム輪接合)	設計変更の対象とし	
14 圧 カ 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共)	備	(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。		<u> </u>	※REP-VU(軽荷重の場合)・リサイクルVP又はRF-VP ・VP※SGP(白): 2時間耐火	と協議するものと	版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員 する。 に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。
15 瞬間流量計	※冷温水ヘッダー(往)及び各還り管 ※熱交換器の温水管(出入口) -	5 暖房便座	 ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 		気配	※耐火二層管 V P (FDPS-1): 1 時間耐火まで・耐火 V P: 2 時間耐火※リサイクル V P 又は R F - V P ・ V P・JIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管		
16 油面制御装置	・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに(※固定形 ・着脱形)を設ける。 ※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ(※固定形 ・着脱形)を設ける。 制御盤には(※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御)の端子を設ける。	⑥ 大便器洗浄弁・ 洗浄用タンク	(4)使用流体は、飲料用水道水とする。 (5)リモコン ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式(※センサー式・タッチスイッチ式)	② 洗面器等の排水管	RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップ	は雑排水配管の材料種別による。 管接合部はY45度で行う。		
17 冷却塔	なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置		・ () 部分で使用する大便器洗浄弁は低圧形とする。	③ 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口			
-	補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。 標準仕様書によるほか下記による。		※共栓なしとする。 ・共栓付とする。 ※使用できる ・使用できない	4 桝の適用	別紙桝表による。			
18 空気熱源ヒート ポンプ空調機	標準仕様書によるはか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC(R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを 使用すること。	10 標 記 板	大便器、小便器の洗浄水用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 せっけん供給栓等がない場合は、洗面器、手洗器に必ず設ける。					
	(注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 擬音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事)・男子用トイレブースに設置する。(・本工事 ※別途工事)・多目的トイレブースに設置する。(・本工事 ※別途工事)					
	 ⇒л	13 その他	衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。 	課長「副課集」士	幹 主 任 担 当 縮 を	· 工 身	 	図 面 名 図面
	53	(N + 7 P	富士見市 除柳井設計 総合政策部				r 1 ¹ が	



		凡 例		
記号	名 称			施 エ 区 分 ・ 備 考
HO -2	, H 137	新設配管	撤去配管	%
	給 水 管	塩ビライニング鋼管 SGP-VD	塩ビライニング鋼管 SGP-VD	地中埋設
	給 水 管	塩ビライニング鋼管 SGP-VD	塩ビライニング鋼管 SGP-VD	ピット内・土間・コンクリート内
	給 水 管	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	塩ビライニング鋼管 SGP-VB	隠ぺい・PS内
——I——	給 湯 管	一般配管用ステンレス鋼管	銅管	隠ぺい・PS内
	汚 水 排 水 管	硬質塩化ビニル管(VP)	排水用タールエポキシ塗装鋼管	ピット内・地中埋設
	汚 水 排 水 管	硬質塩化ピニル 耐火二管(FS-VP)	排水用タールエポキシ塗装鋼管	隠ぺい・PS内
	雑 排 水 管	硬質塩化ビニル管(VP)	排水用タールエポキシ塗装鋼管	ピット内・地中埋設
	雑 排 水 管	硬質塩化ビニル 耐火二管(FS-VP)	排水用タールエポキシ塗装鋼管	隠ぺい・PS内
	通 気 管	硬質塩化ビニル管(VP)	配管用炭素鋼鋼管(白)	ピット内・地中埋設
	通 気 管	硬質塩化ピニル 耐火二管(FS-VP)	配管用炭素鋼鋼管(白)	隠ぺい・PS内
	仕 切 弁	JIS5K	JIS5K	
	フレキシブル継手	ベローズ型 ゴム製	ベローズ型 ゴム製	
0	インバート桝	桝リスト参照		
E	排 気 ダ ク ト	亜鉛鉄板製丸ダクト	亜鉛鉄板製矩形ダクト	天井内



-100 - - - - - - **- 0** ∨C100

特記 *立て管は再使用とする。

* 給水管はバルブ以降を新設とする。

*バルブ類は全て取り替える。

* 汚水・雑排水・通気管は立て管のみ再使用する。

* 各便所詳細は詳細図参照とする。

基準 系統図

図面番号 承認 設計 製図 課 長 副課長 保全G 担 当 株式会社 柳井設計 一級建築士事務所 工事名 市立諏訪小学校トイレ改修工事(第1期工事) 設計年月日 一級建築士 柳 井 博 富士見市総合政策部 М T E L 0 4 9 - 2 6 4 - 8 3 2 0 (代) F A X 0 4 9 - 2 6 4 - 8 7 9 2 E-mail yanaisekkei@nifty.com 富士見市 管財課 登 録 番 号 第 85179 号 変更年月日 / 04 図面名 凡例 系統図

		新	設 器 具 表		- ‡	朝工事	₽Α便	所		一期工事B便所							合 計
器 具 名 称	参 考 型 番 (TOTO)	参 考 型 番 (LIXIL))	仕様・参考型番	一階男子便所	一階女子便所	二~三階男子便所	二~三階女子便所	四階男子便所	四階女子便所	一階男子便所	一階女子便所	二~三階男子便所	二~三階女子便所	四階男子便所	四階女子便所	一階多目的便所	
洋 風 大 便 器	CFS494	C-P25S	FV、普通便座(大型、スローダウン)、便座当たり止め、パイプホルダー	1	4	2	8			1	4	2	8				3 0
洋 風 大 便 器	CFS494	C-P25S	低圧用FV、普通便座(大型、スローダウン)、便座当たり止め、パイプホルダー					1	4					1	4		1 0
和 風 大 便 器	C755VU	C-852B	FV	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1		1 6
和風便器用耐火カバー	HG755E	R-40				2	2	1	1			2	2	1	1		1 2
紙 巻 器	YH701	CF-63HST	棚付ワンタッチ式(2連、高耐荷重タイプ)、ステンレス製	2	5	4	10	2	5	2	5	4	10	2	5		5 6
小 便 器	UFS900JCS	U-A51AP	壁掛式、低リップタイプ、自動洗浄、その他付属品一式共	5		10		5		5		10		5			4 0
カウンター洗面器	MK 5 0	MB500	L=2,000 洗面器x3 自動水栓 その他付属品共	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	-	1 6
化 粧 鏡	YM3545F	KF-3545A	360 x 450 耐食型	3	3	6	6	3	3	3	3	6	6	3	3		4 8
コンパクト多機能トイレパック	UADAK21L1A2ASD1B		壁掛式(汚物流しあり)、チャームボックス、ソフト背もたれ、													1	1
			節電機能つき電気温水器、停電時洗浄レバー付、カラー手すり														
			棚付ワンタッチ式(2連、高耐荷重タイプ、ステンレス製)														
化 粧 鏡	YM6090F		600 x 900 耐食型													1	1
擬 音 装 置	YES400DR															1	1
壁用換気扇			FE-1 30cm 1200m3/Hx31W 電気シャッター・SUSウェザカバ-防鳥網付・取付枠共	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	$\overline{}$	1 6
壁 用 換 気 扇			FE-2 20cm 500m3/Hx13W 電気シャッタ-・SUSウェザカバ-防鳥網付・取付枠共													1	1

^{*}型番は参考型番とし、同等品以上とする

	撤去	器具表										
器具名称	型 番 (jis)	仕様・参考型番	一階男子便所	一階女子便所	二~四階男子便所	二~四階女子便所	一階男子便所	一階女子便所	二~四階男子便所	二~四階女子便所	一階多目的便所	合計
和風大便器	C-310	付属品一式共	1	4	3	12	1	4	3	12		4 0
洋 風 大 便 器	C-910	付属品一式共	1	1	3	3	1	1	3	3		1 6
身障者大便器	C-1200	付属品一式共									1	1
小 便 器	U-420R	壁掛け式、その他付属品一式共	6		18		6		18			4 8
洗 面 器	L511										1	1
化 粧 鏡		450 x 360	3	3	9	9	3	3	9	9		4 8
傾 斜 鏡											1	1
ホ - ム 水 栓	F7-13		4	4	12	12	4	4	12	12		6 4
D		00 4000 0 // 04W 0104 #\$! \$!!										
壁用換気扇		30cm 1200m3/Hx31W SUSウェザ カバー共	1	1	3	3	1	1	3	3		1 6
壁用 換気扇		20cm 900m3/Hx31W SUSウェサ カハ - 共									1	1

* 和風大便器撤去後の穴埋め・補修は建築工事とする

